

令和6年度 射水市健康づくり推進協議会

日 時 令和6年5月29日（水）
午後1時30分～3時
場 所 射水市役所3階302・303会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 委員の紹介

4 会長の互選および副会長の指名

5 議題

(1) 第3次射水市健康増進プランの策定について (資料1)

(2) 射水市民の健康にかかわる状況について (資料2)

(3) 健康づくりに関するアンケート調査結果について (資料3)

①市民アンケート

②健康づくりボランティアアンケート

(4) 第3次射水市健康増進プラン策定スケジュールについて (資料4)

(5) 令和6年度射水市自殺対策部会実施要領（案）について (資料5)

(6) その他

<配布資料>

- ・資料 1 第3次射水市健康増進プランの策定について
- ・資料 2 射水市民の健康にかかわる状況について
- ・資料 3 健康づくりに関するアンケート調査結果について
- ・資料 4 第3次射水市健康増進プラン策定スケジュールについて
- ・資料 5 令和6年度射水市自殺対策部会実施要領（案）について
- ・参考資料1 射水市健康づくり推進協議会委員名簿
- ・参考資料2 射水市健康づくり推進協議会条例

計画の策定について

1 計画策定の趣旨

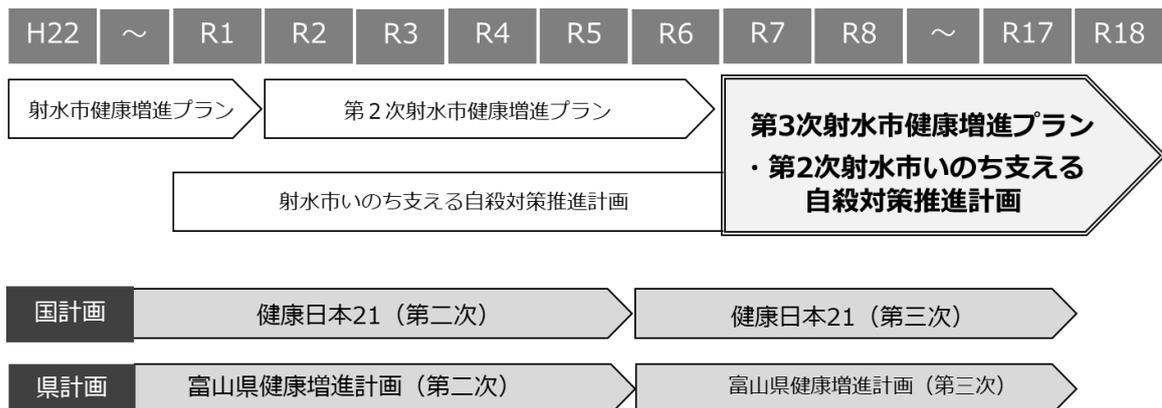
誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくためには、健康であることや病気があっても重症化しないよう健康管理を行うことは必要不可欠であり、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組み、地域全体で支援する環境づくりが必要です。

また、社会環境の複雑化により、一人ひとりの健康課題は多様化しており、ライフコースアプローチ（胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的にとらえた健康づくり）の視点に着目し、あらゆる年代の方に応じた健康づくりが求められています。ストレスによるこころの問題も大きくなっており、自殺のサインを見逃さず、社会全体で生きることを支えるための取り組みを推進することも重要です。

本市では、健康増進法に基づき、平成22年度に策定した「射水市健康増進プラン」により、市民の健康づくりに取り組んできました。また、令和2年度からの第2次プランでは、主体的な健康づくりを実現するため、「射水市（IMIZUSHI）」の8つの頭文字から始まる行動目標「Let's トライ！ IMIZUSHI 健康8（エイト）」を設定し、取組を進めてきました。

自殺対策については、「誰も自殺に追い込まれることのない射水市」を目指し、令和元年度に「射水市いのち支える自殺対策推進計画」を策定し、生きることの包括的な支援や関係機関との連携強化を行ってきました。

この度、第2次射水市健康増進プランの計画期間が令和6年度で終了することに伴って新たな計画を策定するにあたり、自殺対策推進計画を包括したひとつの計画として、第3次射水市健康増進プランを策定します。計画を統合することにより、「健康づくり」と「こころの健康」を総合的に推進し、一人ひとりが健康づくりに取り組み、ときには誰かと支え合い、つながっていくことで、自分らしく暮らせるまちを目指します。



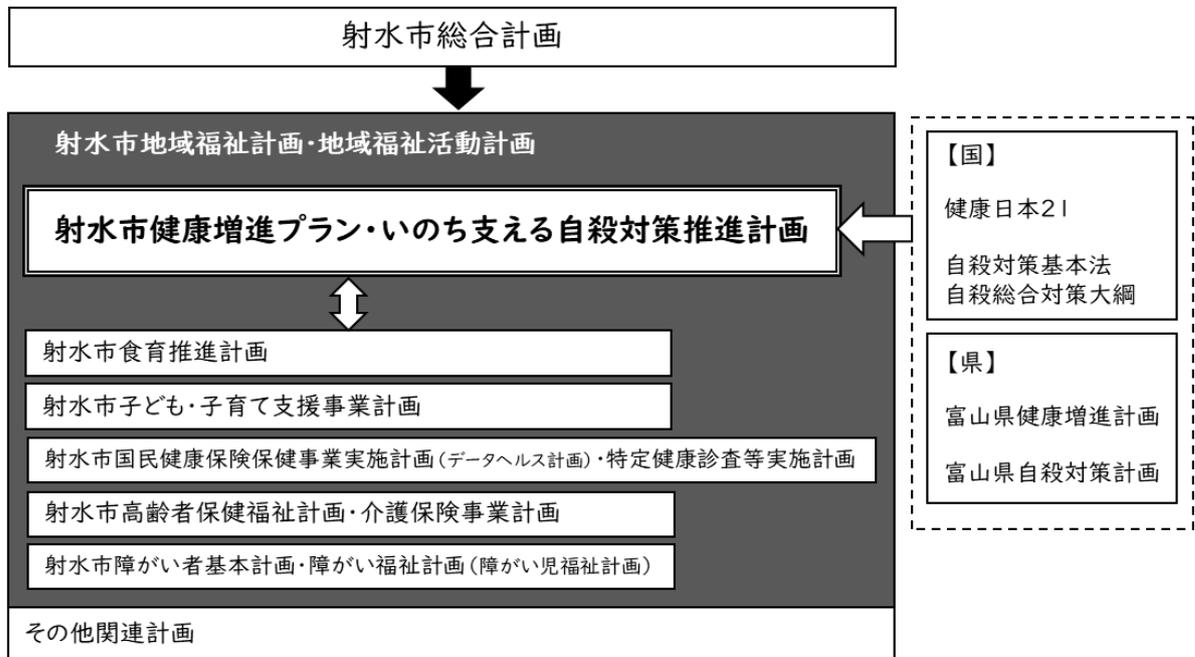
2 計画の期間

国や県の計画を踏まえ、令和7年度から令和18年度までの12年間を計画期間とします。6年後の令和12年度に中間評価を行い、計画の進捗状況、新たな国・県等の動向、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

3 計画の位置づけ

この計画は、健康増進法第8条に基づく市町村健康増進計画と、自殺対策基本法第13条に基づく市町村自殺対策計画を一体化した市民の健康の保持・増進のための総合的な計画として策定するものです。

また、国や県、市の関連する個別計画等と整合性を図りつつ、健康づくり及び自殺対策を具体的に推進するための行動計画としています。



健康増進法(抜粋)

(都道府県健康増進計画等)

第八条 都道府県は、基本方針を勘案して、当該都道府県の住民の健康の増進の推進に関する施策についての基本的な計画(以下「都道府県健康増進計画」という。)を定めるものとする。

2 市町村は、基本方針及び都道府県健康増進計画を勘案して、当該市町村の住民の健康の増進の推進に関する施策についての計画(以下「市町村健康増進計画」という。)を定めるよう努めるものとする。

自殺対策基本法(抜粋)

(都道府県自殺対策計画等)

第十三条 都道府県は、自殺総合対策大綱及び地域の実情を勘案して、当該都道府県の区域内における自殺対策についての計画(次項及び次条において「都道府県自殺対策計画」という。)を定めるものとする。

2 市町村は、自殺総合対策大綱及び都道府県自殺対策計画並びに地域の実情を勘案して、当該市町村の区域内における自殺対策についての計画(次条において「市町村自殺対策計画」という。)を定めるものとする。

SDGs との関連性

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、2015 (平成27) 年の国連サミットで採択された「誰一人取り残さない」持続可能でより良い社会の実現を目指す国際目標です。17の目標と169の取組から構成されており、本計画では、「3 すべての人に健康と福祉を」「11 住み続けられるまちづくりを」の目標を意識し、地域や関係機関・団体と情報共有し、協働して取組を進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



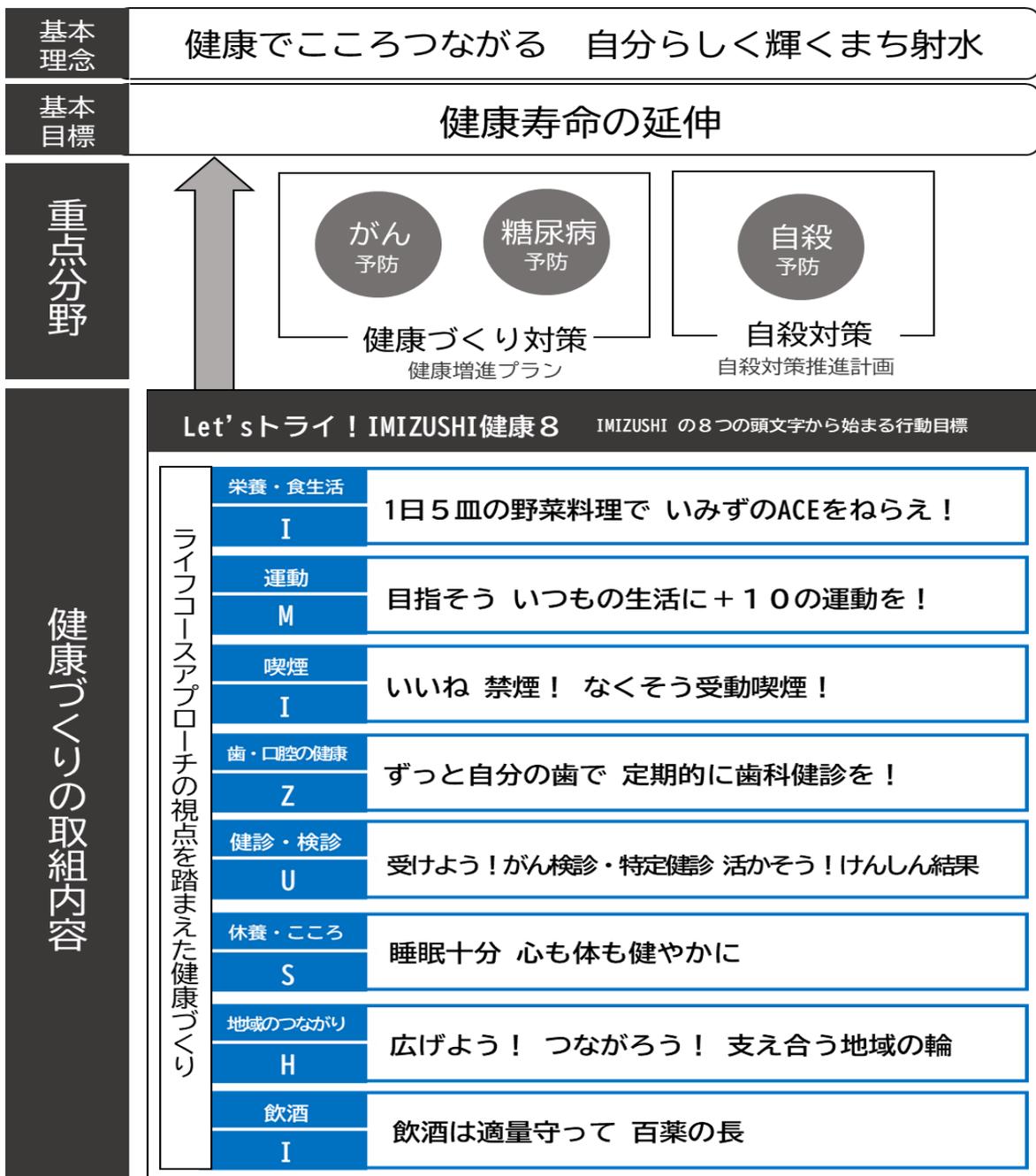
4 計画の基本的な考え方

基本理念

健康でこころつながる 自分らしく輝くまち 射水

一人ひとりが健康づくりに取り組み、ときには誰かと支え合い、つながっていくことで、自分らしく輝きつづけられるまちを目指します。

基本理念の実現に向け、基本目標を「健康寿命の延伸」とします。重点的に取り組む分野を「がん予防」「糖尿病予防」「自殺予防」とし、「射水市 (IMIZUSHI)」の8つの頭文字から始まる行動目標を柱に健康づくりを推進します。

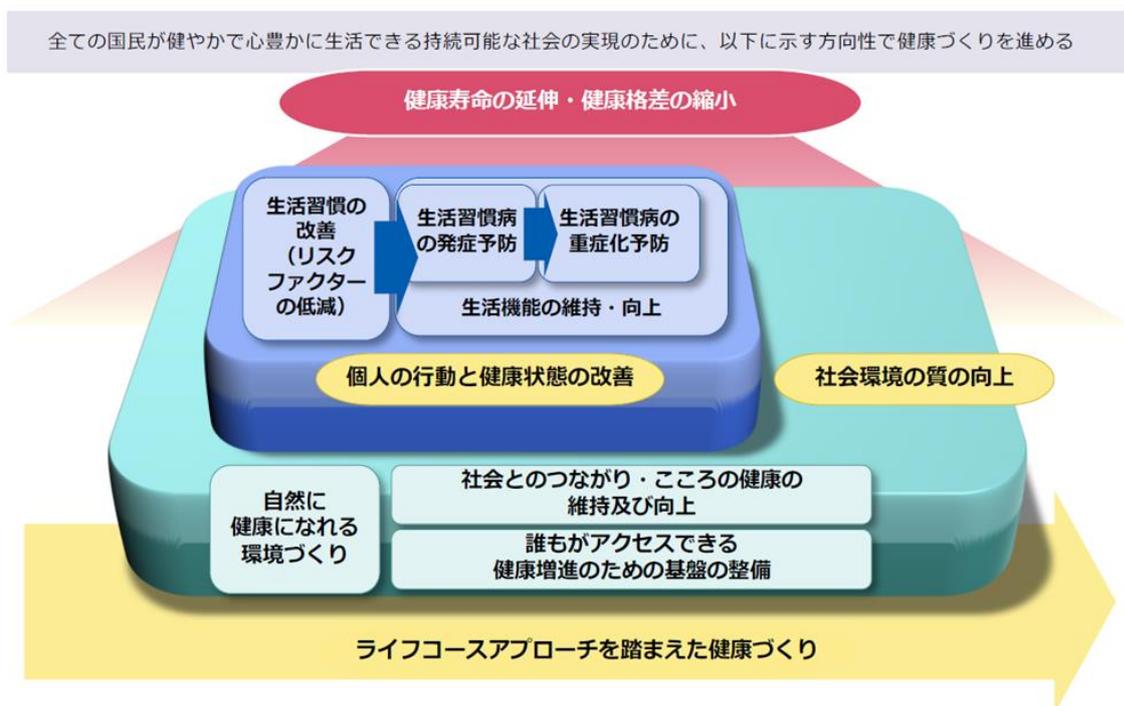


5 国の方針

(1) 健康日本21(第三次)

全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現のため、「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を目標に、「個人の行動と健康状態の改善」「社会環境の質の向上」など、2024(令和6)年度からの新たな健康づくりに関する取組の方向性を示しています。

社会とのつながりを持ち、こころの健康を守るための環境づくりとともに、健康な食生活や運動を促す環境など、自然に健康になれる環境づくりを推進することとしており、ライフステージ特有の健康づくりに加え、胎児期から高齢期に至るまでの「ライフコースアプローチ」による健康づくりの取組を進めることとしています。



(2) 自殺総合対策大綱

自殺の多くが追い込まれた末の死であることから、社会における「生きることの阻害要因(自殺のリスク要因)」を減らし、「生きることの促進要因(自殺に対する保護要因)」を増やすことにより、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指すこととしています。

特に、コロナ禍を経て女性や小中高生の自殺が増加していることなどを受けて、「子ども・若者の自殺対策の更なる推進・強化」「女性に対する支援の強化」「地域自殺対策の取組強化」などを追加し、総合的な自殺対策の更なる推進・強化を掲げています。

射水市民の健康にかかわる状況

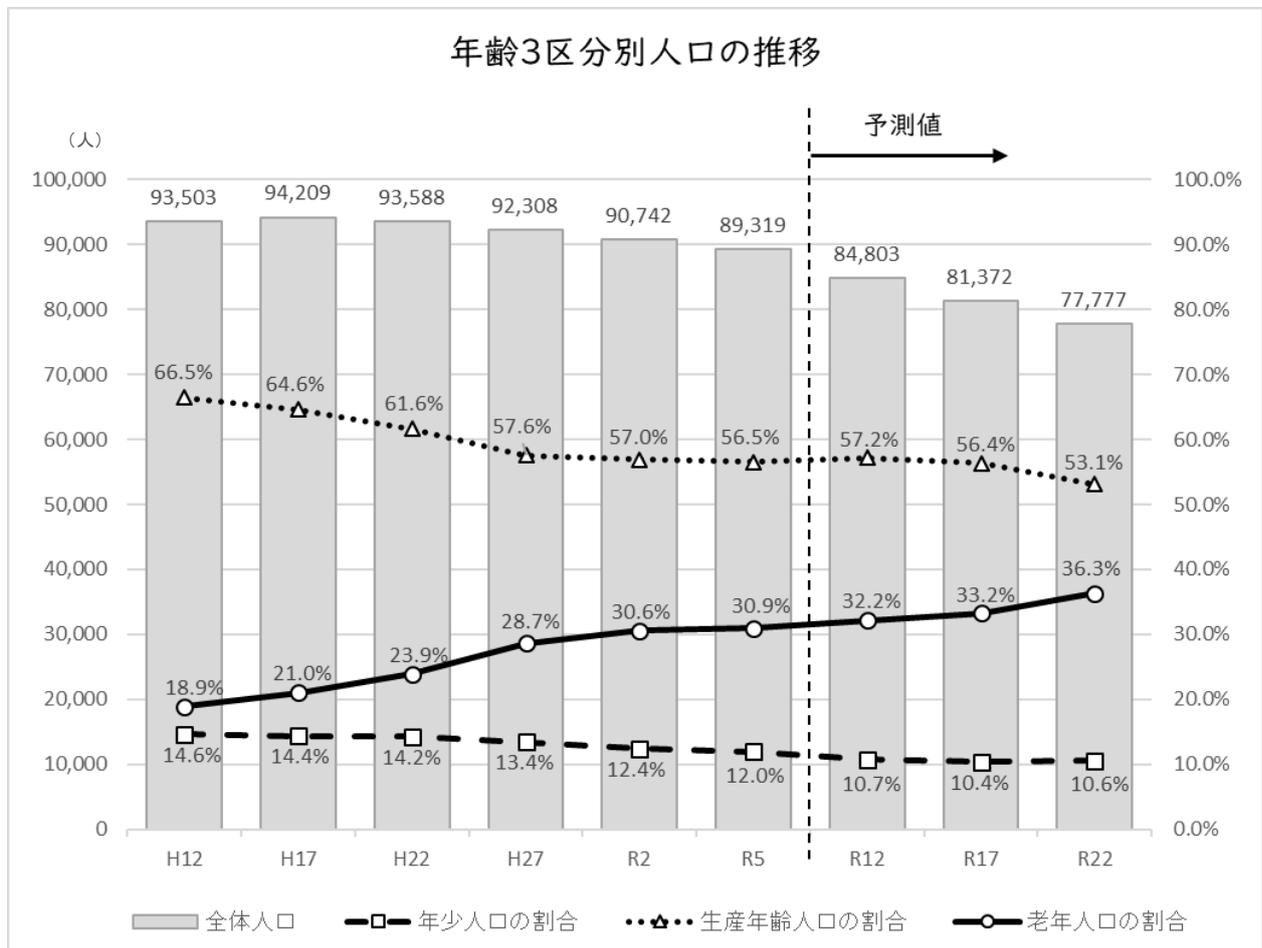
Ⅰ 人口・世帯

人口と世帯 要点

人口は減少し、少子高齢化が進んでいる
一世帯当たり人員は減少、高齢者世帯は増加している

(1) 年齢3区分別人口の推移と将来推計

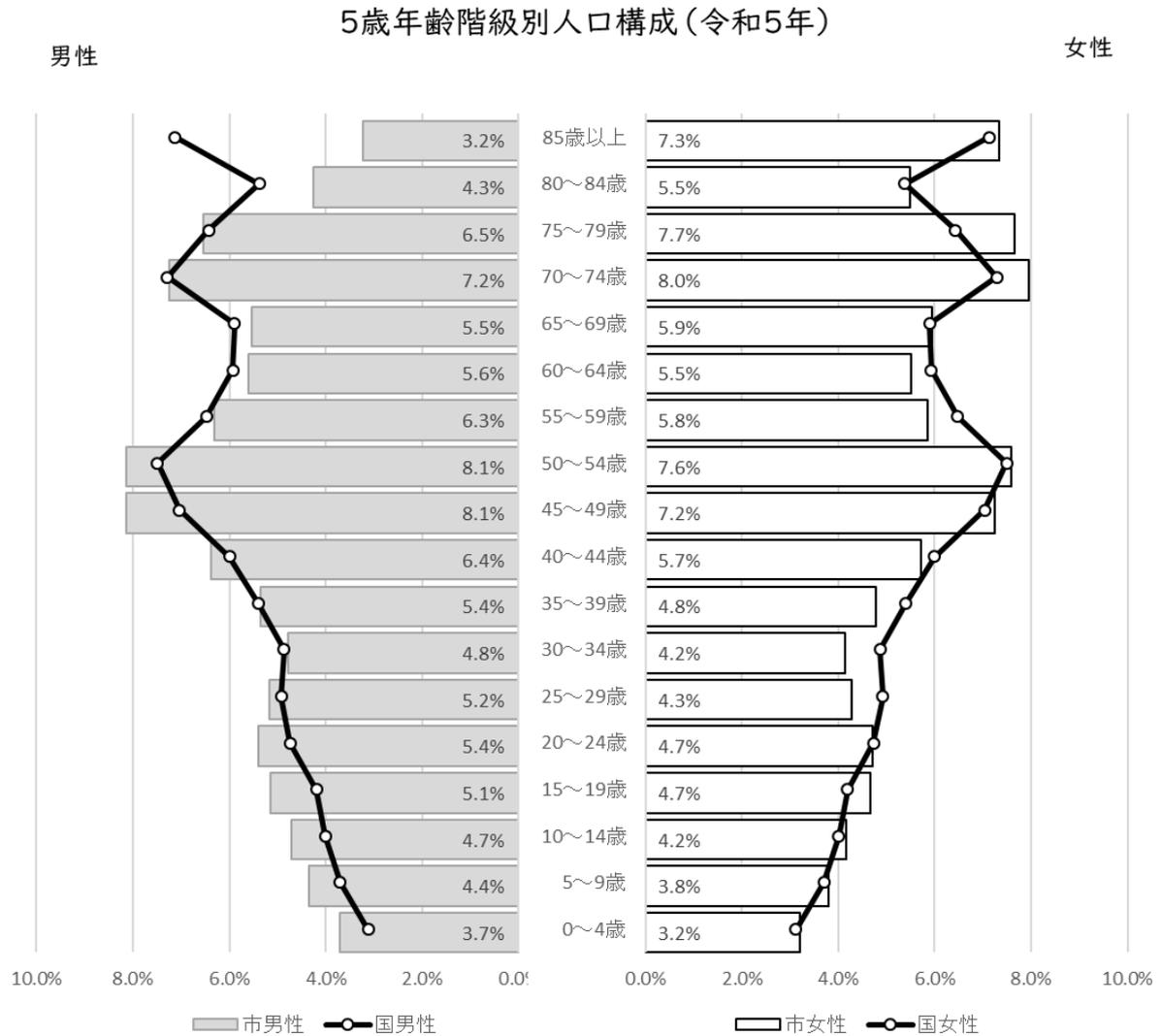
- ・ 総人口は徐々に減少しており、令和5年には89,319人となっています。
- ・ 年齢区分別にみると、年少人口(0~14歳)割合、生産年齢人口(15~64歳)割合は減少傾向が続いています。老年人口(65歳以上)割合は増加傾向にあり、令和5年は30.9%です。将来推計をみても、少子高齢化が今後も進むと予測されます。



出典：平成12年～令和2年 国勢調査(各年10月1日)
 令和5年 富山県人口移動調査(10月1日)
 令和12年以降は国立社会保障・人口問題研究所
 「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

(2) 5歳年齢階級別人口構成

- ・ 70～74 歳、75～79 歳の団塊の世代と 45～49 歳、50～54 歳の団塊ジュニア世代が多くなっています。
- ・ 国に比べ、25～34 歳の女性と 80 歳以上の男性が少なくなっています。
- ・ 人口構成は国と同様の傾向を示し、出生数が減少し、人口減少傾向で見られるつぼ型となっており、少子高齢化が進んでいることが分かります。

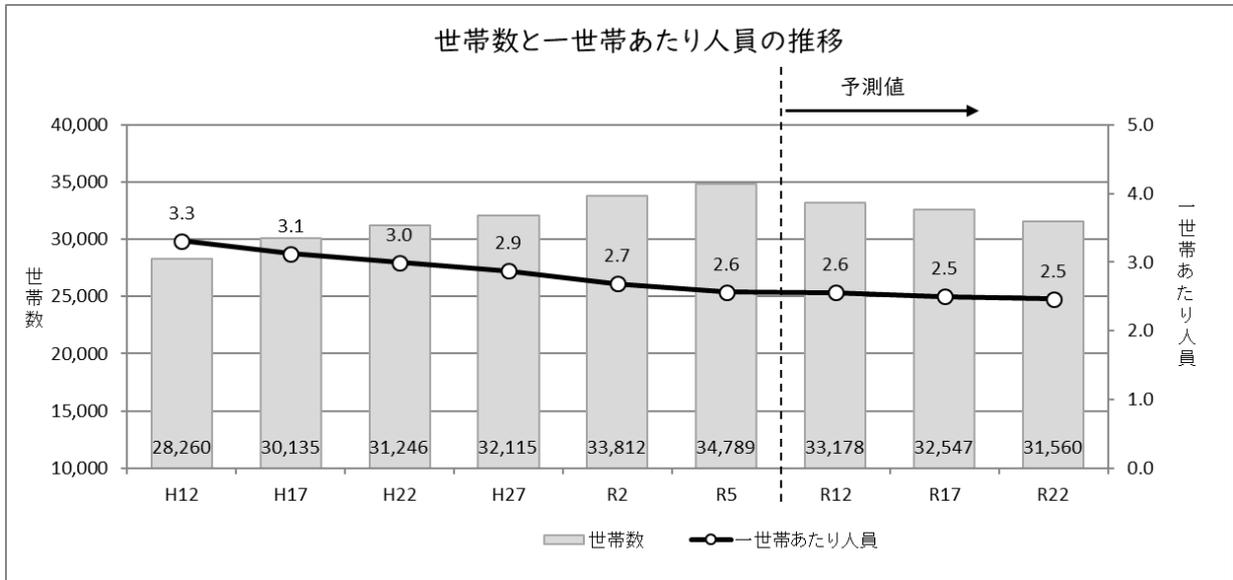


出典：射水市住民基本台帳(令和5年10月1日現在)
 総務省統計局「人口推計」(令和5年10月1日現在)

(3) 世帯数と世帯員数の推移と将来推計

①全体

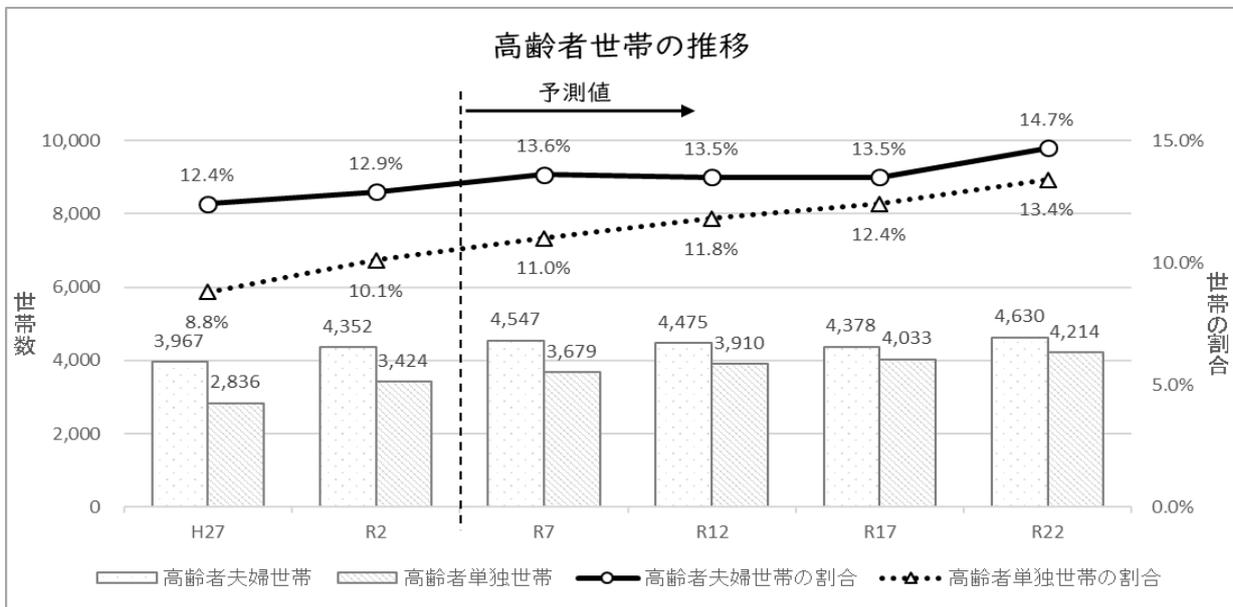
- ・ 令和5年の世帯数は 34,789 世帯であり、年々増加していましたが、今後は人口減少に伴い、世帯数の減少が予測されます。
- ・ 令和5年の一世帯あたり人員は 2.6 人です。



出典：平成12年～令和2年 国勢調査(各年10月1日)
 令和5年 富山県人口移動調査(10月1日)
 令和12年以降は国立社会保障・人口問題研究所
 「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

②高齢者の世帯状況

- ・ 高齢者世帯(高齢者夫婦、高齢者単独)は 20%を超えており、今後も増加していくと予測されます。



出典：射水市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画

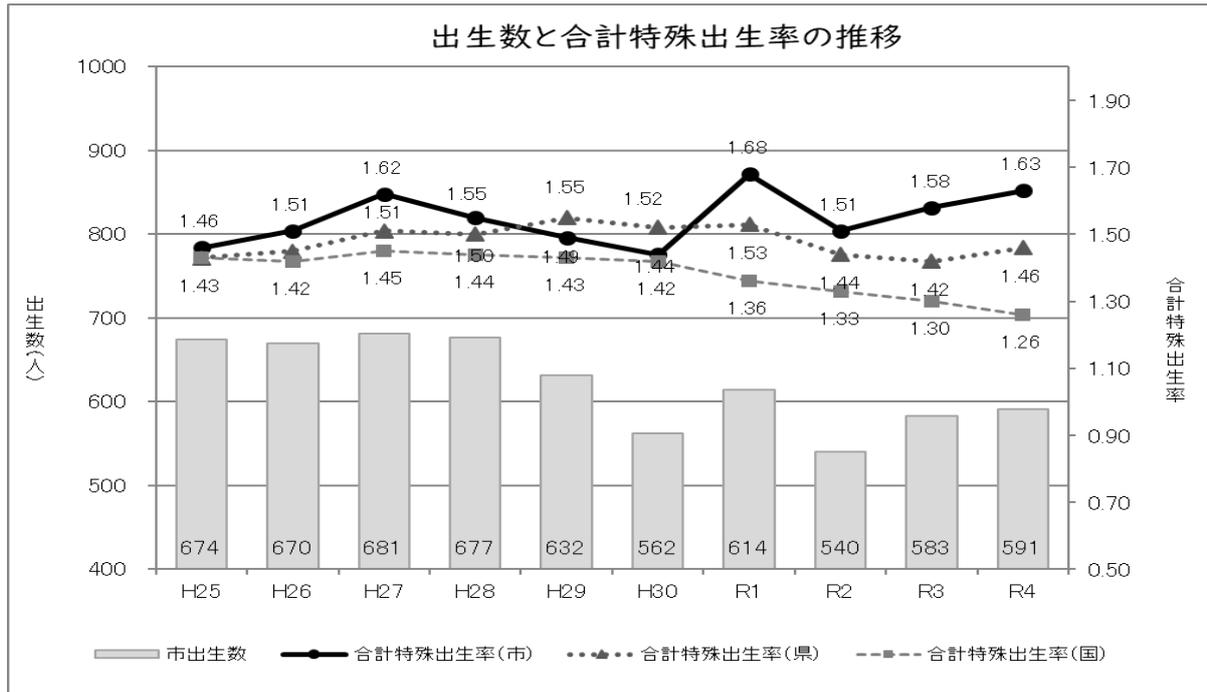
2 出生と死亡

出生と死亡 要点

出生数は減少傾向だが、合計特殊出生率は国・県より高い
 死亡は悪性新生物(がん)が第1位で増加傾向
 20～64歳の死亡(早世)では「悪性新生物(がん)」「自殺」が多い

(1) 出生数と合計特殊出生率の推移

- ・ 出生数は平成25年には674人でしたが、令和4年には591人となり、減少傾向です。
- ・ 合計特殊出生率※は、国・県より高く、令和4年は1.63となっています。

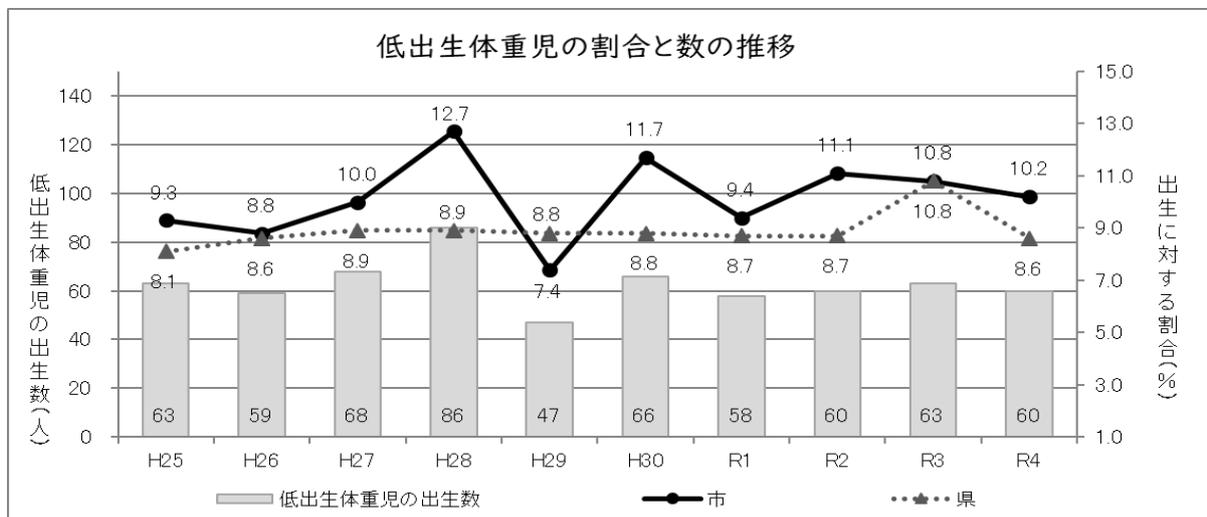


出典:富山県厚生部医務課「人口動態統計」

※「合計特殊出生率」とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率をすべて足し合わせた数字で、1人の女性が一生の間に出生する子どもの平均数

(2) 低出生体重児の状況

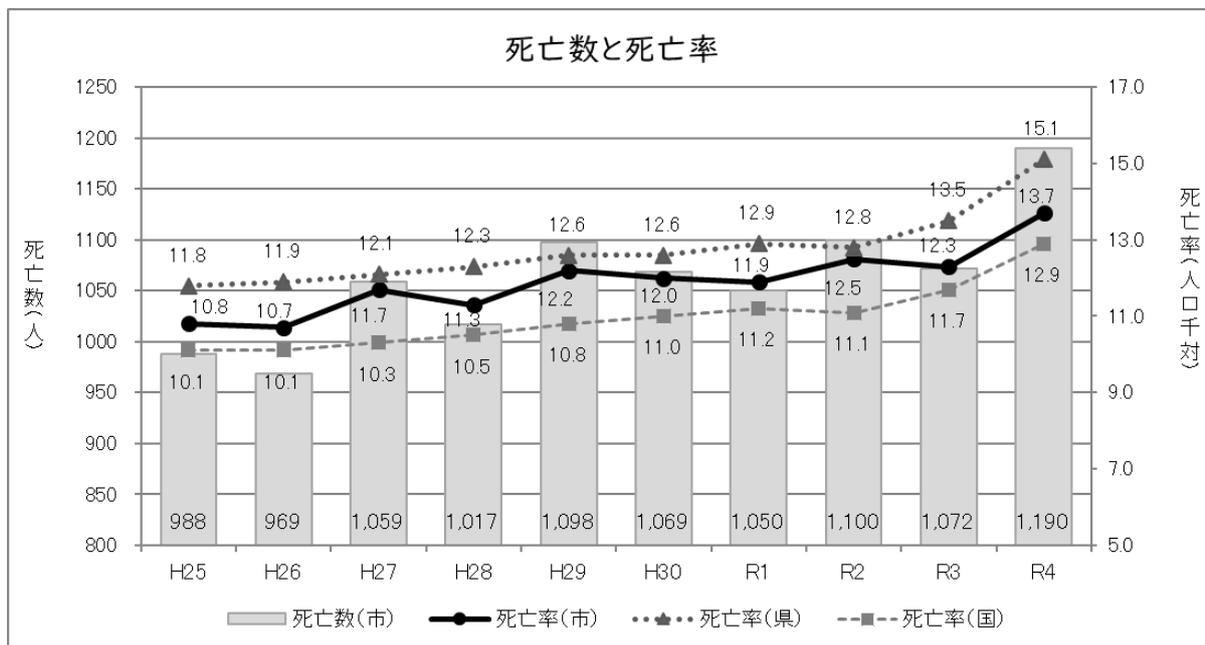
- ・ 出生に対する低出生体重児(2,500g未満で出生した児)の割合は県よりも高くなっています。



出典:富山県厚生部医務課「人口動態統計」

(3) 死亡数と死亡率の推移

- ・ 死亡数は、平成27年以降 1,000 人を超えており、令和4年には 1,190 人となっています。
- ・ 死亡率は、国よりも高く、令和4年は 13.7 となっています。

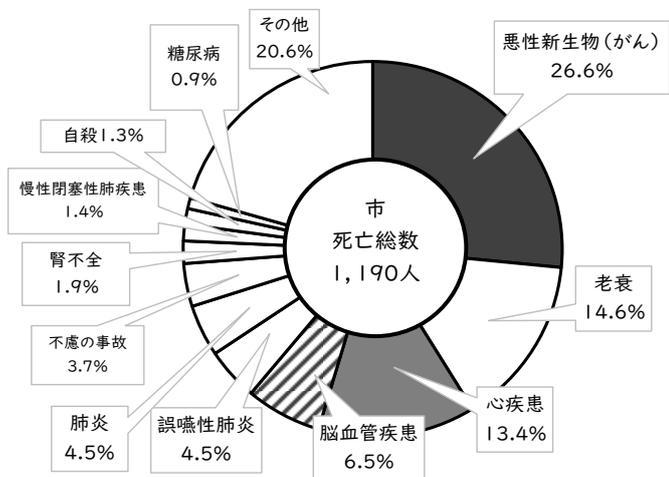


出典：富山県厚生部医務課「人口動態統計」

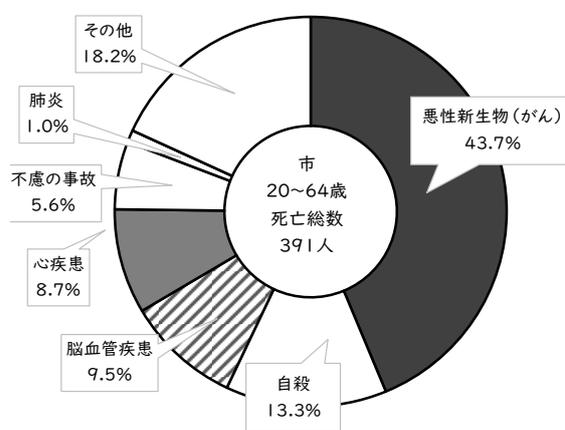
(4) 死因別死亡割合

- ・ 「悪性新生物(がん)」が 26.6%と最も高く、次いで「老衰」14.6%、「心疾患」13.4%の順となっています。三大生活習慣病である悪性新生物、心疾患、脳血管疾患をあわせると全体の 46.5%を占めています。
- ・ 20~64歳の死因別死亡割合では、「悪性新生物(がん)」が 43.7%と最も高く、次いで「自殺」13.3%、「脳血管疾患」9.5%と続きます。三大生活習慣病(悪性新生物、心疾患、脳血管疾患)をあわせると、61.9%を占め、全体に比べ、15.4%高くなっています。

主な死因別死亡割合(令和4年)



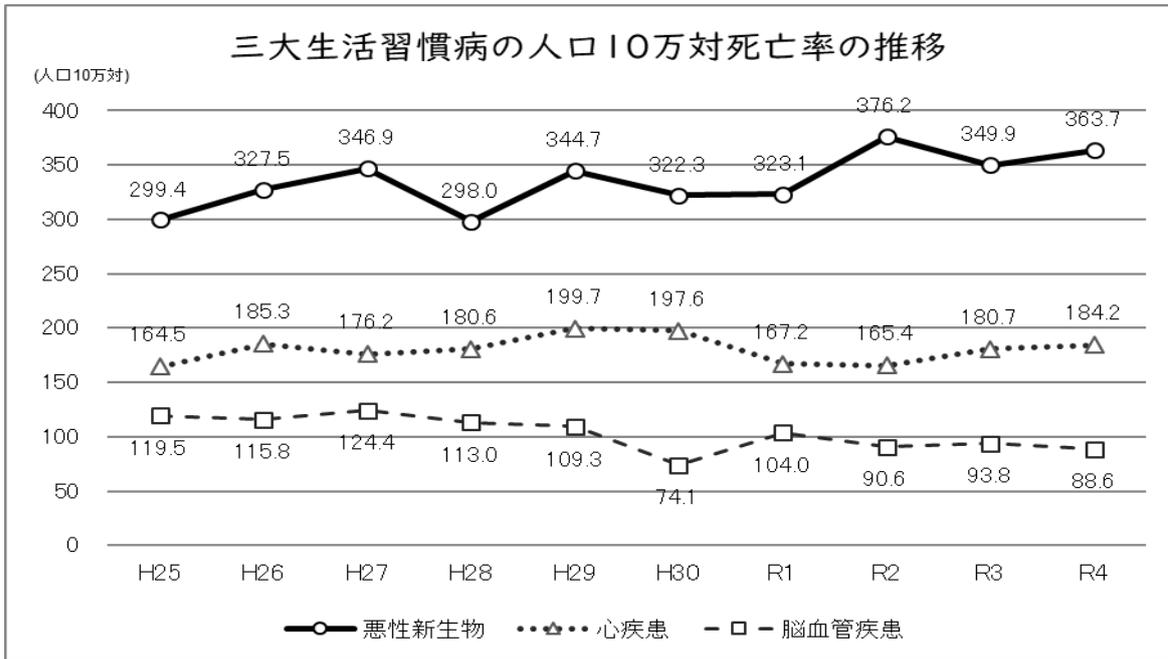
20~64歳の死因別死亡割合(平成30年~令和4年)



出典：富山県厚生部医務課「人口動態統計」

(5) 三大生活習慣病の人口10万対死亡率の推移

- ・ 悪性新生物(がん)は最も高く、増加傾向です。
- ・ 心疾患は横ばい、脳血管疾患は緩やかに減少傾向です。



出典:富山県厚生部医務課「人口動態統計」

(6) 悪性新生物(がん)の部位別人口10万対死亡率の推移

- ・ 男性の第1位は肺がんで、女性よりも多いです。
- ・ 大腸がんは男女ともに増加しており、女性の第1位となっています。

男性

年	R2		R3		R4		富山県(R4)	
総数	468.2		397.1		418.2		444.9	
1位	肺がん	109.5	肺がん	94.0	肺がん	125.2	肺がん	105.8
2位	胃がん	74.5	大腸がん	54.0	大腸がん	56.7	胃がん	57.3
3位	膵がん	67.6	胃がん	49.3	胃がん	54.3	大腸がん	55.3
4位	大腸がん	41.9	膵がん	35.2	膵がん	28.3	膵がん	40.2
5位	肝臓がん	32.6	肝臓がん	25.8	肝臓がん	21.3	肝臓がん	26.4

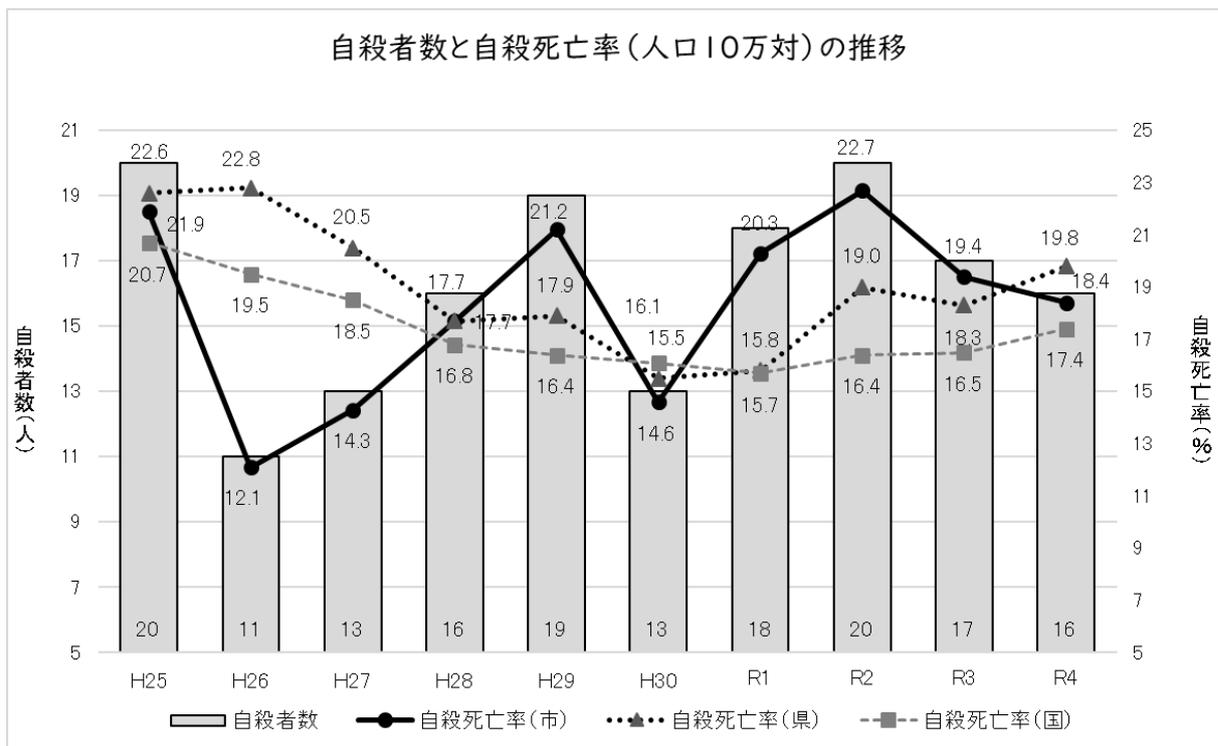
女性

年	R2		R3		R4		富山県(R4)	
総数	289.0		305.2		312.0		304.5	
1位	胃がん	41.9	大腸がん	42.3	大腸がん	40.4	大腸がん	52.1
2位	肺がん	39.7	胃がん	40.1	肺がん	35.9	膵がん	39.4
3位	膵がん	33.1	肺がん	35.6	胃がん	33.7	肺がん	36.1
4位	乳がん	30.9	膵がん	31.2	膵がん	31.4	胃がん	31.4
5位	大腸がん	28.7	乳がん	22.3	乳がん	26.9	乳がん	23.6

出典:富山県厚生部医務課「人口動態統計」

(7) 自殺者数と自殺死亡率(人口10万対)の推移

- ・ 自殺者数は、20人前後で推移しています。
- ・ 自殺死亡率は、国・県よりも高い状況が続いていましたが、令和4年は県より低くなりました。



出典:厚生労働省「人口動態統計」
富山県厚生部医務課「人口動態統計」

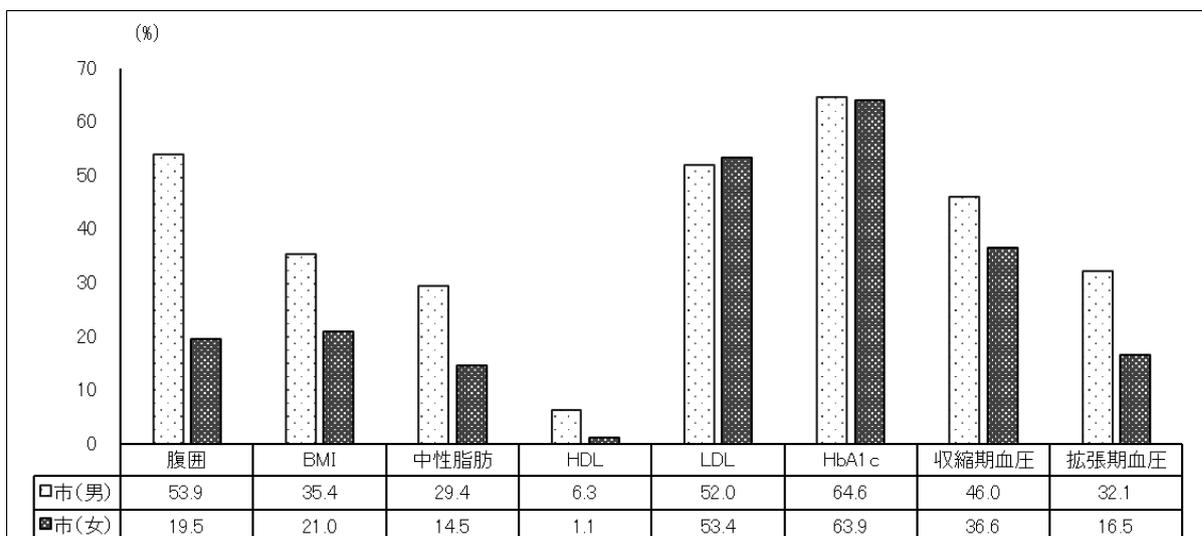
3 特定健康診査の状況

特定健診の状況 要 点	男女とも「HbA1c」は約 7 割が有所見となっており、血糖値が高い人が多い
----------------	--

(1) 健診有所見割合(令和4年度)

国民健康保険及び全国健康保険協会「協会けんぽ」加入者(40~74歳)の合算データ(健診受診者の約 7 割にあたる)19,115 人の状況です。

- ・ 男性は「腹囲」「LDL コレステロール」「HbA1c」の有所見者割合が高くなっています。
- ・ 女性は「LDL コレステロール」「HbA1c」の有所見者割合が高くなっています。



出典:国保データベース(KDB)システム「(様式5-2)有所見者割合」、全国健康保険協会提供データ

有所見の判定について

項目	有所見の判定基準	項目	有所見の判定基準
腹囲	男性 85cm 以上、女性 90cm 以上	BMI※	25 以上
中性脂肪	150 mg/dl 以上	HDLコレステロール※	40 mg/dl 未満
LDLコレステロール※	120 mg/dl 以上	HbA1c※	HbA1c5.6%以上
収縮期血圧	130 mmHg 以上	拡張期血圧	85 mmHg 以上

※「BMI」とは、肥満度を表す指標で $[体重(kg)] \div [身長(m)] \div [身長(m)]$ で求められる。

※「HDLコレステロール」とは、余分なコレステロールを回収して動脈硬化を抑える、善玉コレステロール

※「LDLコレステロール」とは、肝臓でつくられたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる、悪玉コレステロール

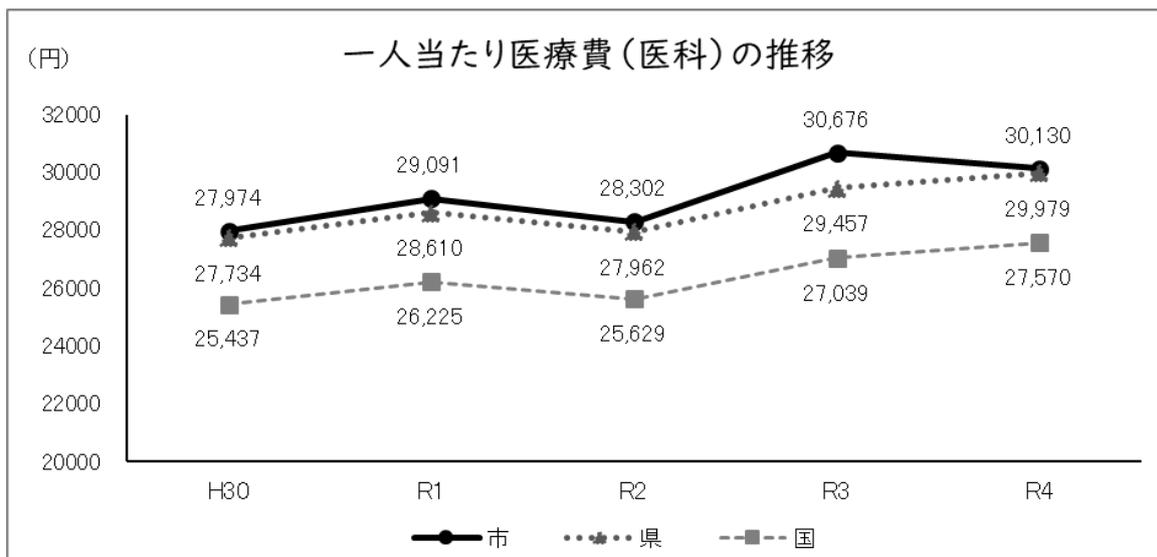
※「HbA1c」とは、血液中の糖化ヘモグロビン(ブドウ糖がヘモグロビンと結合したもの)がどのくらいの割合で存在しているかをパーセントで表したもの。血糖値の高い状態が続くと、ヘモグロビンに結合するブドウ糖の量が多くなり、HbA1cは高くなる。

4 医療費の状況(国民健康保険)

医療費の状況 要 点	一人当たり医療費は増加傾向で、国・県より高い 医療費の内訳では、悪性新生物(がん)が多く、国・県より高い
-----------------------------	---

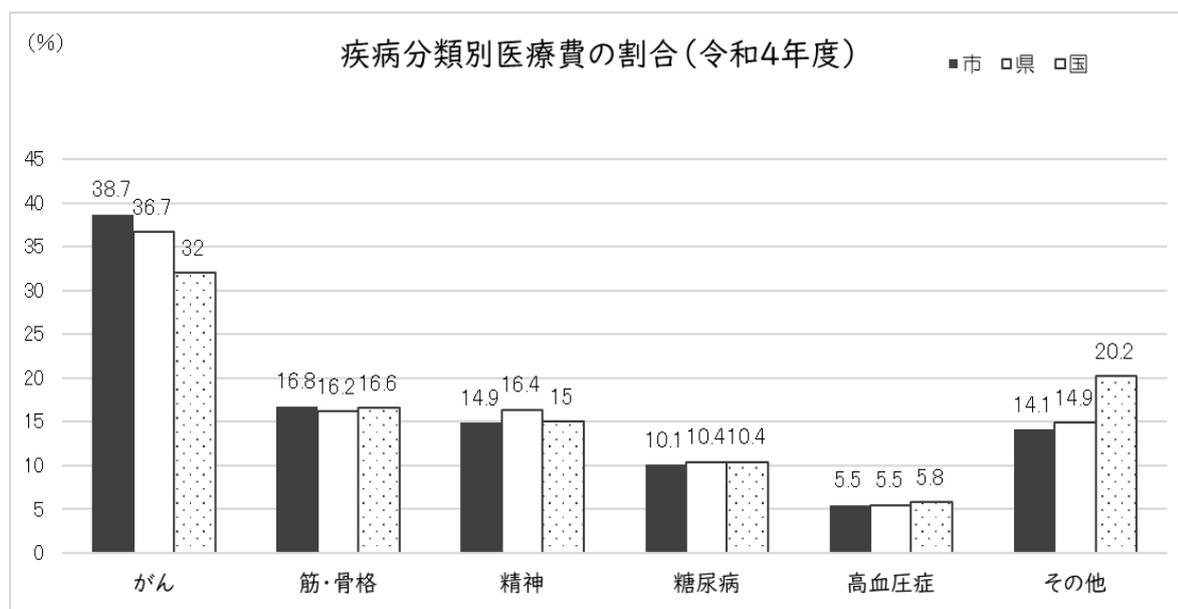
(1) 一人当たり医療費(月平均)の推移

- ・1ヶ月の平均医療費は増加傾向で、国・県より高くなっています。



(2) 疾病分類別医療費の状況

- ・「悪性新生物(がん)」の医療費の割合が約4割を占めており、国・県より高くなっています。



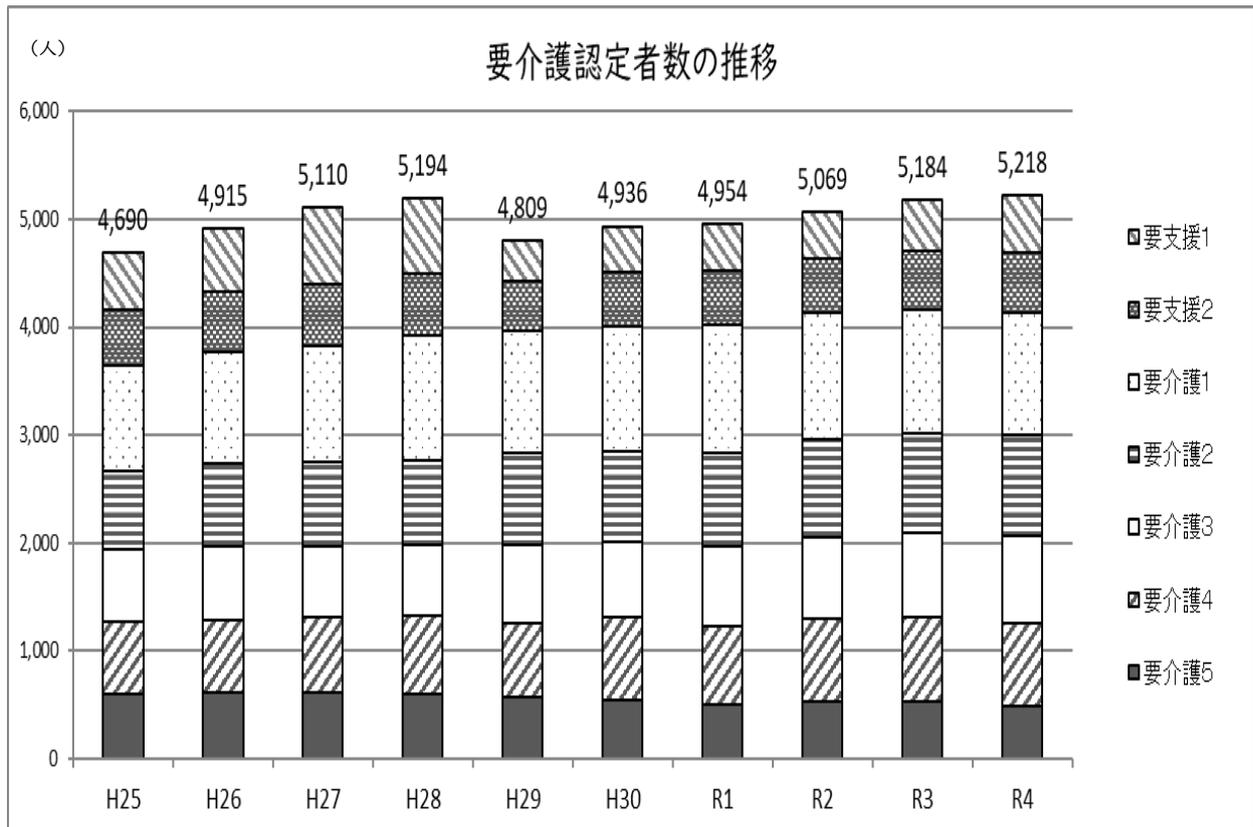
5 要介護認定者の状況

要介護認定者の状況 要 点

要介護認定率は国・県より低い
介護保険第2号被保険者の要介護となった原因疾患は、脳血管疾患が最も多いが、がん末期が増加している

(1) 要介護認定者数の推移

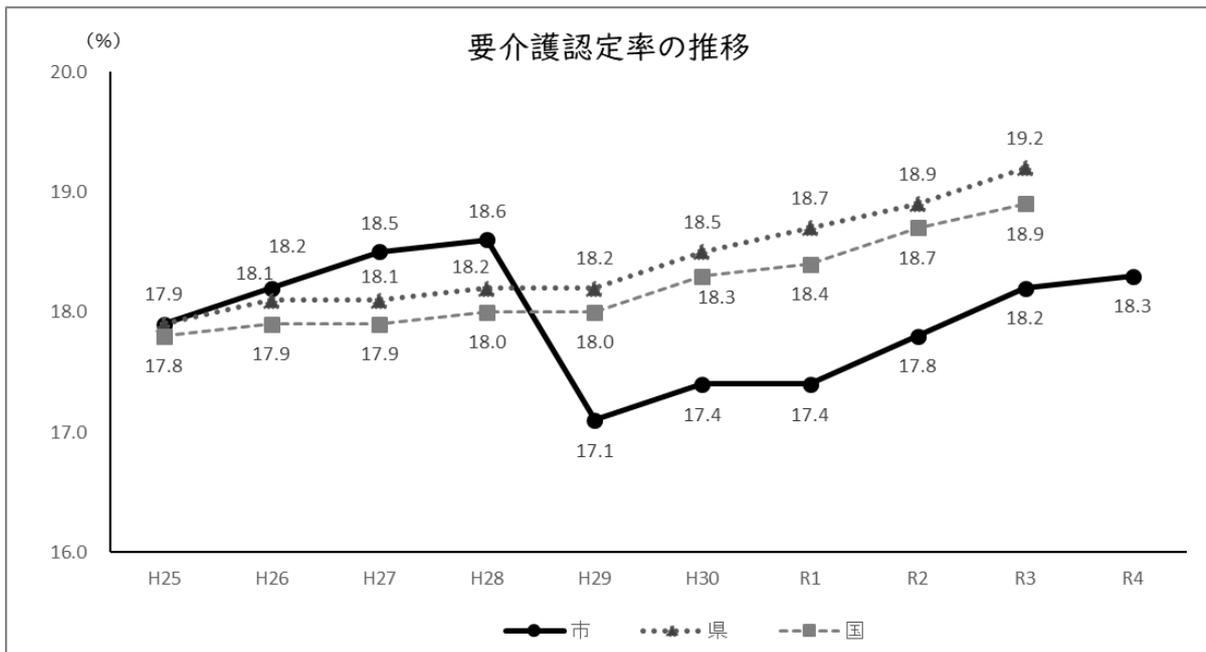
- ・平成29年度に総合事業が始まり、要支援1、2の認定者が減少したことにより、認定者数が減少しましたが、その後は増加傾向です。



出典：射水市「介護保険事業状況報告」（各年度3月末）

(2) 要介護認定率の推移

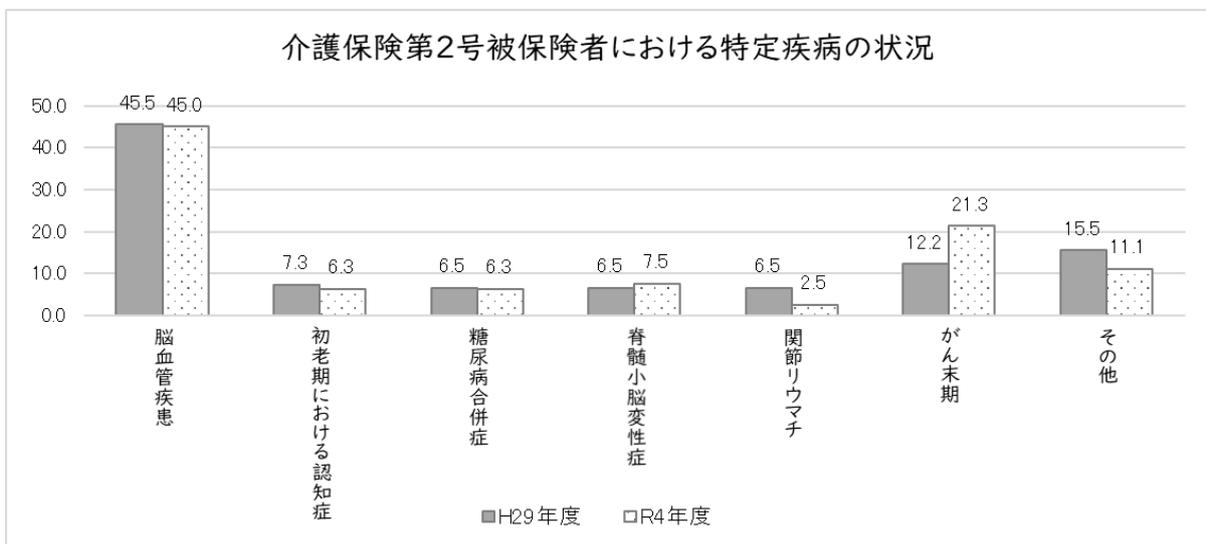
- ・平成29年以降、国・県より低くなっています。



出典：射水市「介護保険事業状況報告」

(3) 介護保険第2号被保険者における特定疾病の状況

- ・要介護の原因疾患は、「脳血管疾患」が最も高く、次いで「がん末期」となっています。
- ・がん末期の割合が増加しています。



出典：介護保険総合データベース

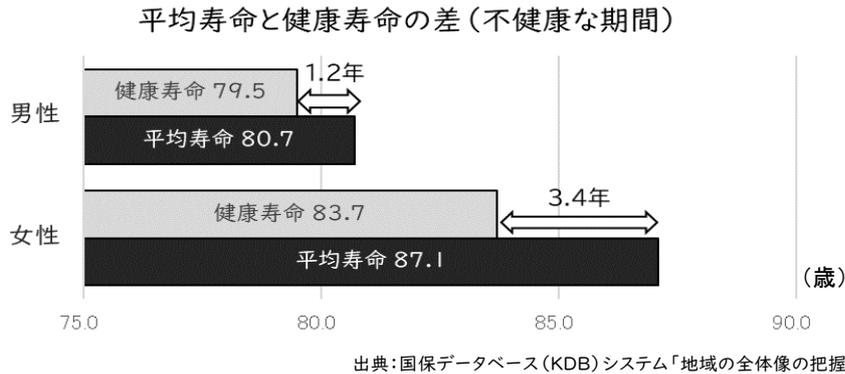
6 健康寿命と健康観

健康寿命と健康観 要 点	平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)は短縮 「健康である」と感じている市民は約7割で、県よりも低い
-------------------------	---

(1) 射水市の平均寿命と健康寿命(令和4年)

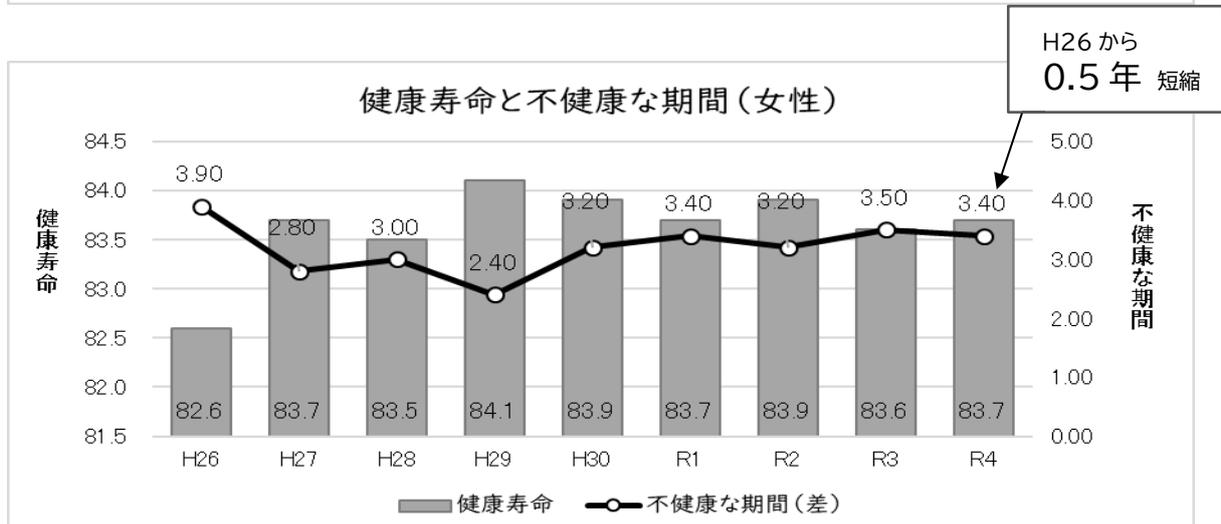
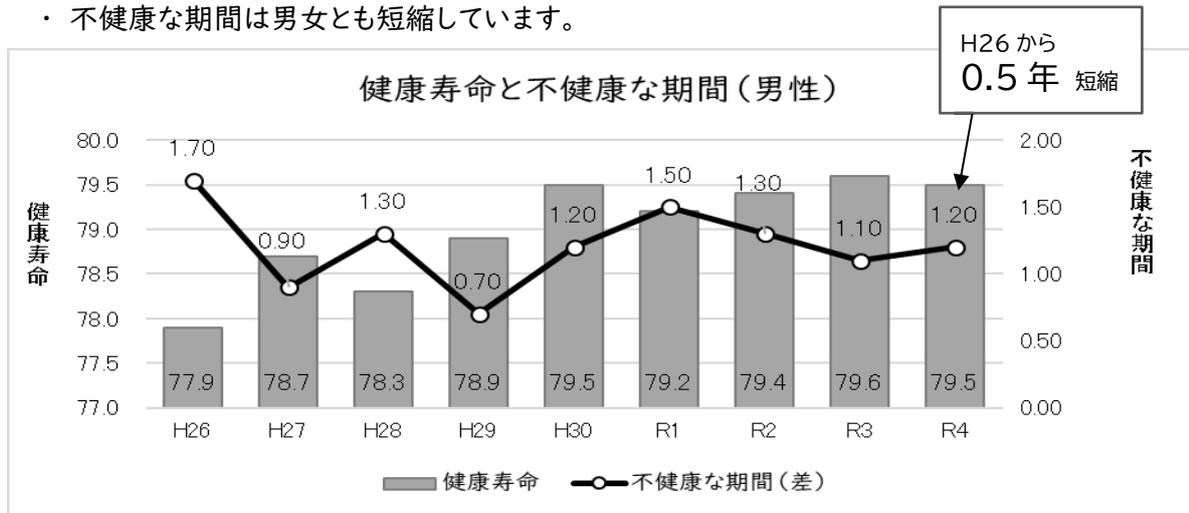
- ・ 男性の平均寿命は80.7歳、健康寿命は79.5歳で、その差(不健康な期間)は1.2年です。
- ・ 女性の平均寿命は87.1歳、健康寿命は83.7歳で、その差(不健康な期間)は3.4年です。

※「健康寿命」とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと



(2) 健康寿命と不健康な期間の推移

- ・ 不健康な期間は男女とも短縮しています。



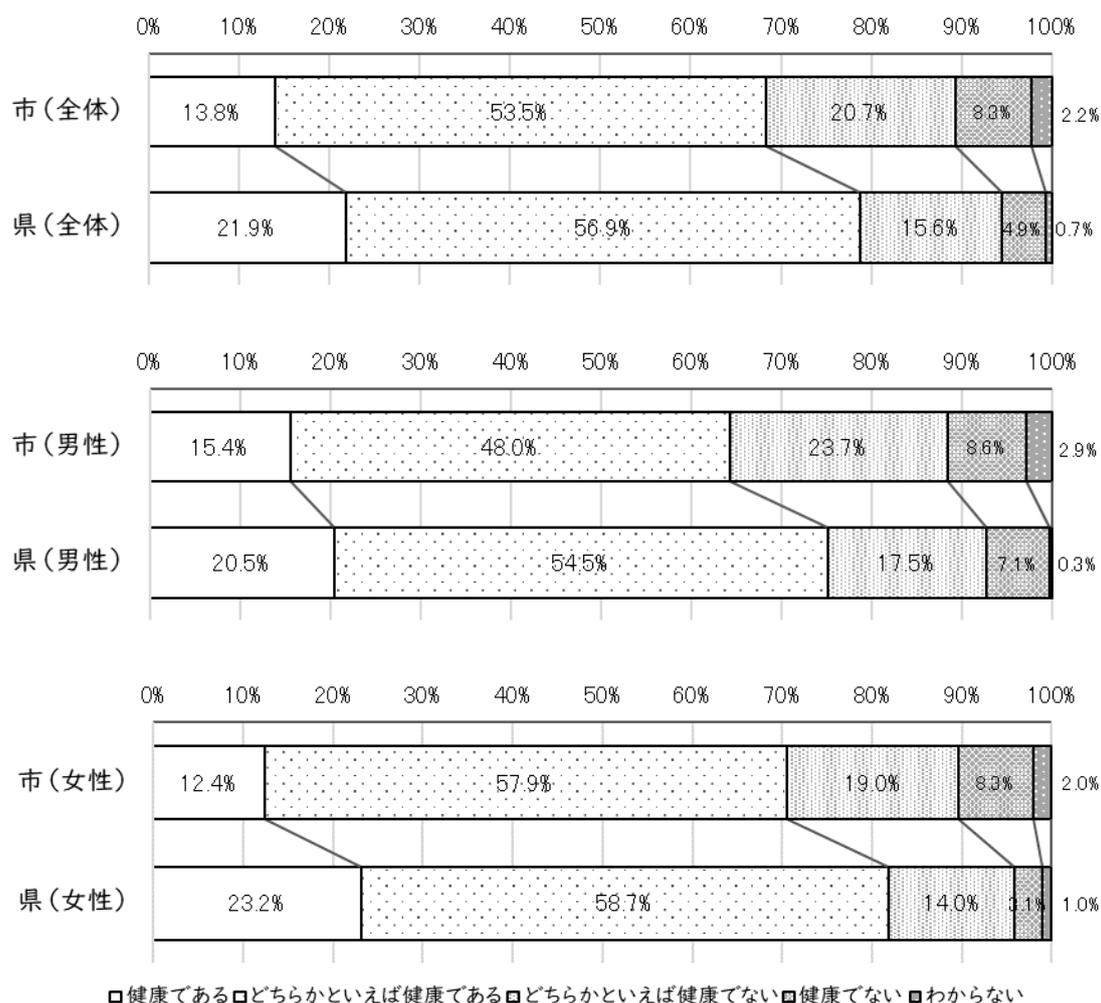
出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 射水市民の健康観

主観的健康観は、自らの健康状態を主観的に評価する指標です。主観的健康観が高い人ほど疾患の有無に関わらず生存率が高いことが言われており、QOLに大きな影響を与える要因となります。

*令和5年度に実施した市民アンケート(858人)の結果と健康づくり県民意識調査(1,342人)の結果を比較しました。

- ・「健康」と感じている市民の割合(「健康である」、「どちらかといえば健康である」と回答)は、67.3%であり、男性は63.4%、女性が70.3%と女性が多い状況です。
- ・県は「健康」と感じている割合が約8割であり、市が低くなっています。



出典：射水市健康づくりアンケート、富山県健康づくり県民意識調査

射水市の健康課題を踏まえ、重点的に取り組む分野を下記の3つとします

がん予防

糖尿病予防

自殺予防

健康づくりに関するアンケート調査結果 (市民アンケート)

第3次射水市健康増進プラン策定用 令和5年度実施

調査の概要

調査目的 市民のさらなる健康寿命延伸に向けて、現況に即した施策を検討するため、市民向けに実施した。

調査地域 射水市全域

調査対象 市内在住の20歳以上の男女 2,000人(地区・年齢を考慮)

調査期間 令和5年12月1日～令和6年1月10日

調査方法 郵送による配布、回収(Web上でも回答できるようWeb回答フォームを設けた)

回収状況

配布数	回収数	回収率	有効回答数
2,000	860 紙回答:608 Web回答:252	43.0%	858 紙回答:607 Web回答:251

目次

1 回答者の属性	3
2 調査結果	
あなたの健康状態について	5
運動習慣について	6
食習慣や食への関心について	8
休養・こころの健康について	15
飲酒について	19
喫煙について	20
歯の健康について	22
糖尿病について	23
健康に関する言葉について	24
地域のつながりについて	25
健康づくりの取組について	26

【調査結果の見方】

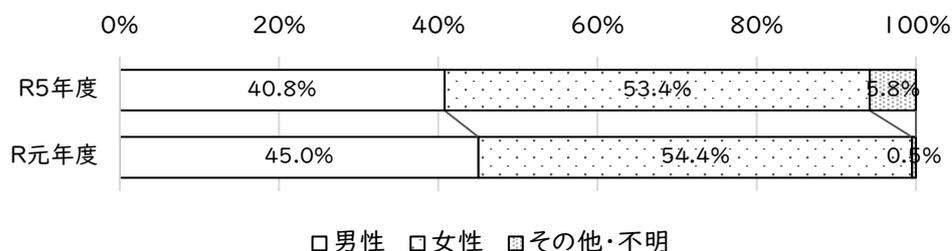
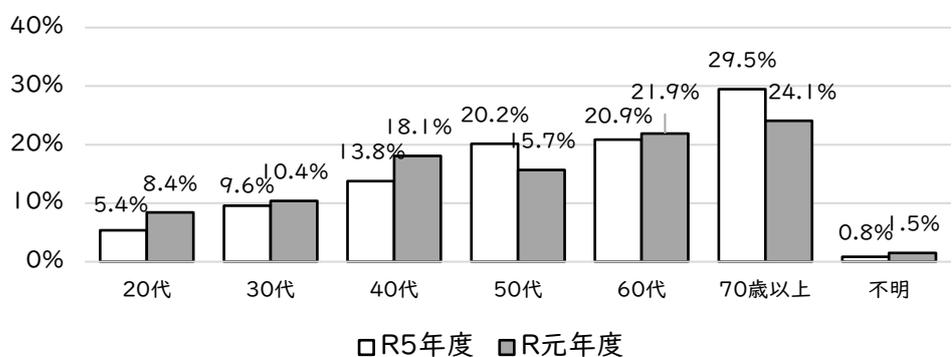
- ・回答結果の割合(%)は、有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- ・図表中で「不明」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・令和元年度に同様の調査を行っており、比較できるものは並べて表示しています。

1 回答者の属性

(1) 年齢・性別

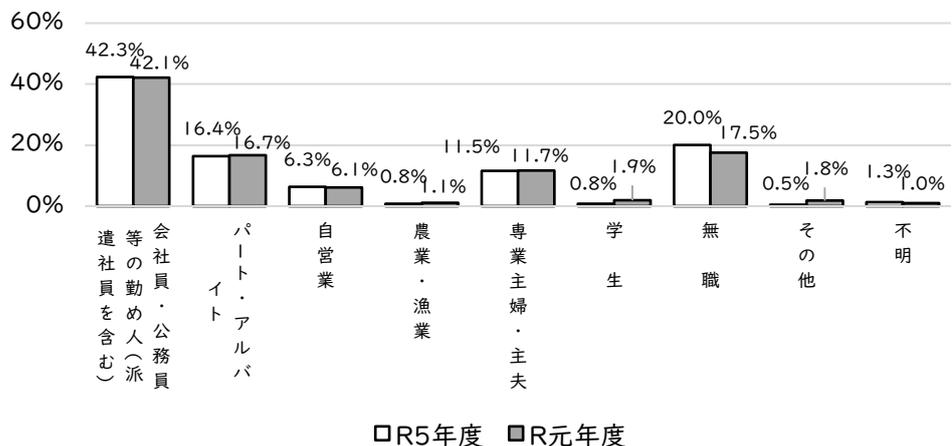
- ・ 年齢は、「60代」が20.9%、「70代以上」が29.5%で回答者の半分を占めています。
- ・ 性別は、「男性」が40.8%、「女性」が53.4%となっています。

項目	男性	女性	その他・不明	計	(割合)
20代	16	29	1	46	5.4%
30代	33	48	1	82	9.6%
40代	49	63	6	118	13.8%
50代	66	93	14	173	20.2%
60代	83	95	1	179	20.9%
70代以上	102	130	21	253	29.5%
不明	1	0	6	7	0.8%
計	350	458	50	858	100.0%
(割合)	40.8%	53.4%	5.8%		



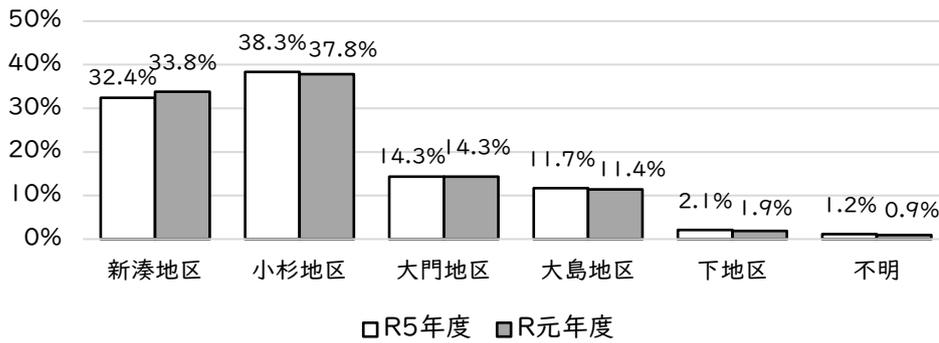
(2) 職業

- ・ 「会社員・公務員等の勤め人」が最も多く42.3%、次いで「無職」が20.0%です。



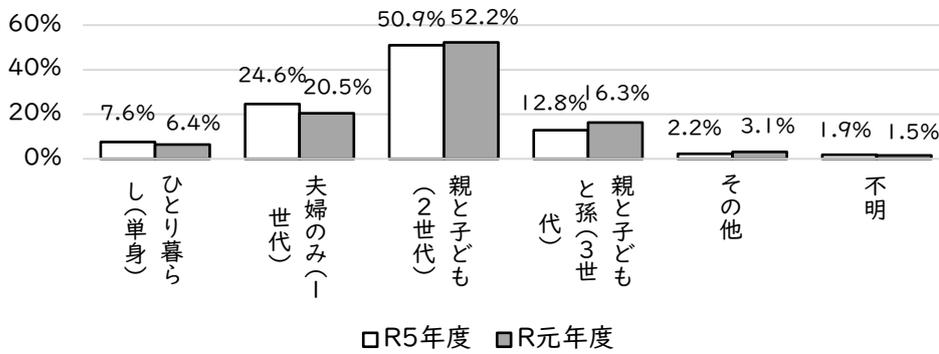
(3) 居住地区

- ・「小杉地区」が最も多く38.3%、次いで「新湊地区」が32.4%です。



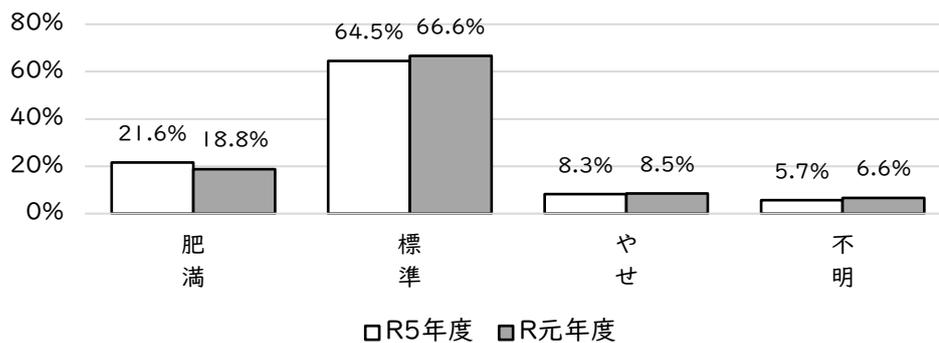
(4) 家族構成

- ・「親と子ども(2世代)」が最も多く50.9%、次いで「夫婦のみ(1世代)」が24.6%です。



(5) 体格(BMI*の区分による肥満・標準・やせの割合)

- ・「標準」の人が最も多く64.5%、次いで「肥満」が21.6%です。



※BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)により算出

25 以上	肥満
18.5 以上 25 未満	標準
18.5 未満	やせ

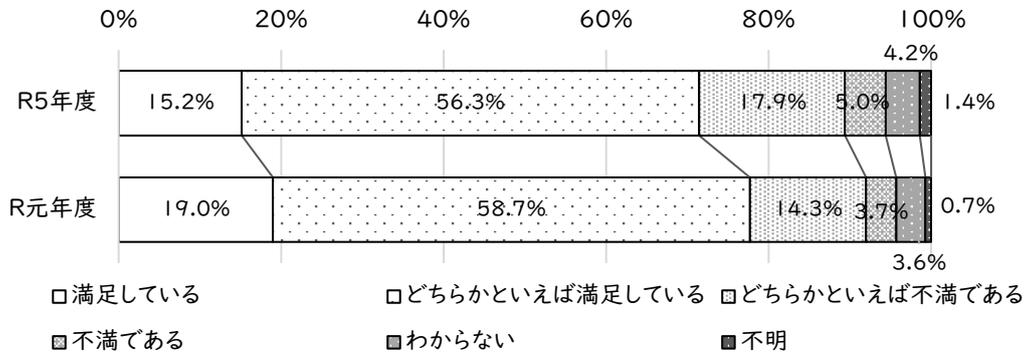
- 回答者の属性は、前回調査と比較すると大きな差はなく、全体の分析結果における属性による影響は少ないと思われます。

2 調査結果(有効回答数 858 人の結果)

あなたの健康状態について

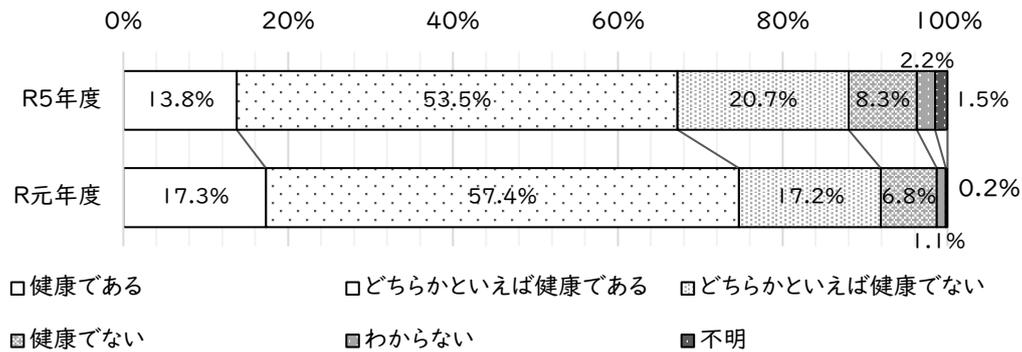
問1	あなたは、生活全般について現在どの程度満足していますか
----	-----------------------------

・「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると71.5%です。



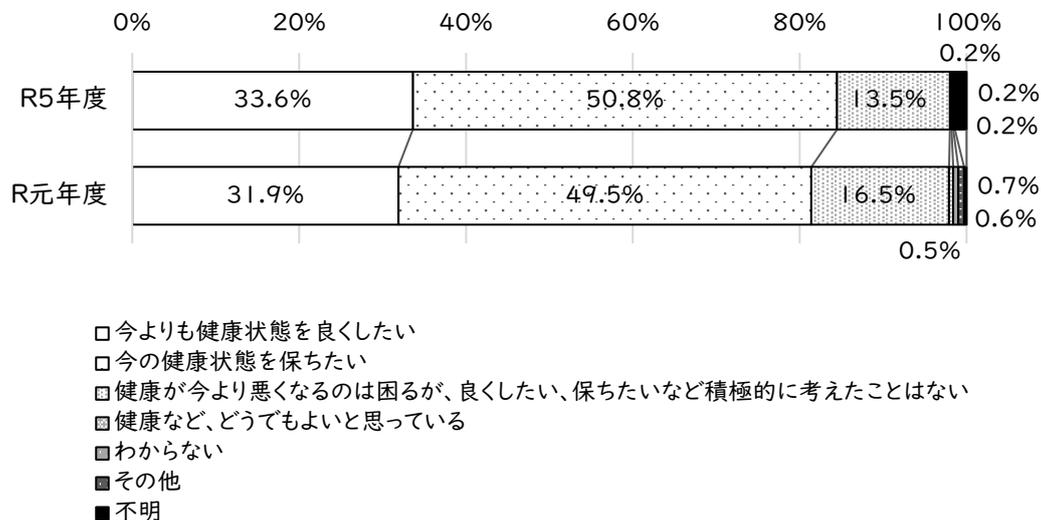
問2	あなたは、自分の今の健康状態をどのように感じていますか
----	-----------------------------

・「健康である」「どちらかといえば健康である」を合わせると67.3%です。



問3	あなたは、自分の健康について、どのようにしたいと思っていますか
----	---------------------------------

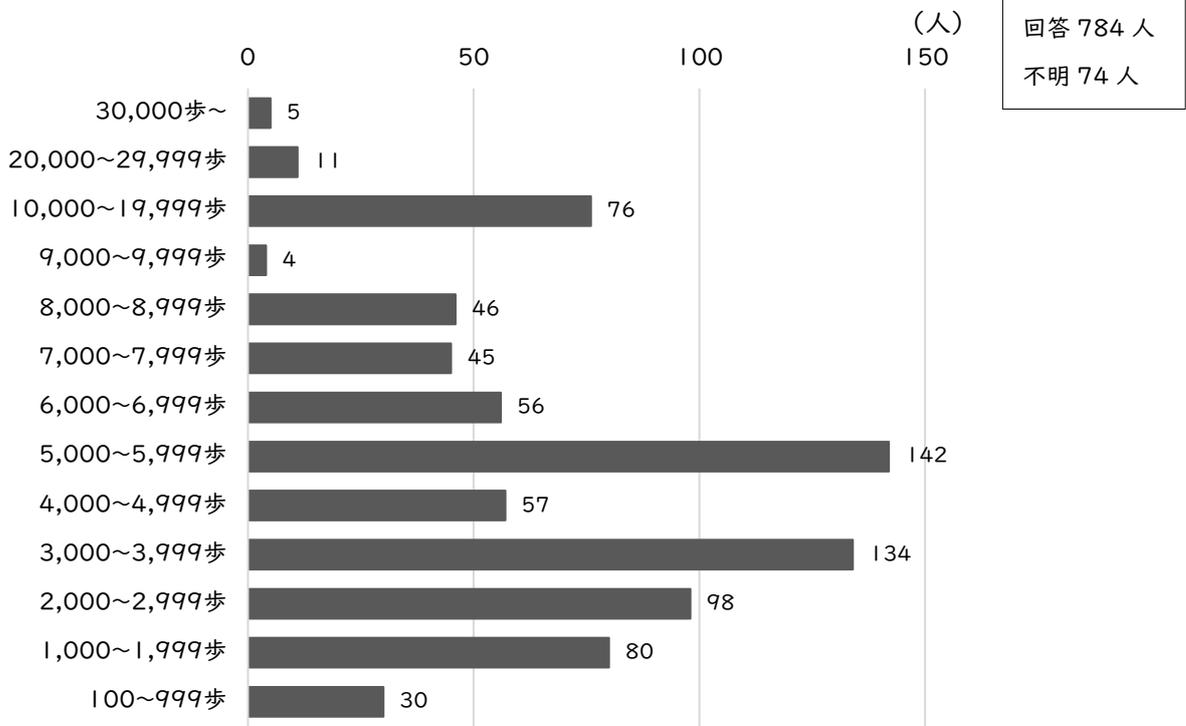
・「今よりも健康状態を良くしたい」「今の健康状態を保ちたい」が84.4%です。



運動習慣について

問4 あなたの1日あたりの歩数はどれくらいですか

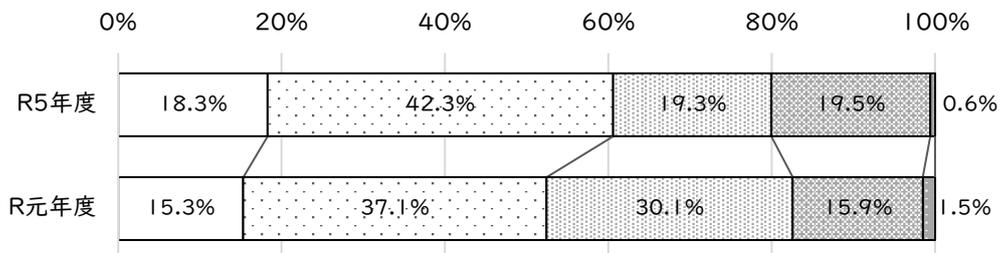
- ・ 回答者が最も多かったのは5,000～5,999歩で142人、次いで3,000～3,999歩で134人です。
- ・ 1日あたりの歩数の平均は5,159歩で、男性が5,821歩、女性が4,742歩と男性の方が多いです。
- ・ 年代別にみると、20～64歳の女性の歩数の平均が、男性と比べ1,590歩少ないです。



歩数 平均値	20～64歳		65歳以上		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
	6,696歩	5,106歩	4,673歩	4,164歩	5,821歩	4,742歩
	5,723歩		4,335歩		5,159歩	

問5 あなたは、日常生活の中で健康の保持・増進のために意識的に身体を動かしたり、運動したりしていますか

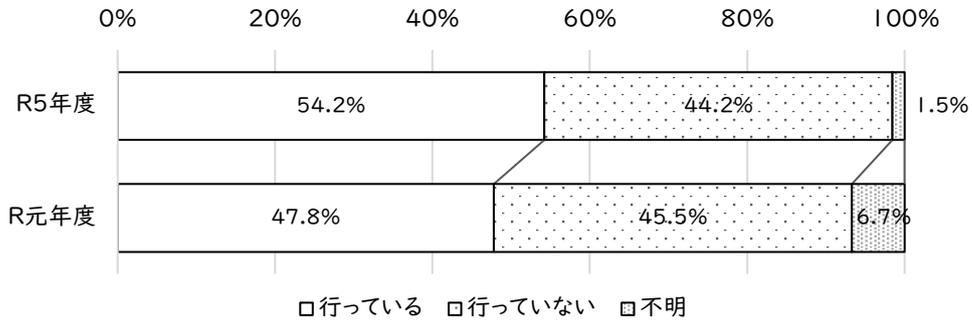
- ・ 「いつもしている」「時々している」を合わせると60.6%で、R元年度より増加しています。



□いつもしている □時々している □以前はしていたが、現在はしていない □全くしていない □不明

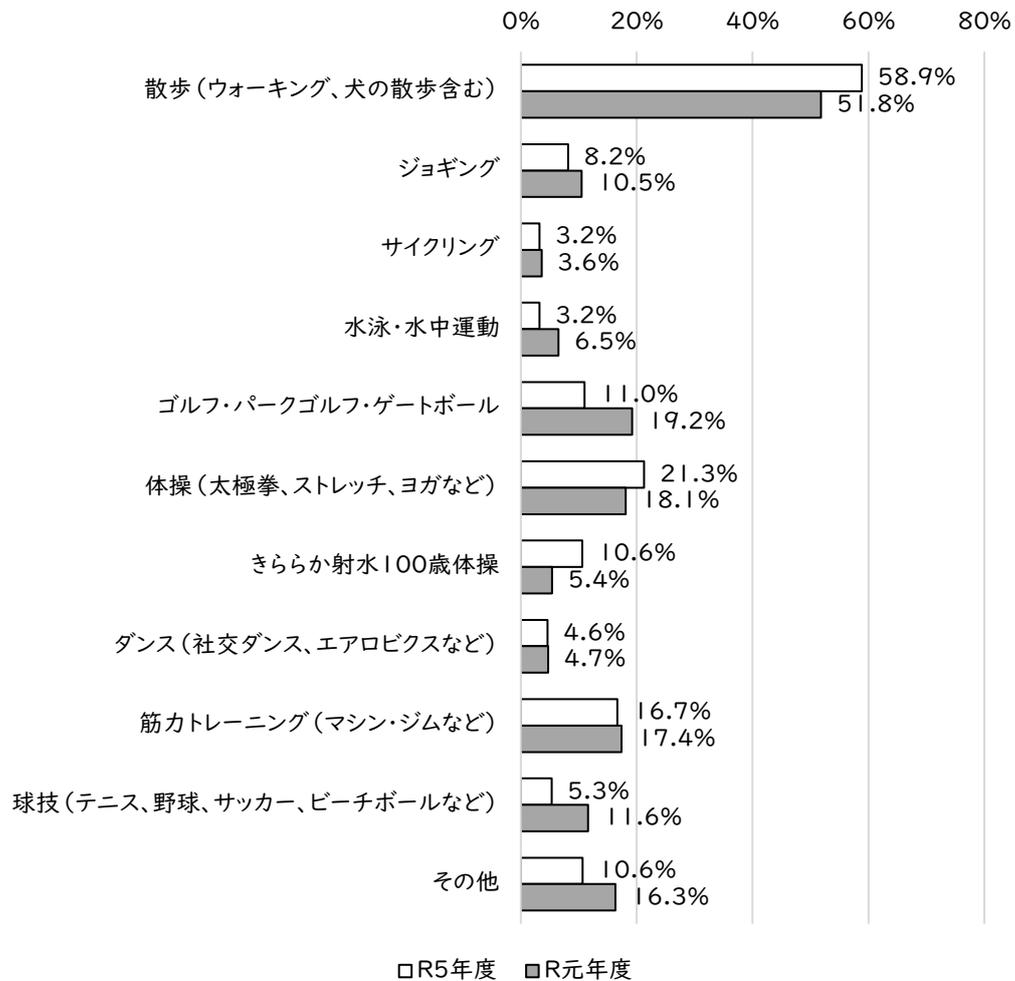
問5-1 問5で「いつもしている」「時々している」と回答した方(520人)
あなたは、1回30分以上、週2日以上、の運動を、1年以上継続して行っていますか

・「行っている」が54.2%、「行っていない」が44.2%です。



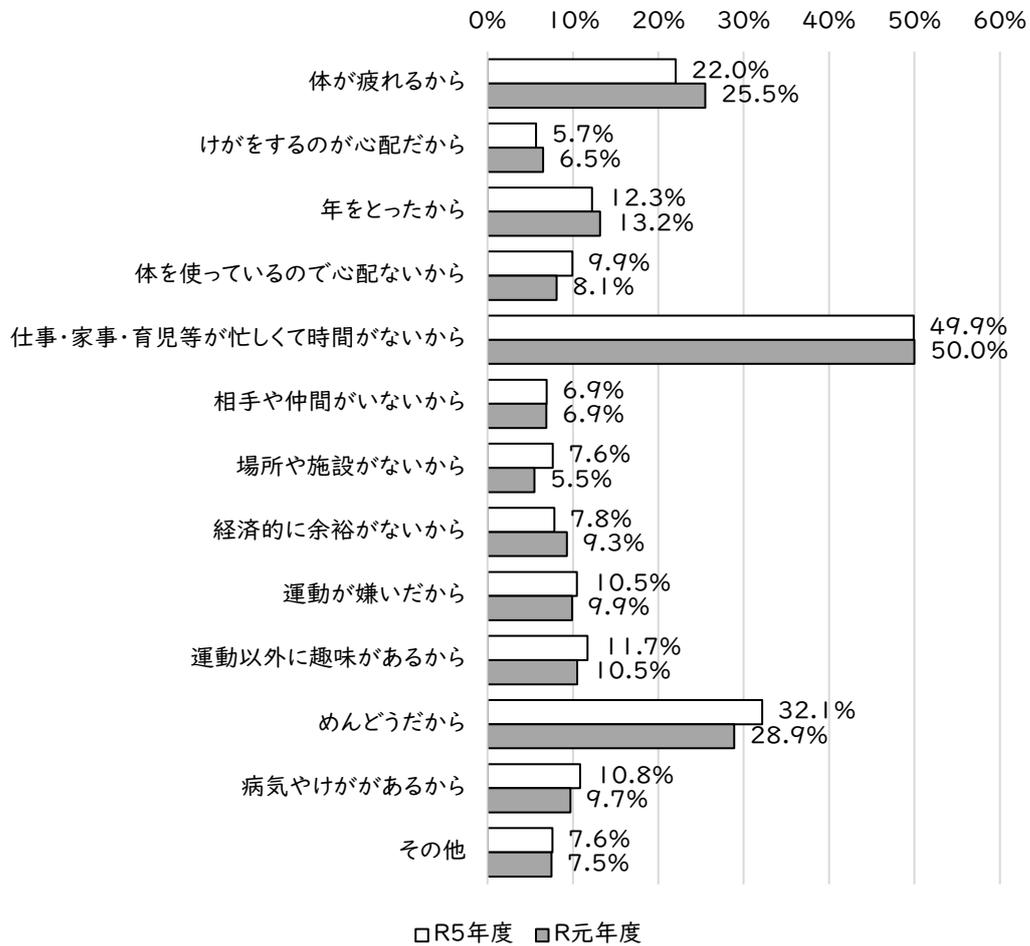
問5-2 問5-1で「行っている」と回答した方(282人)
定期的に行っている運動は何ですか(複数回答)

・「散歩」が最も多く58.9%、次いで「体操」が21.3%です。



問5-3 問5で「以前はしていたが、現在はしていない」「全くしていない」と回答した方、問5-1で「行っていない」と回答した方(563人)
運動習慣の定着の妨げとなっていることは何ですか(複数回答)

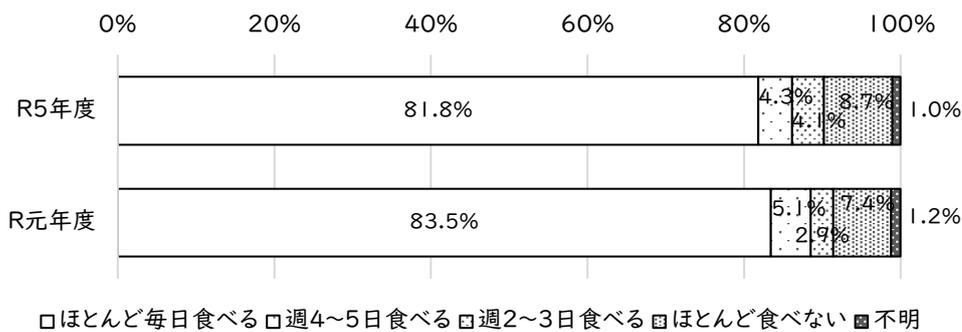
・「仕事・家事・育児等が忙しくて時間がない」が最も多く49.9%、次いで「めんどうだから」が32.1%です。



食習慣や食への関心について

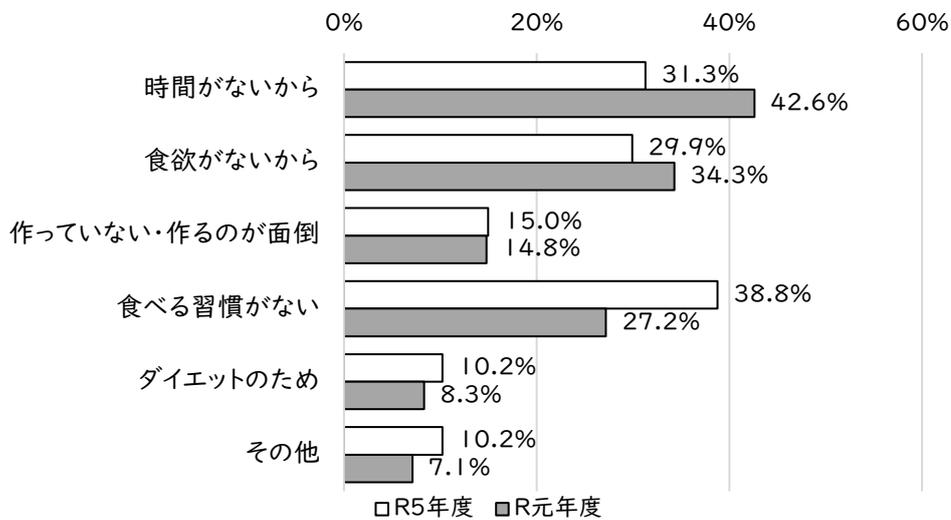
問6 あなたはふだん朝食を食べていますか

・「ほとんど毎日食べる」が最も多く81.8%、次いで「ほとんど食べない」が8.7%です。



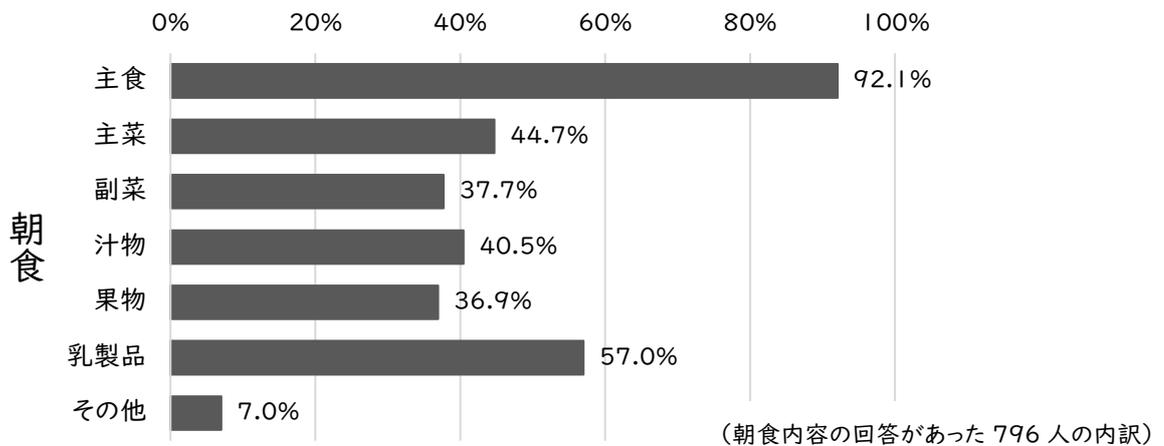
問6-1 問6で「週4~5日食べる」「週2~3日食べる」「ほとんど食べない」と回答した方(147人)
朝食を食べない理由は何ですか(複数回答)

・「食べる習慣がない」が最も多く38.8%、次いで「時間がないから」が31.3%です。

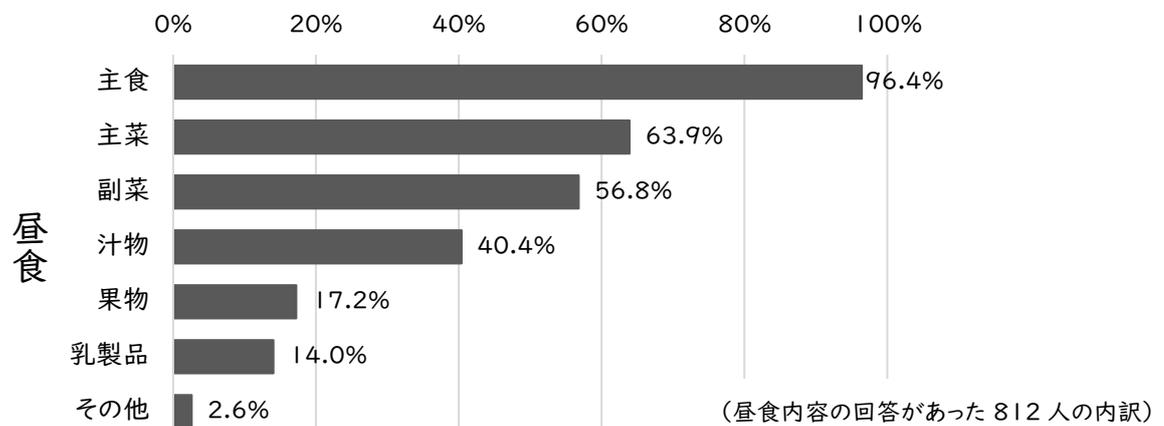


問7 あなたのふだんの食事内容をおたずねします(複数回答)

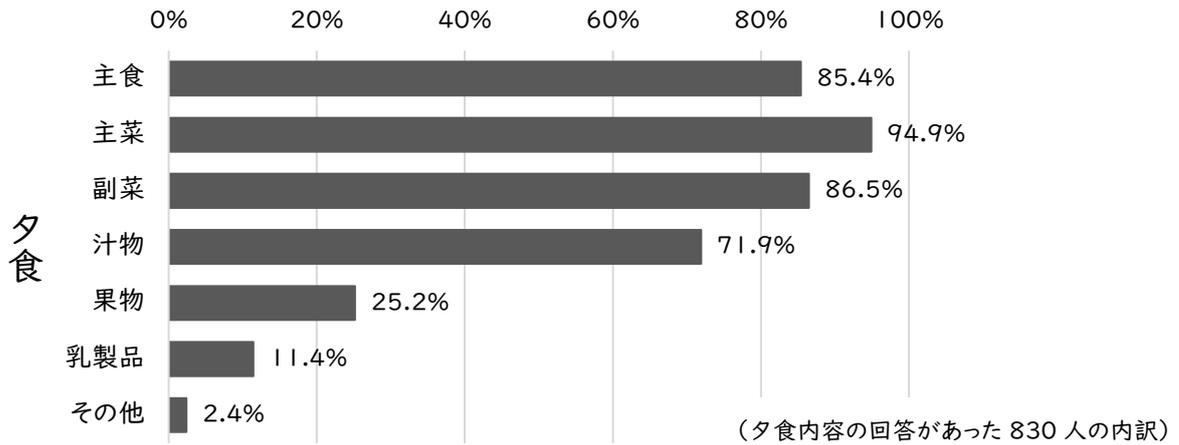
・朝食は「主食」が最も多く92.1%、次いで「乳製品」が57.0%です。



・昼食は「主食」が最も多く96.4%、次いで「主菜」が63.9%です。

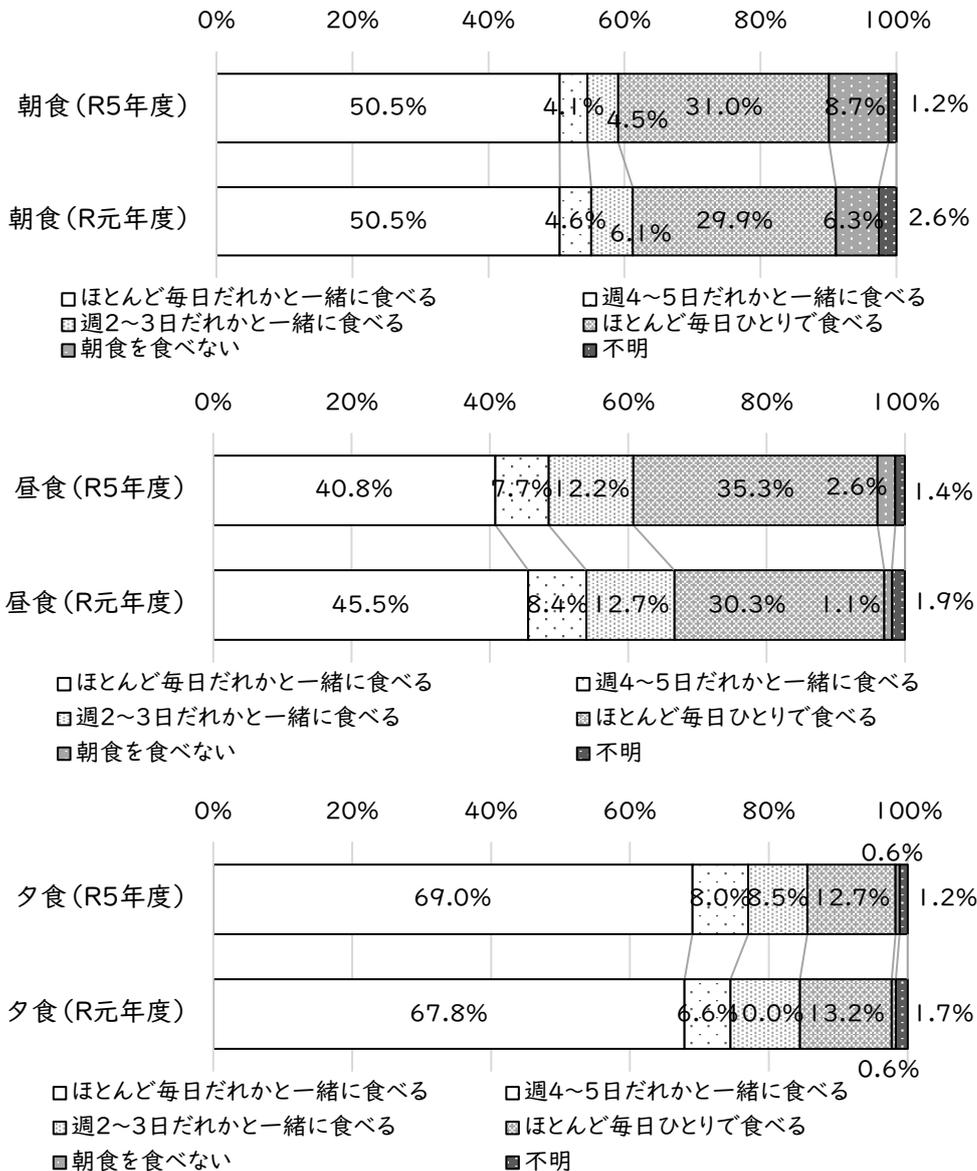


・夕食は、「主菜」が最も多く94.9%、次いで「副菜」が86.5%です。



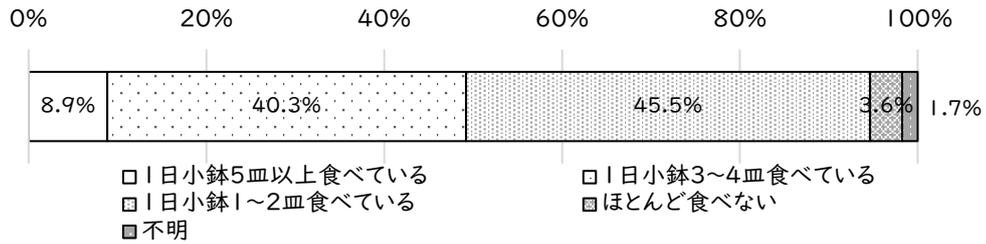
問8 あなたは、家族や友人等だれかと一緒に2人以上で食事することがどれくらいありますか

・「ほとんど毎日だれかと一緒に食べる」が最も多く、朝食、昼食に比べ、夕食が一番多いです。

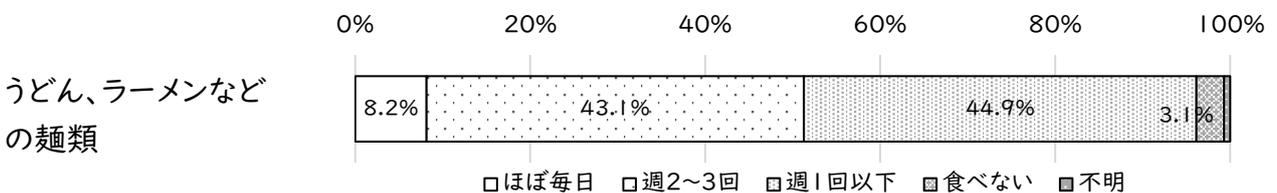
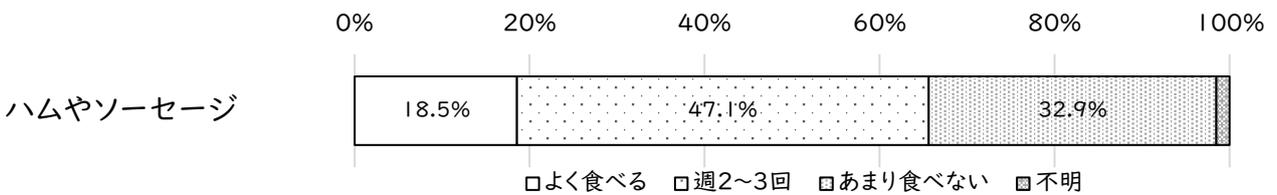
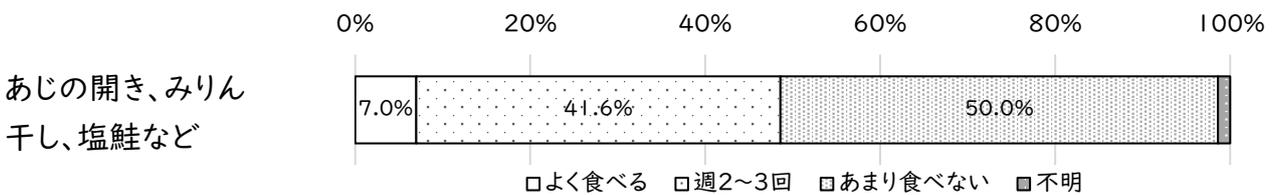
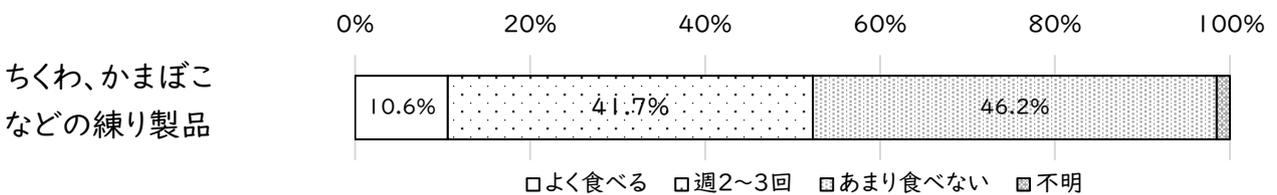
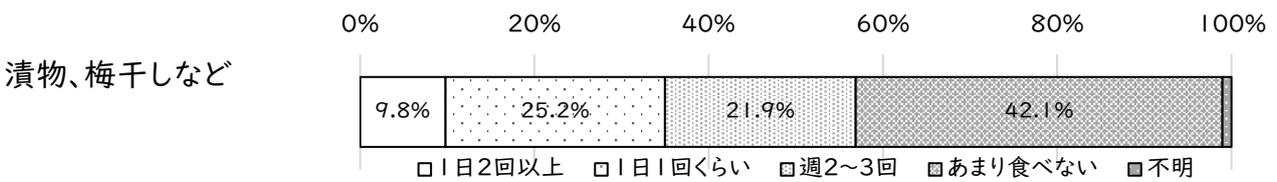
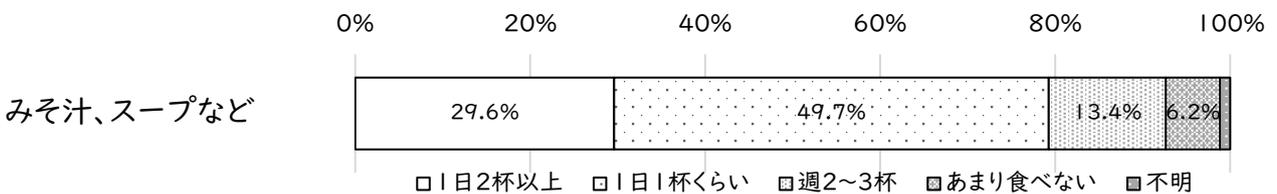


問9 あなたは、毎日野菜料理をどのくらい食べていますか

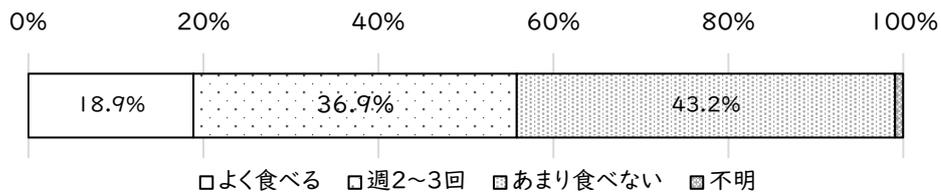
・「1日小鉢1~2皿食べている」が最も多く45.5%、次いで「1日小鉢3~4皿食べている」が40.3%です。



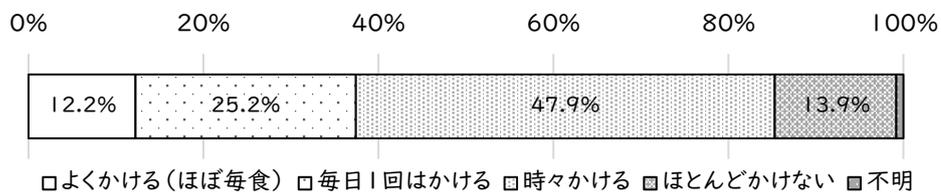
問10 あなたが食べたり、利用したりする食品等の頻度についておたずねします



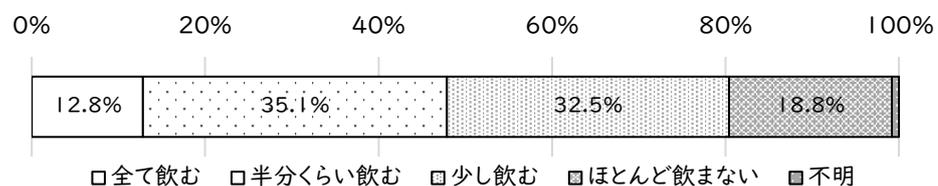
せんべい、おかき、
ポテトチップスなど



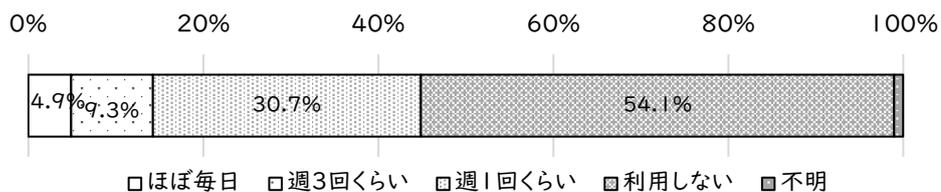
しょうゆやソース
などをかける頻度



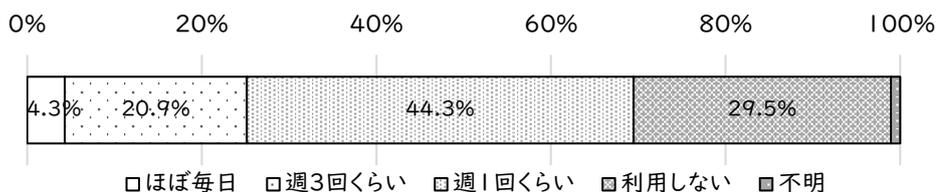
うどんやラーメン
などの汁



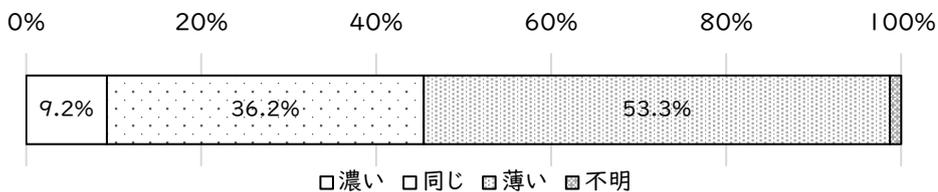
昼食で外食や
コンビニ弁当など



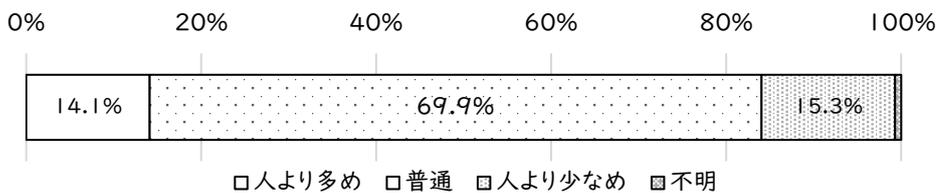
夕食で外食や
お総菜など



家庭の味付けは
外食と比べて



食事の量

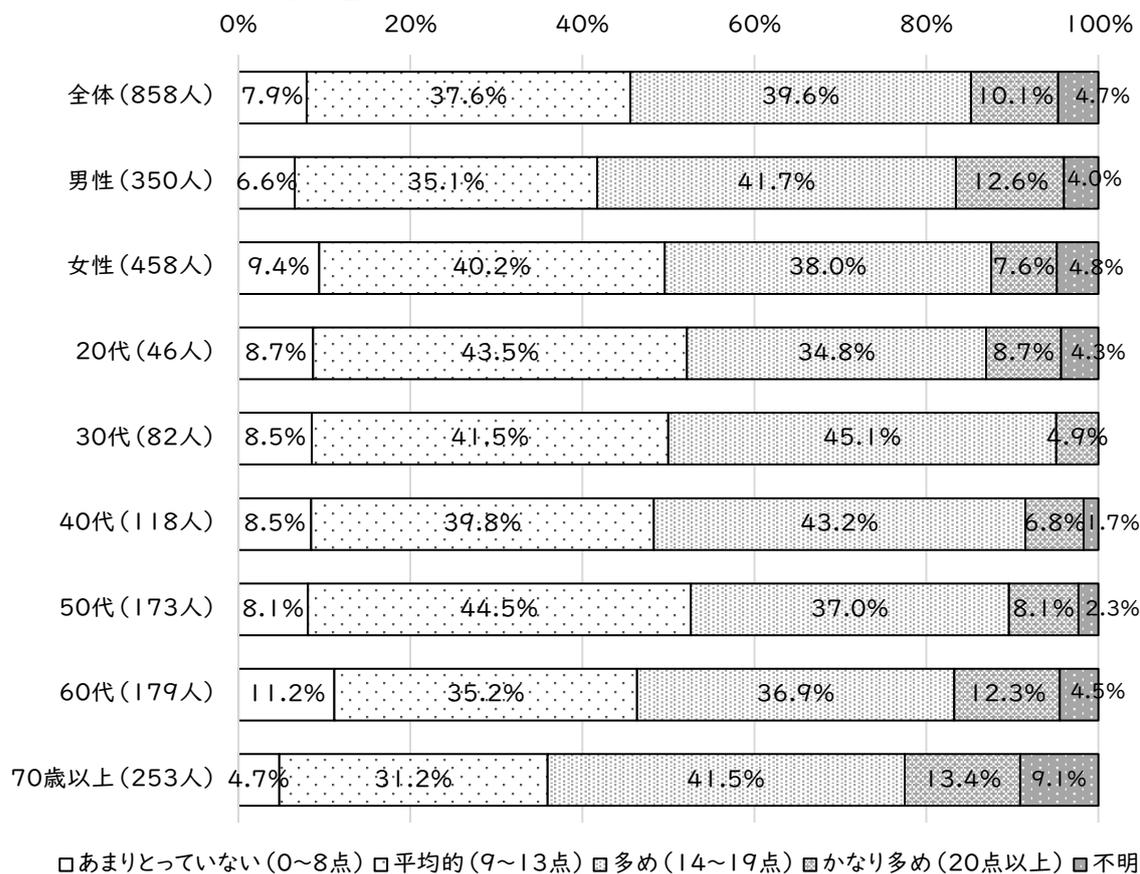


【塩分摂取量の評価】

問10の質問は、塩分摂取量を評価する13項目の質問を引用^{*}しており、それぞれの質問を点数化し、下記の区分で評価しています。

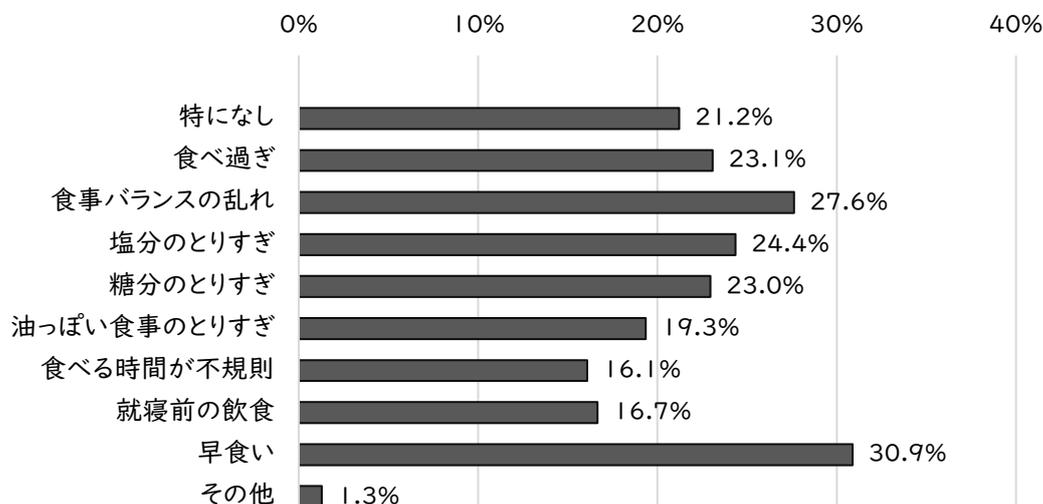
※土橋卓也、増田香織他：血圧20：1239-1243, 2013, Yasutake K, Tsuchihashi T, et al. Hypertens Res 39:879-885, 2016 を参考

- ・塩分摂取量が多い人（「多め」「かなり多め」と回答した人）は49.7%です。
- ・女性より男性が塩分摂取量が多く、年代別では、70歳以上が多いです。



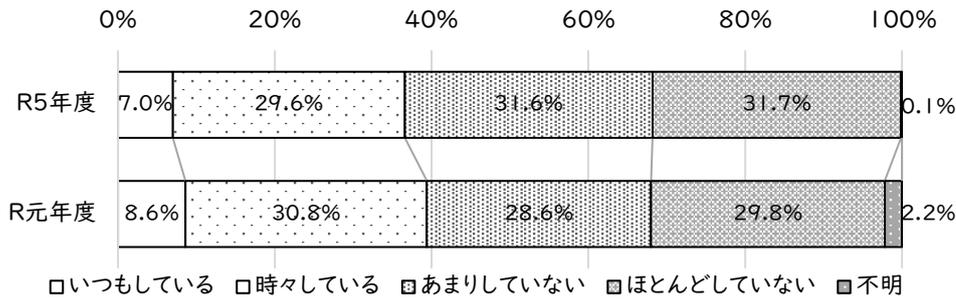
問11 あなたの現在の食生活について、どのような問題があると思いますか(複数回答)

- ・「早食い」が最も多く30.9%、次いで「食事バランスの乱れ」が27.6%です。



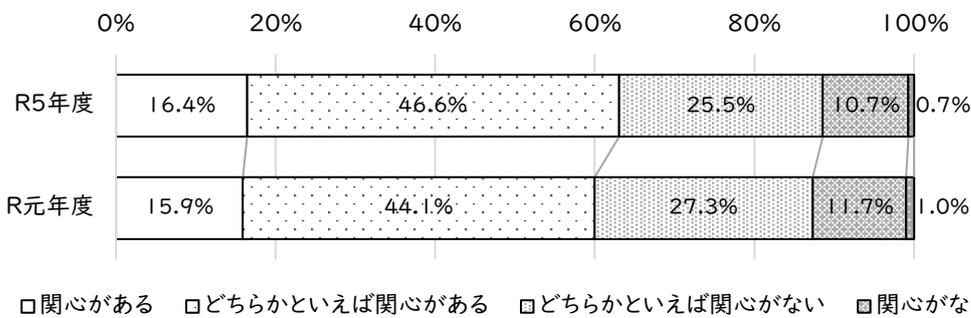
問12 あなたは、ふだん食品を購入する時や外食をする時に栄養成分の表示を参考にして
いますか

・「いつもしている」「時々している」を合わせると36.6%です。



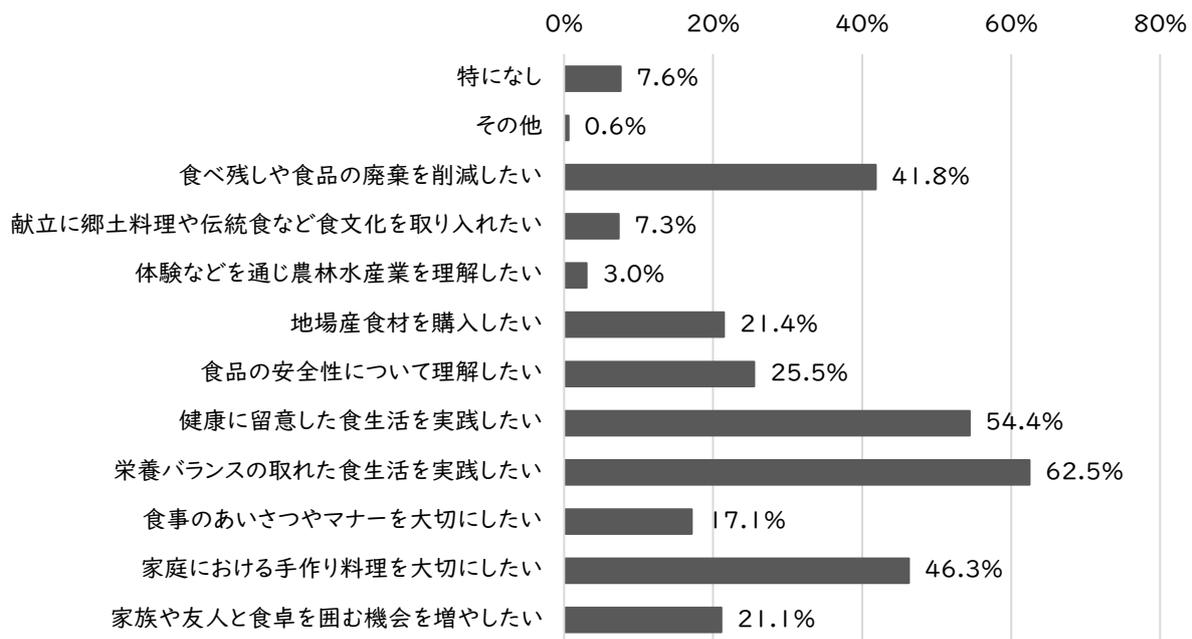
問13 あなたは、食育に関心がありますか

・「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせると63.0%です。



問14 今後1年間、あなたはどのようなことを食育として実践したいと思いますか（複数回答）

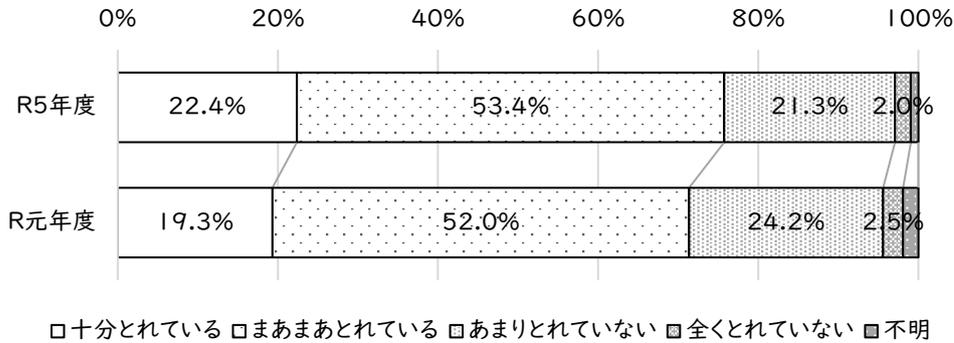
・「栄養バランスの取れた食生活を実践したい」が最も多く62.5%、次いで「健康に留意した食生活を実践したい」が54.4%です。



休養・こころの健康について

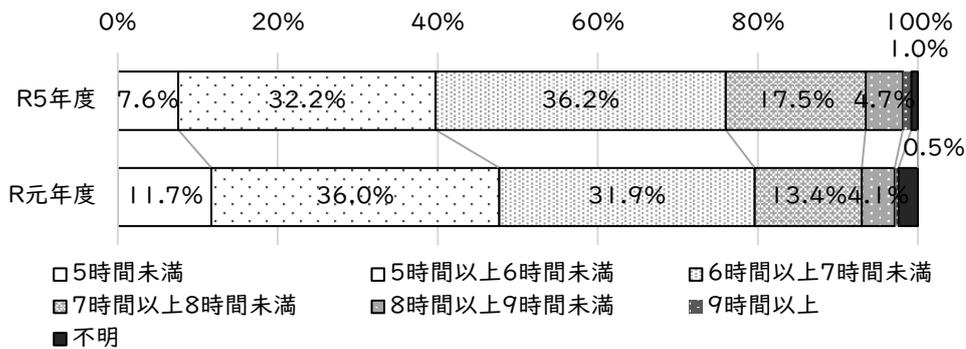
問15 あなたは、ここ1ヶ月間、睡眠で休養が十分とれていますか

- ・「十分とれている」「まあまあとれている」を合わせると、75.8%です。
- ・睡眠による休養が十分に取れていない人（「あまりとれていない」「全くとれていない」）は23.3%です。



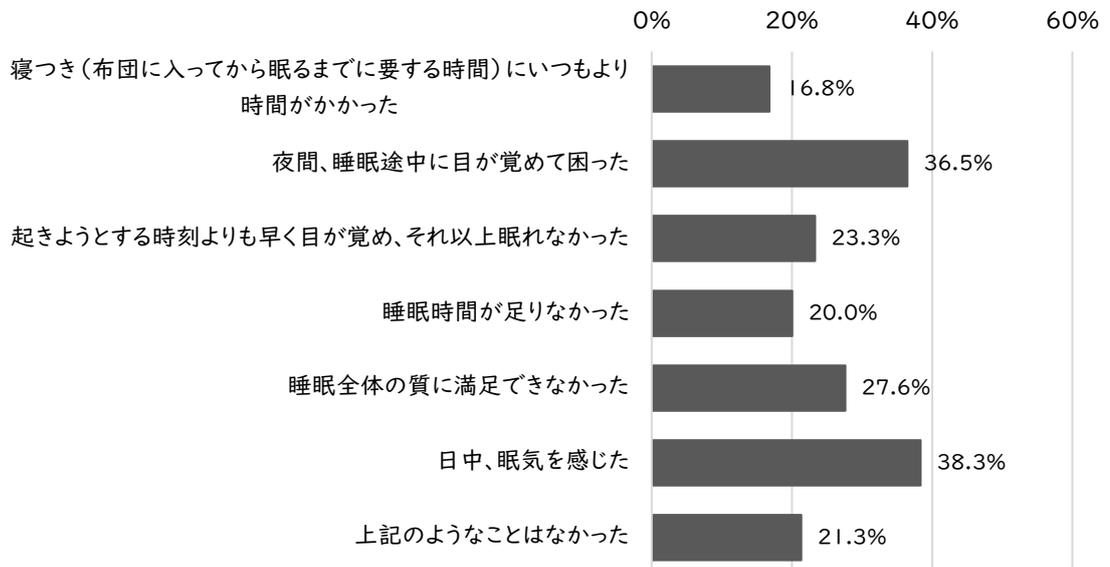
問16 ここ1ヶ月間、あなたの1日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか

- ・「6時間以上7時間未満」が最も多く36.2%、次いで「5時間以上6時間未満」が32.2%です。



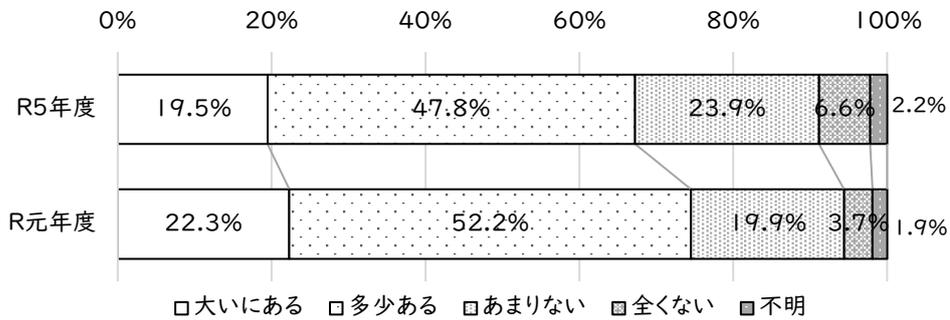
問17 あなたは、ここ1ヶ月間で、次のようなことが週3回以上ありましたか（複数回答）

- ・「日中、眠気を感じた」が最も多く38.3%、次いで「夜間、睡眠途中で目が覚めて困った」が36.5%です。



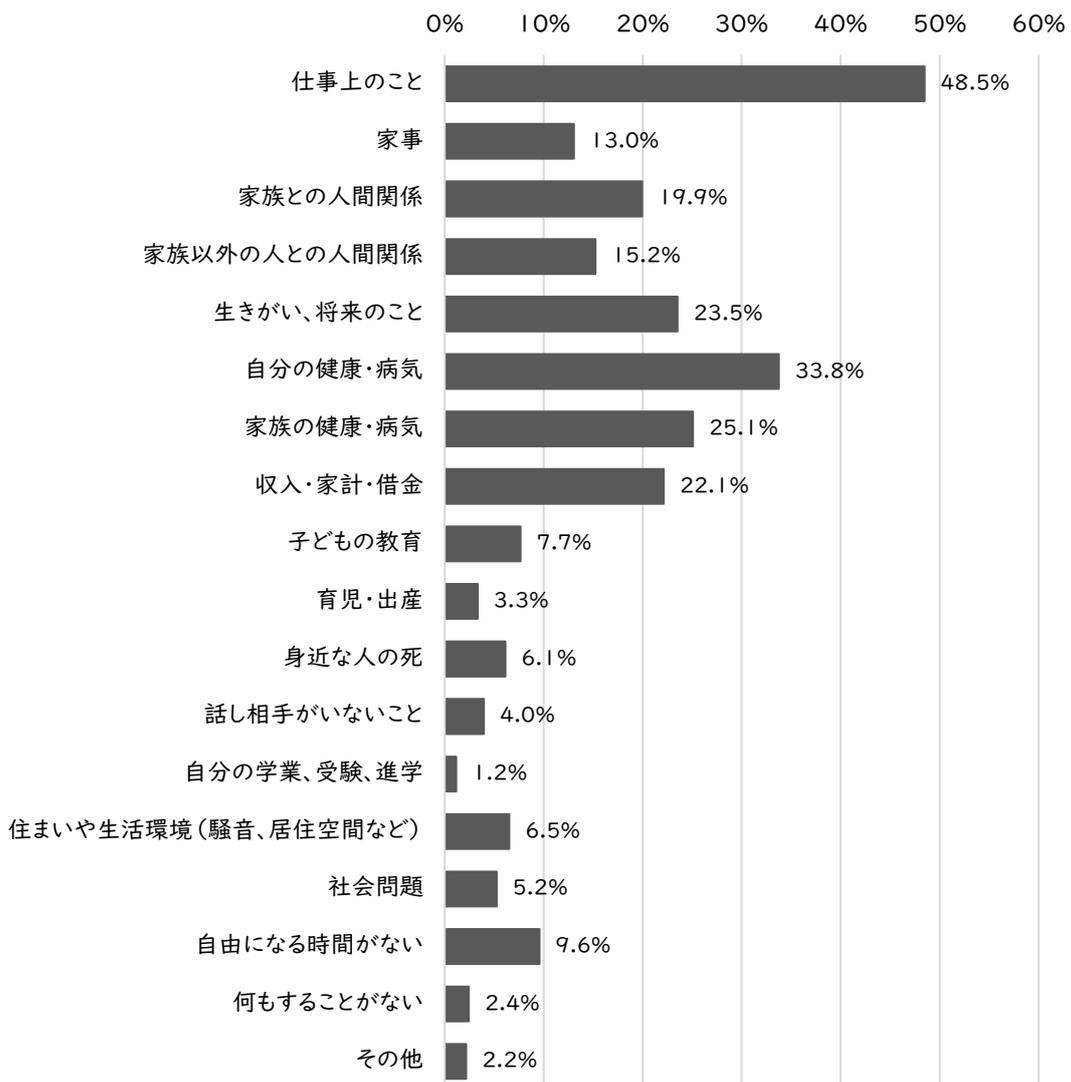
問18 あなたは、ここ1ヶ月でストレス(不満・悩み・苦労)を感じたことがありますか

・「多少ある」が最も多く47.8%、次いで「あまりない」が23.9%です。



問18-1 問18で「大いにある」「多少ある」「あまりない」と回答した方(782人) それはどのような内容ですか(複数回答)

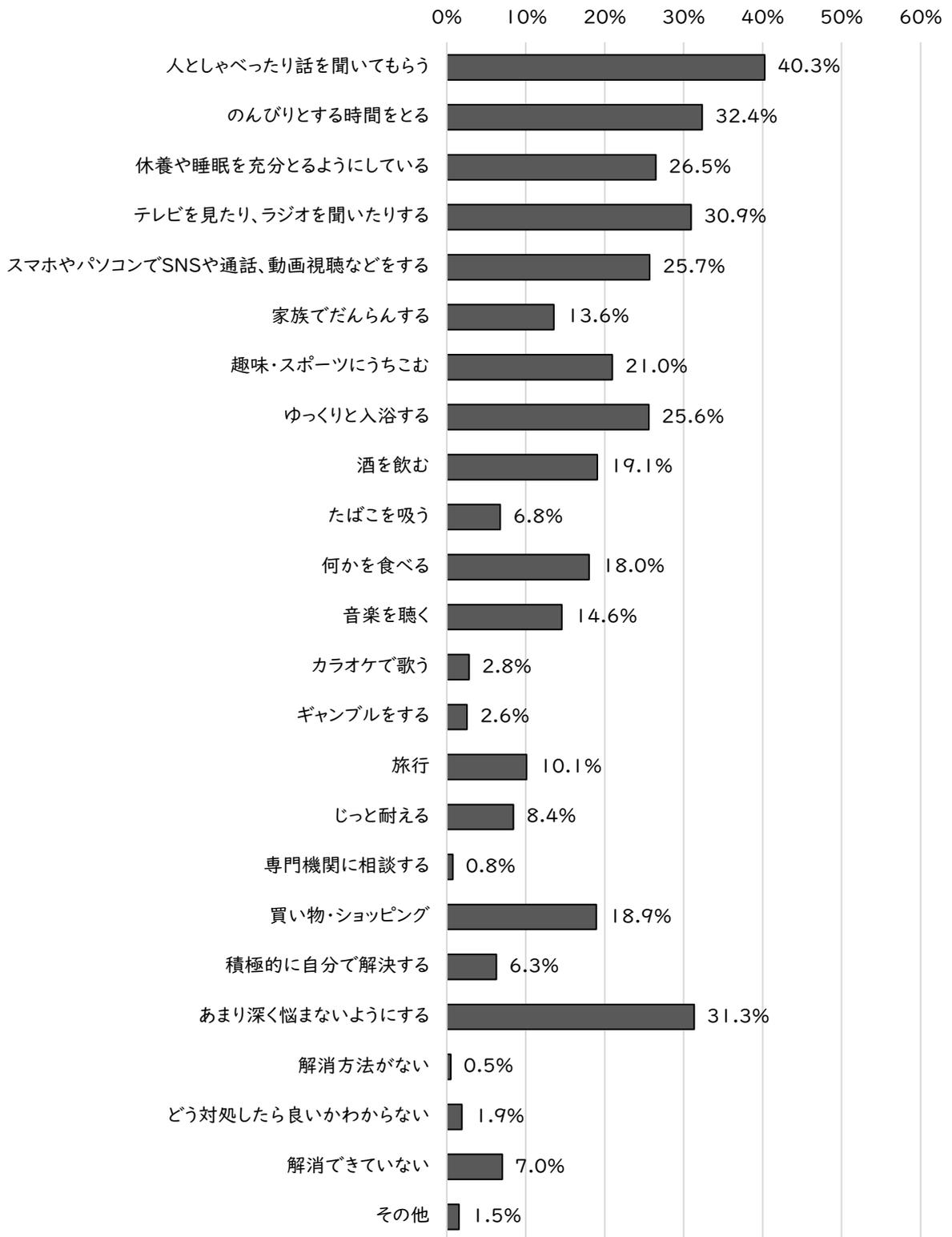
・「仕事上的こと」が最も多く48.5%、次いで「自分の健康・病気」が33.8%です。



問18-2

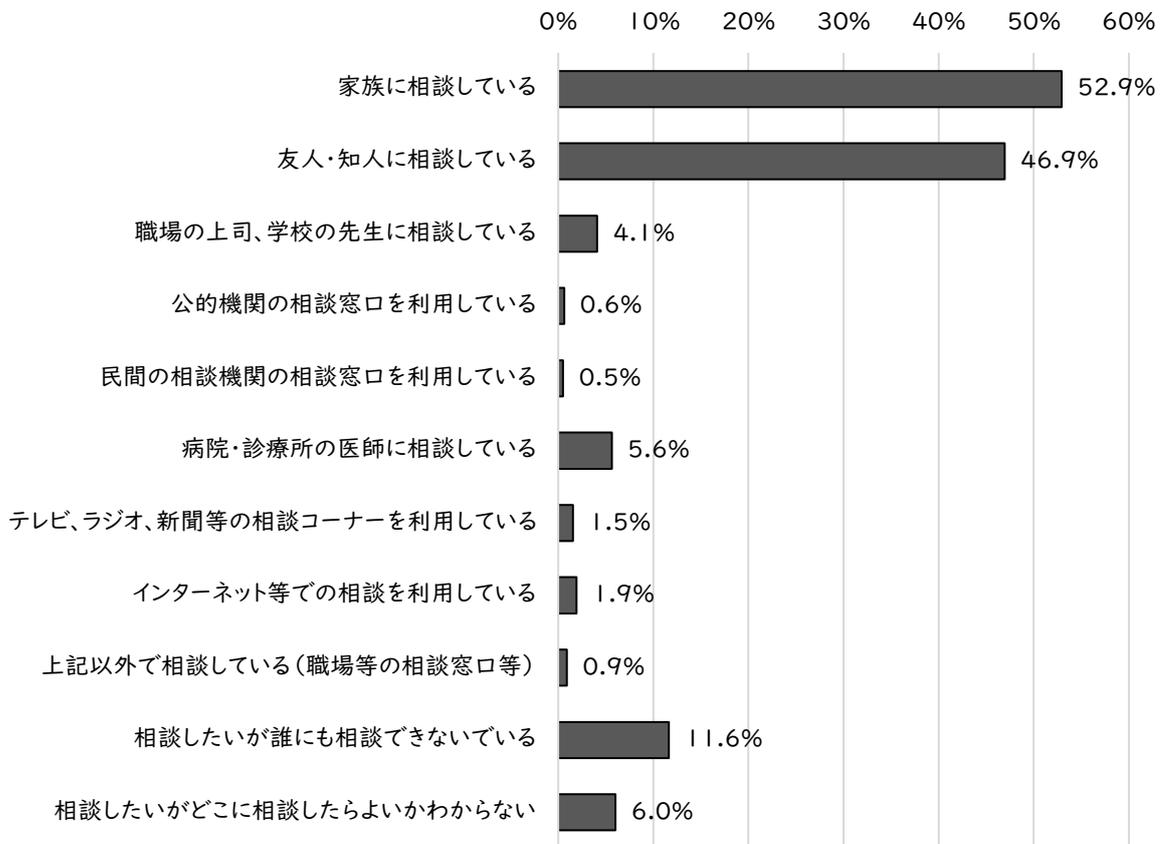
問18で「大いにある」「多少ある」「あまりない」と回答した方(782人)
 あなたはストレスや悩み、イライラをどのようにして解消していますか(複数回答)

・「人としゃべったり話を聞いてもらう」が最も多く40.3%、次いで「のんびりとする時間をとる」が32.4%です。

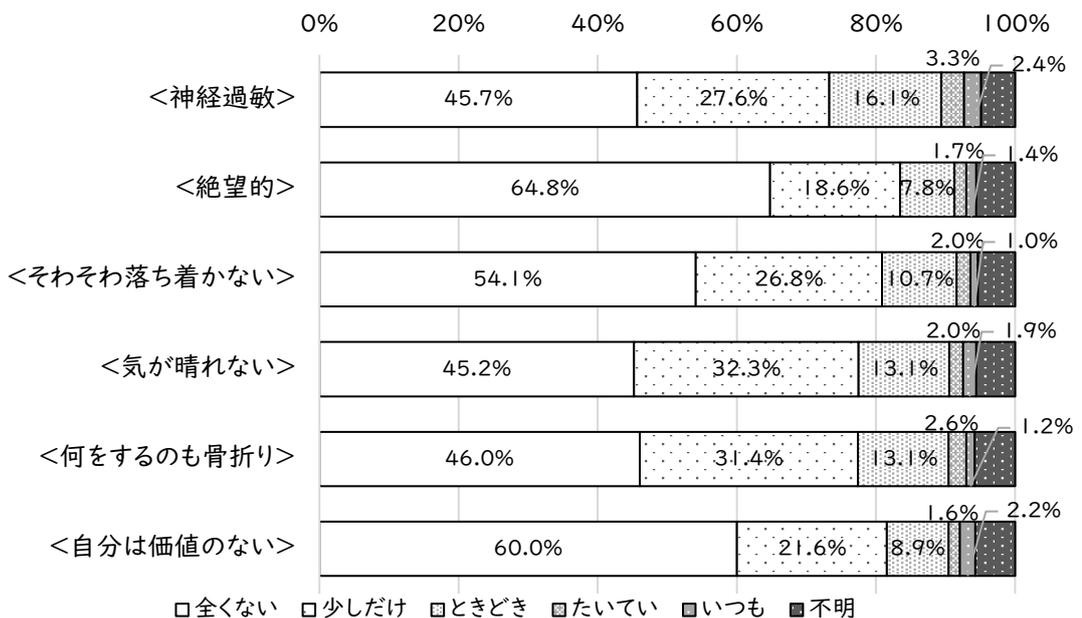


問18-3 問18で「大いにある」「多少ある」「あまりない」と回答した方(782人)
あなたは、ストレスや悩みをどのように相談していますか(複数回答)

・「家族に相談している」が最も多く52.9%、次いで「知人・友人に相談している」が46.9%です。



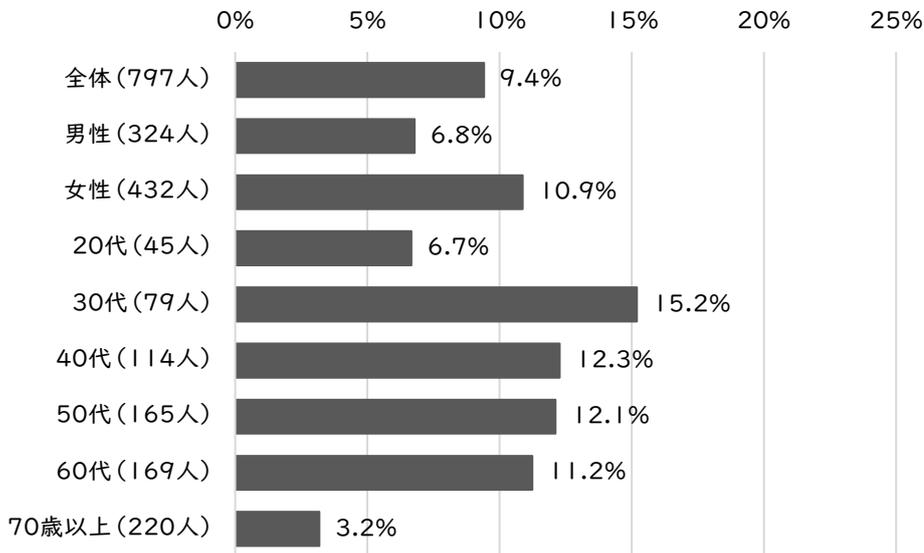
問19 次の項目について、過去1ヶ月間はどのように感じましたか



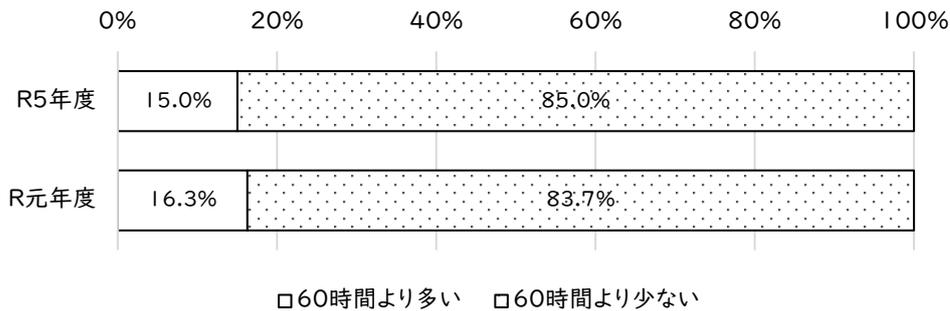
【気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている人の割合】

問19の質問はこころの状態に関する6項目の質問(K6)から引用しており、質問を点数化し、10点以上を「気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている人」としています。

- ・ 男性より女性が多く、年代別では、30代が15.2%と多いです。



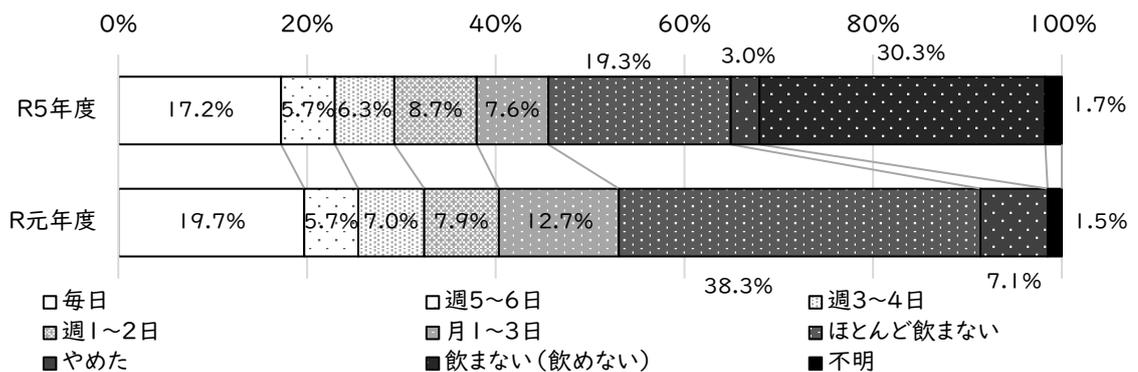
【1週間の労働時間(1週間の労働時間が40時間以上(439人)の回答)】



飲酒について

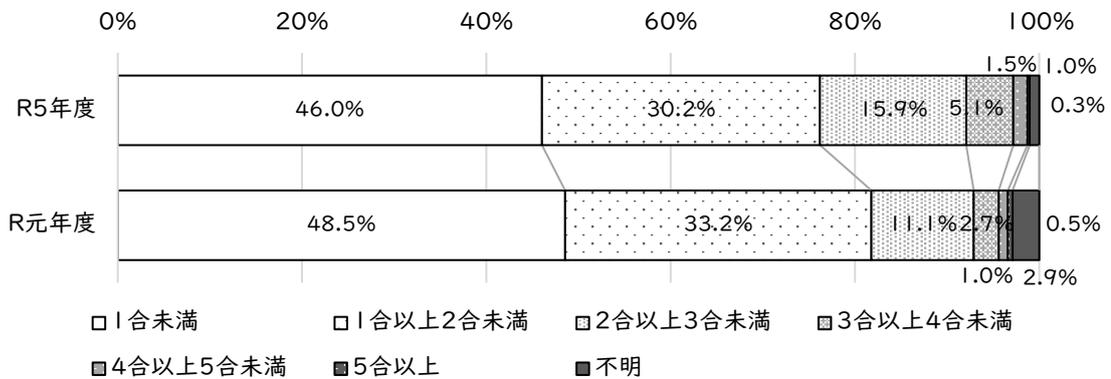
問20 あなたは、お酒(アルコール類)をどのくらいの頻度で飲みますか

- ・ 「飲まない(飲めない)」が最も多く30.3%、次いで「ほとんど飲まない」が19.3%です。



問20-1 問20で「毎日」「週5~6日」「週3~4日」「週1~2日」「月1~3日」と回答した方(391人)
1日あたりの飲酒量はどれくらいですか

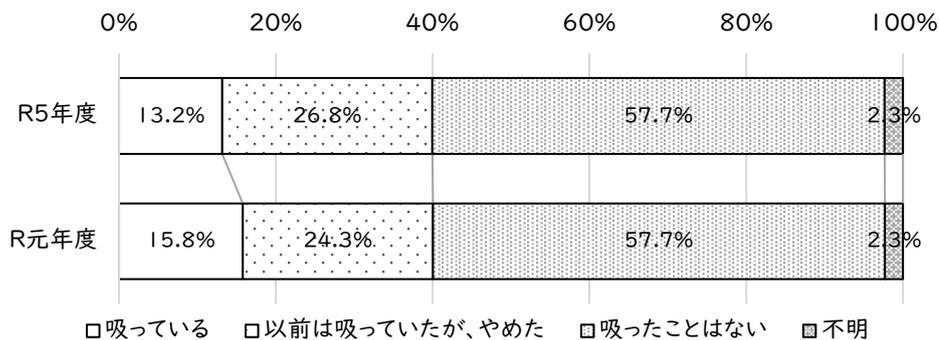
・「1合未満」が最も多く46.0%、次いで「1合以上2合未満」が30.2%です。



喫煙について

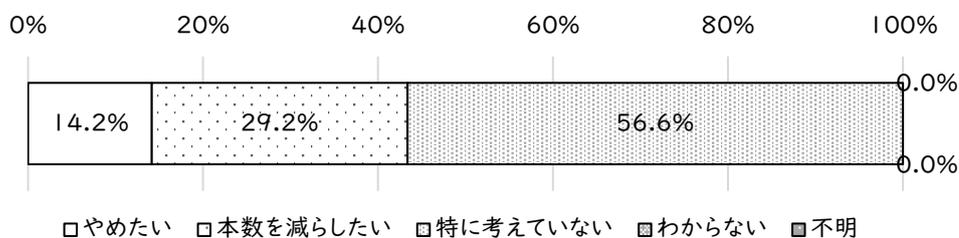
問21 あなたは、たばこ(電子たばこ含む)を吸っていますか

・「吸ったことはない」が最も多く57.7%、次いで「以前は吸っていたが、やめた」が26.8%です。



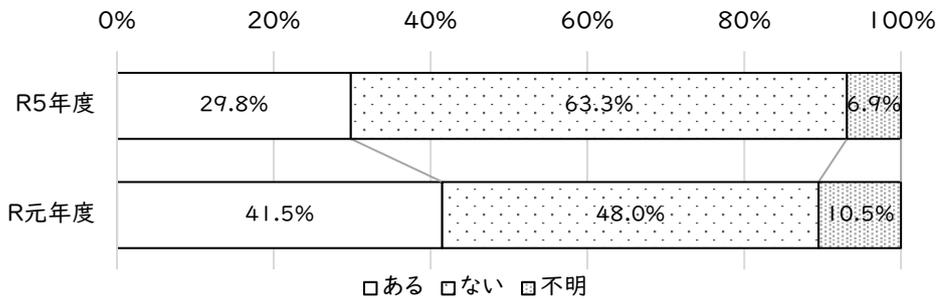
問21-1 問21で「吸っている」と回答した方(113人)
今後どのようにしたいと思っていますか

・「特に考えていない」が最も多く56.6%、次いで「本数を減らしたい」が29.2%です。



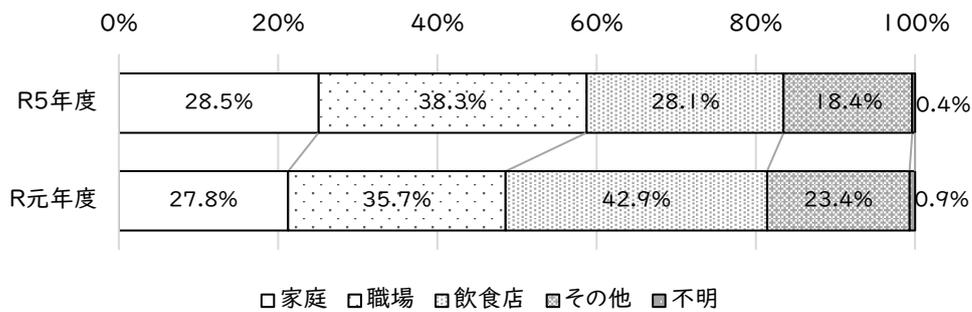
問22 あなたはここ1ヶ月間に、望まずに自分以外の人が吸っていたたばこの煙を吸う機会（受動喫煙）がありましたか

・「ある」が29.8%、「ない」が63.3%です。R元年度より「ある」と答えた方は減少しています。



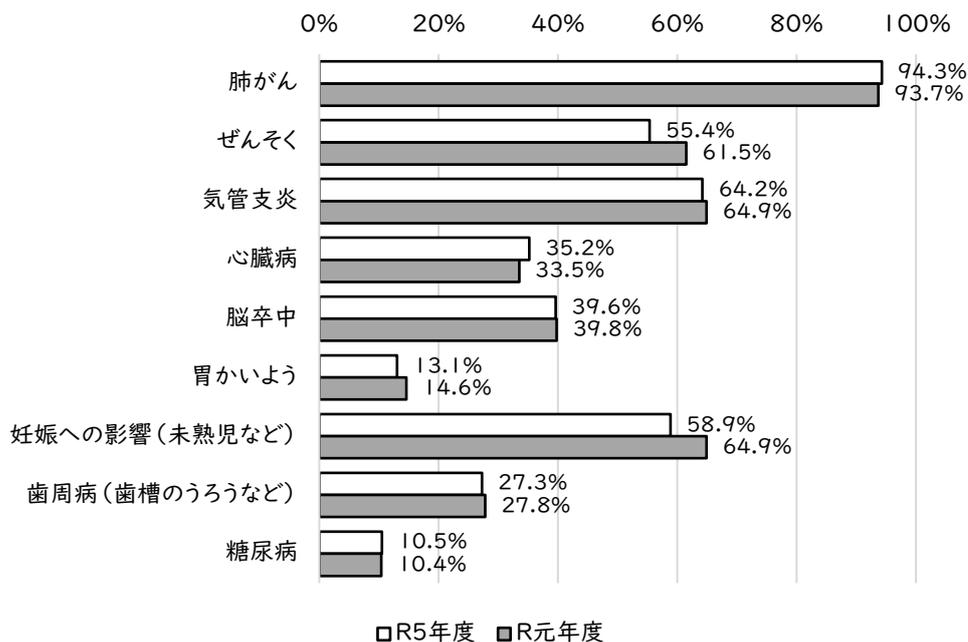
問22-1 問22で「ある」と答えた方(256人) ところで受動喫煙の機会がありましたか(複数回答)

・「職場」が最も多く38.3%、次いで「家庭」が28.5%です。



問23 たばこを吸うとかかりやすくなる病気について、知っているもの(複数回答)

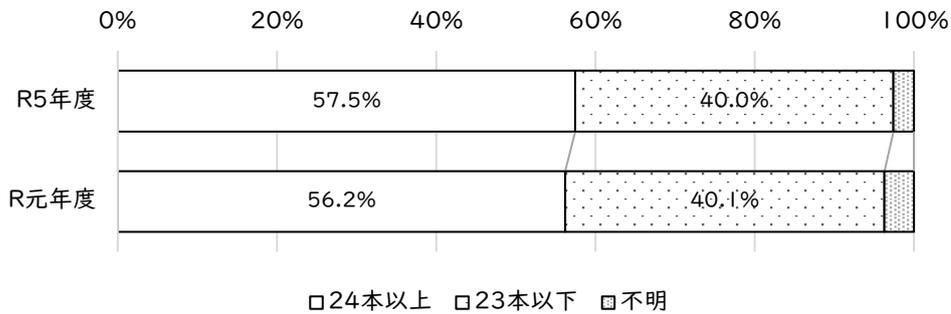
・「肺がん」最も多く94.3%、次いで「気管支炎」が64.2%です。



歯の健康について

問24 現在、自分の歯は何本ありますか

・「24本以上」が57.5%、「23本以下」が40.0%です。



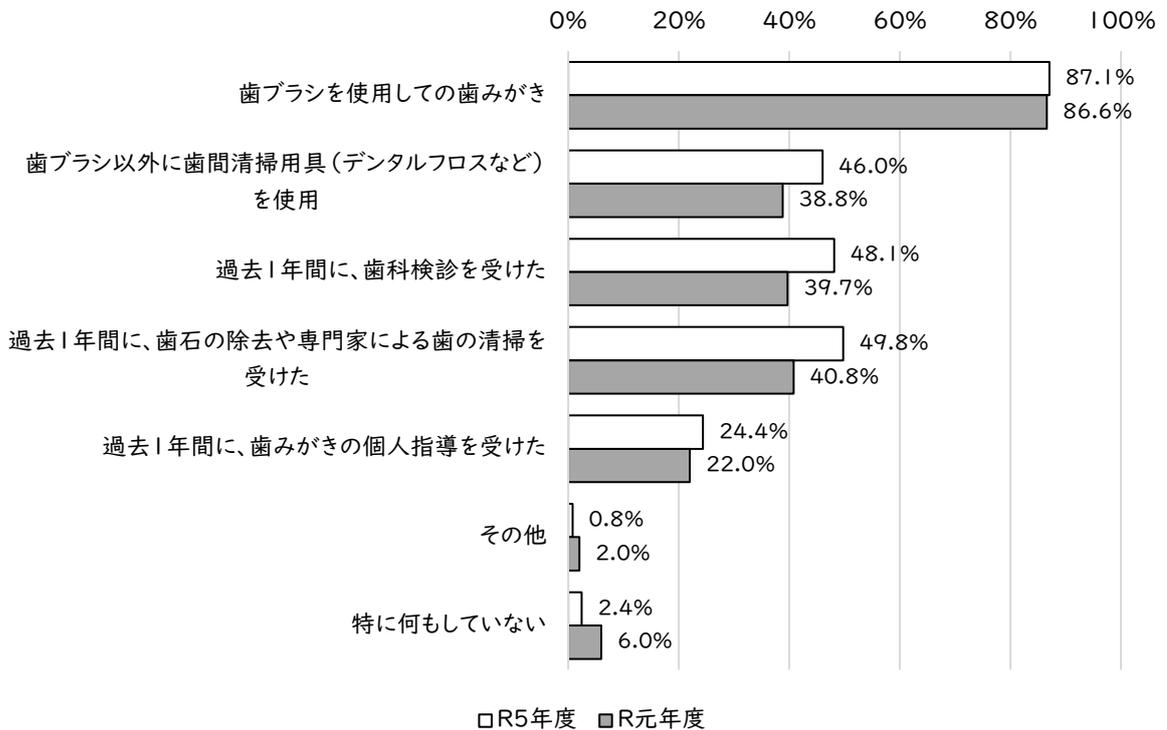
*親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。差し歯は含みます。

ブリッジ:両隣の歯を削り、型を取ったあとに一塊の繋がった歯を入れる治療のこと

インプラント:歯が抜けたところの顎の骨に人工の歯の根本を埋めて、それを土台に歯を作る治療のこと

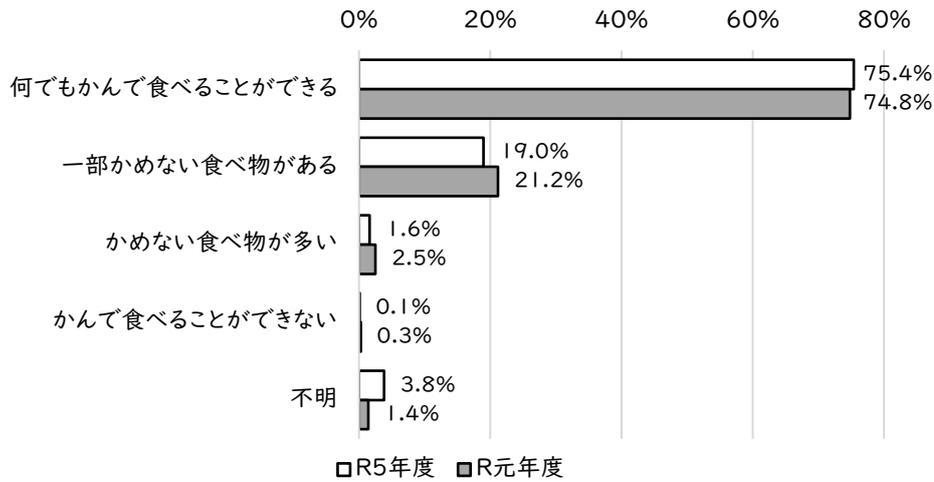
問25 あなたが歯の健康のために実施していることは何ですか(複数回答)

・「歯ブラシを使用しての歯みがき」が最も多く 87.1%、次いで「過去1年間に、歯石の除去や専門家による歯の清掃を受けた」が49.8%です。



問26 かんで食べる時の状態について、あてはまるものを1つ選んでください

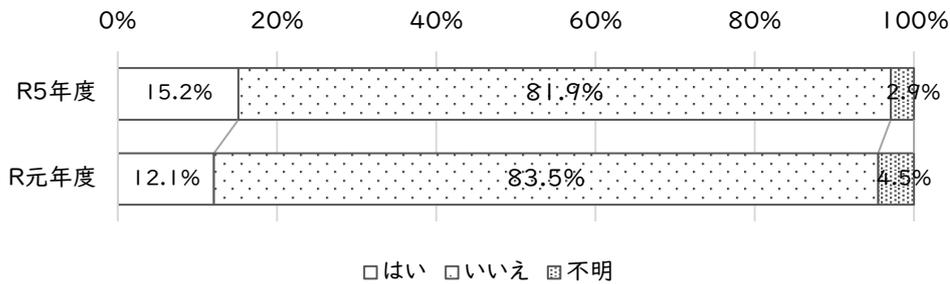
・「何でもかんで食べることができる」が最も多く75.4%、次いで「一部かめない食べ物がある」が19.0%です。



糖尿病について

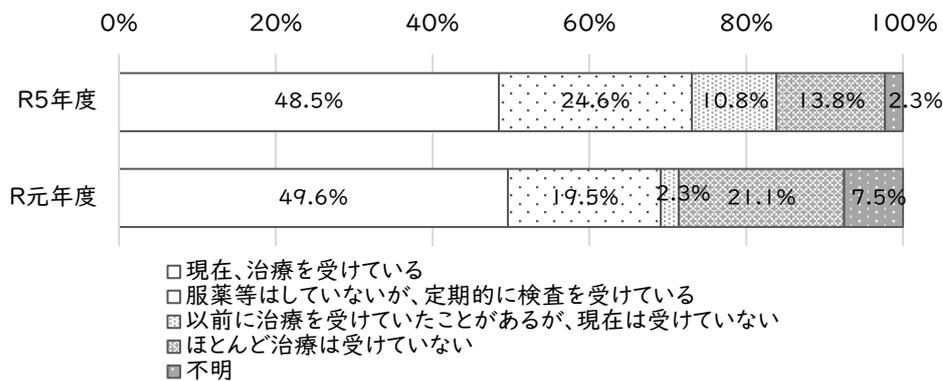
問27 あなたは、これまでに医療機関や健診等で糖尿病と言われたことがありますか

・「はい」が15.2%、「いいえ」が81.9%です。



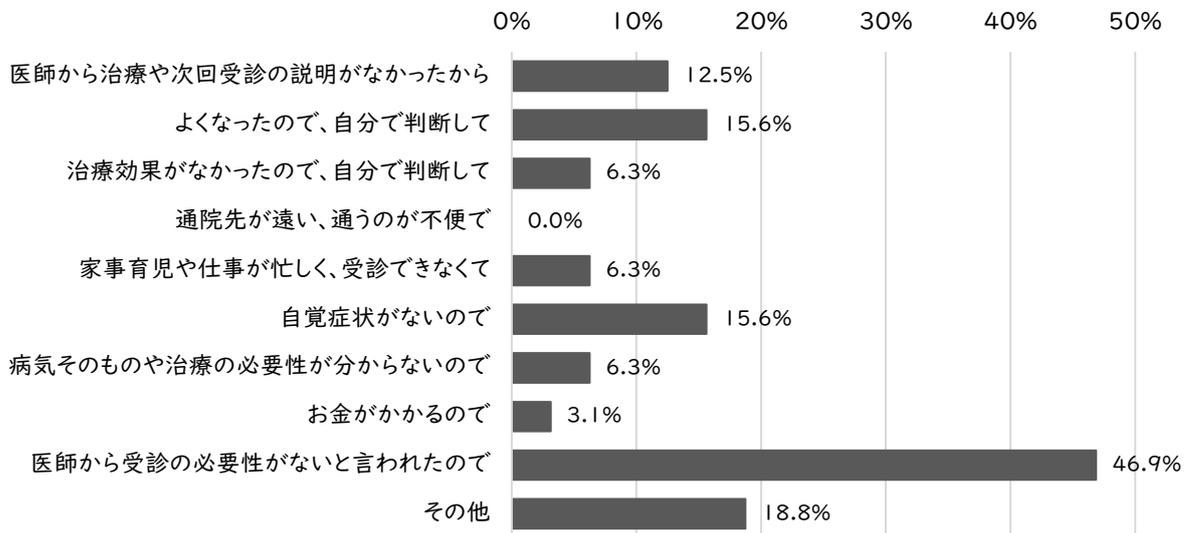
問27-1 問27で「はい」と回答した方(130人)
糖尿病の治療を受けたことがありますか

・「現在、治療を受けている」が最も多く48.5%、次いで「服薬等はしていないが、定期的に検査を受けている」が24.6%です。



問27-2	問27-1で「以前に治療を受けていたことがあるが、現在は受けていない」「ほとんど治療は受けていない」と回答した方(32人) 治療を受けていないのはなぜですか(複数回答)
-------	---

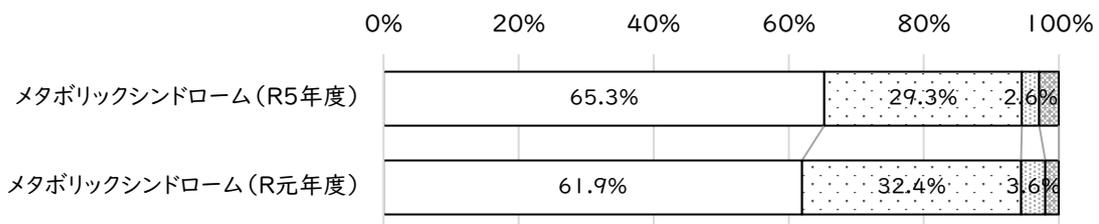
・「医師から受診の必要性がないと言われたので」が最も多く 46.9%、次いで「よくなったので、自分で判断して」と「自覚症状がないので」が 15.6%です。



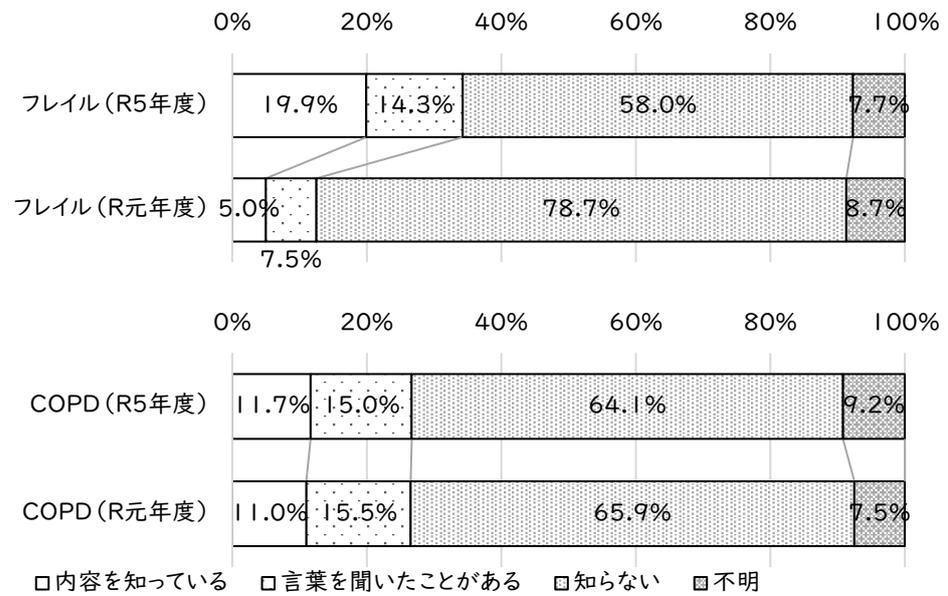
健康に関する言葉について

問28	あなたは、次の言葉を聞いたことはありますか (メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、フレイル、COPD)
-----	--

- ・「メタボリックシンドローム」について内容を知っている人の割合は 65.3%で、4つの言葉の中で最も認知されています。
- ・「フレイル」について内容を知っている人の割合は 19.9%で、R元年度より増加しています。



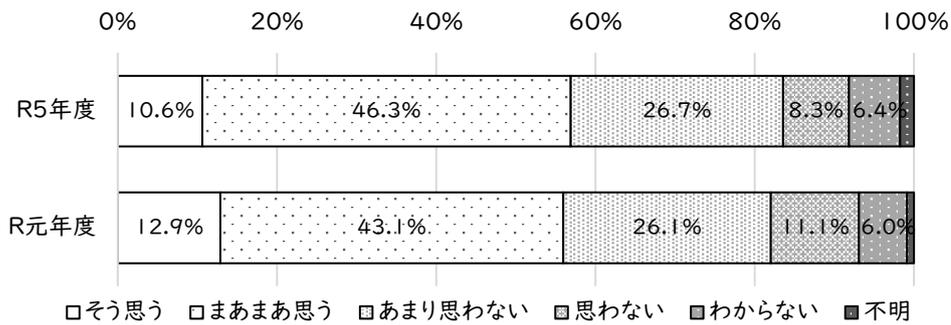
□内容を知っている □言葉を聞いたことがある □知らない □不明



地域のつながりについて

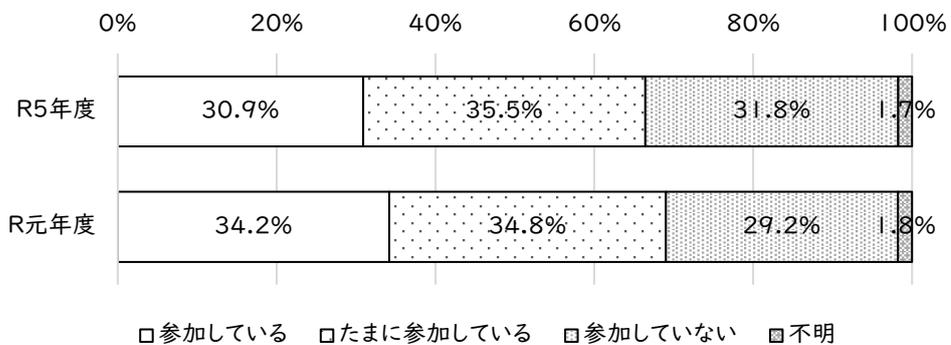
問29 あなたは、お住まいの地域で、地域の方とお互いに助け合っていると思いますか

・「そう思う」「まあまあ思う」を合わせると56.9%です。



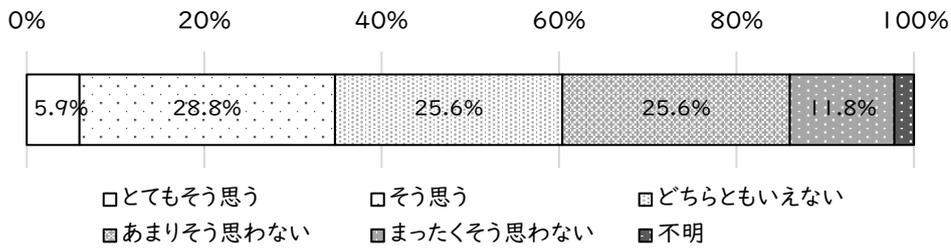
問30 あなたは、地域の活動(自治会・町内会・老人会・PTAなど)に参加していますか

・「参加している」「たまに参加している」を合わせると66.4%です。



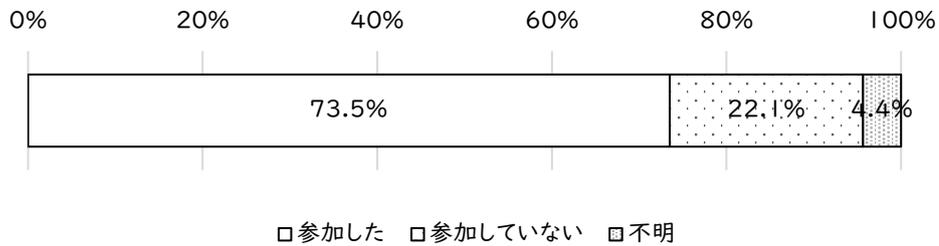
問31 あなたは、地域や所属コミュニティ(職場等を含む)での食事会等の機会があれば、参加したいと思いますか

・「とてもそう思う」「そう思う」を合わせると34.7%です。



問31-1 問31で「とてもそう思う」「そう思う」と回答した方(298人)
あなたは、過去1年間に、地域や所属コミュニティ(職場等を含む)での食事会等に参加しましたか

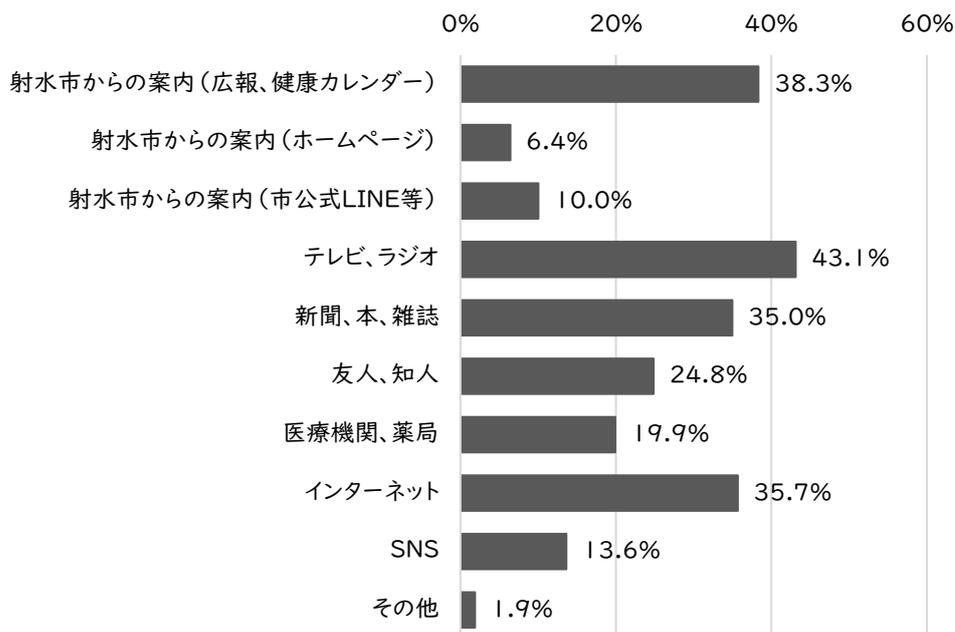
・「参加した」が73.5%、「参加していない」が22.1%です。



健康づくりの取組について

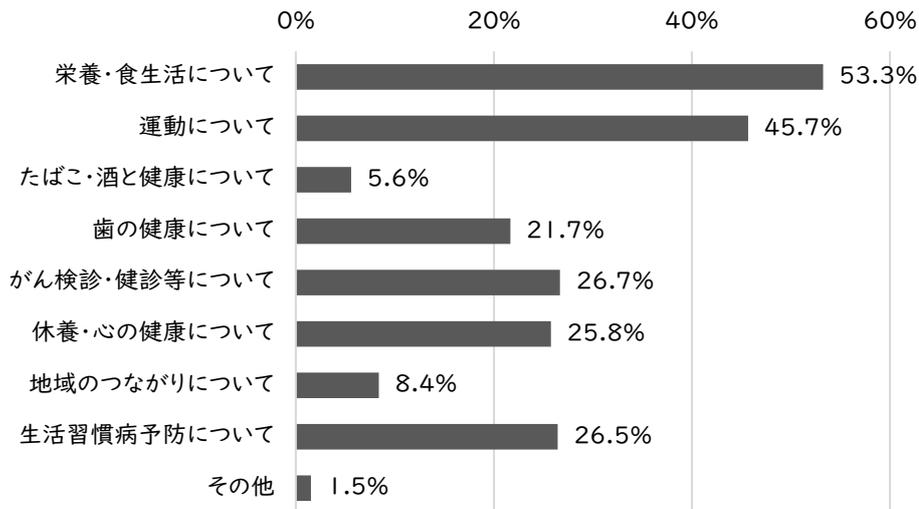
問32 あなたは、健康づくりに関する情報を、主にどこから得ていますか(複数回答)

・「テレビ、ラジオ」が最も多く43.1%、次いで「射水市からの案内(広報、健康カレンダー)」が38.3%です。



問33 健康づくりについて、あなたが知りたいことや取り組みたいことは何ですか(複数回答)

・「栄養・食生活について」が最も多く 53.3%、次いで「運動について」が 45.7%です。



問33-1 具体的にどのような健康づくりの取組があれば参加したいですか(抜粋)

- ニュースポーツ体験会、家族全員で参加できるようなスポーツイベント
- 市民が無料で使えるスポーツジムがあったらいい
- サウナフェス的なイベント、身近で楽しめる、身体を動かすことのできる機会、場所
- テレビや音楽を聞いてのリラックス体操
- 社会人スポーツクラブがもっと増えて自分のやりたいスポーツにフリーで参加したい
- ランニングスクール、運動(ヨガ・体操・ダンス等)の教室
- 体力測定、登山、ハイキング、本格的ではないサイクリング、親子サイクリング
- まちを巡りながらウォーキングのようなイベントなど
- 毎月1回市内を歩くウォーキング教室(3km程)があれば参加したい
- 腰やヒザの痛みを軽減できるストレッチ法
- 更年期を軽くするメンタル、身体の講座
- フレイル予防、運動、栄養、心の健康(ストレス、人間関係)
- 赤ちゃんや子供をあずかってくれる運動の場
- 子供と一緒に料理教室、子供と一緒にダンス教室
- 健康にも良い美味しいもの展
- 家で採れた野菜を使った簡単なレシピの教室、地域の材料を使用した昔からの健康食作りなど
- 地域振興券などが参加賞などで貰えるイベント(簡単食事教室、自宅で出来る運動指導、測定会)
- 日中は仕事や子育てで忙しく、どこかへ集合するのは難しいので、インターネットを使った取り組み
- 射水市版ヘルスケアアプリ的なもの(指導や情報共有など)
- 土日が休みではないので動画配信で簡単な(テレビ体操的な)ストレッチ運動をやってほしい
- 毎日続ける事によってポイント等がもらえる取組
- 笑って話す講義、軽運動・生活習慣病についてのお話

健康づくりに関するアンケート調査結果

(健康づくりボランティアアンケート)

第3次射水市健康増進プラン策定用 令和5年度実施

調査の概要

目的 市民のさらなる健康寿命延伸に向けて、現況に即した施策を検討するため、健康づくりボランティア向けに実施した。

調査対象 市内の健康づくりボランティアに所属する会員 678人

調査期間 令和5年11月～令和6年1月

アンケートの配布・回収状況

配布数	回収数	回収率
678	520	76.7%

(回収数内訳:ヘルスボランティア 262人、食生活改善推進員 198人、母子保健推進員 60人)

※令和元年度に同様の調査を行っており、比較できるものは「前回調査」として並べて表示しています。

回答者の状況

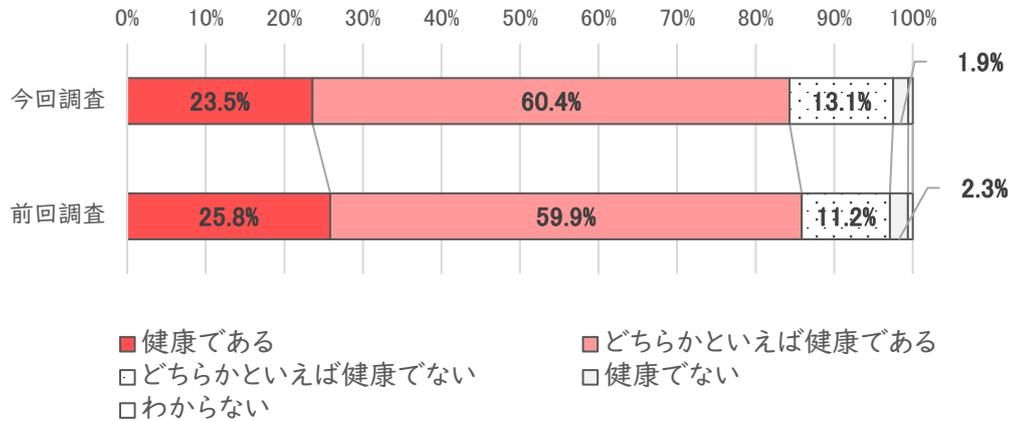
- ・年齢は70歳以上が最も多く70.0%、60歳代が21.3%であり、60歳以上の回答者が9割以上を占めています。
- ・性別は、男性が1.5%、女性が98.3%です。

年代	合計	男性	女性	不明
全体	520	8	511	1
	100%	1.5%	98.3%	0.2%
50歳未満	8	1	7	0
	1.5%	12.5%	87.5%	0.0%
50歳代	34	1	33	0
	6.5%	2.9%	97.1%	0.0%
60歳代	111	2	109	0
	21.3%	1.8%	98.2%	0.0%
70歳以上	364	4	360	0
	70.0%	1.1%	98.9%	0.0%
不明	3	0	2	1
	0.6%	0.0%	66.7%	33.3%

年代	合計	母子保健推進員	食生活改善推進員	ボランティア
全体	520	60	198	262
	100%	11.5%	38.1%	50.4%
50歳未満	8	4	2	2
	1.5%	50.0%	25.0%	25.0%
50歳代	34	16	12	6
	6.5%	47.1%	35.3%	17.6%
60歳代	111	18	35	58
	21.3%	16.2%	31.5%	52.3%
70歳以上	364	22	148	194
	70.0%	6.0%	40.7%	53.3%
不明	3	1	2	0
	0.6%	33.3%	66.7%	0.0%

問1 あなたは、自分の今の健康状態をどのように感じていますか

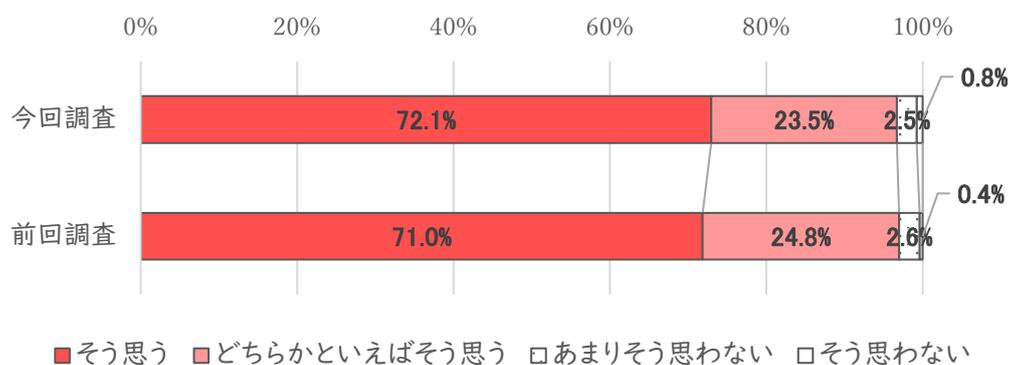
- ・どの年代も「どちらかといえば健康である」が最も多く、次いで「健康である」が多いです。
- ・「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせると、50歳未満(62.5%)、50歳代(91.2%)、60歳代(87.4%)、70歳以上(82.7%)と50歳以上では8割以上です。



年代	合計	健康である	健康である どちらか と	健康でない どちらか と	健康でない	わからない	不明
全体	520	122	314	68	10	3	3
		23.5%	60.4%	13.1%	1.9%	0.6%	0.6%
50歳未満	8	1	4	2	0	1	0
		12.5%	50.0%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%
50歳代	34	14	17	2	1	0	0
		41.2%	50.0%	5.9%	2.9%	0.0%	0.0%
60歳代	111	25	72	12	1	1	0
		22.5%	64.9%	10.8%	0.9%	0.9%	0.0%
70歳以上	364	82	219	52	8	1	2
		22.5%	60.2%	14.3%	2.2%	0.3%	0.5%
不明	3	0	2	0	0	0	1
		0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

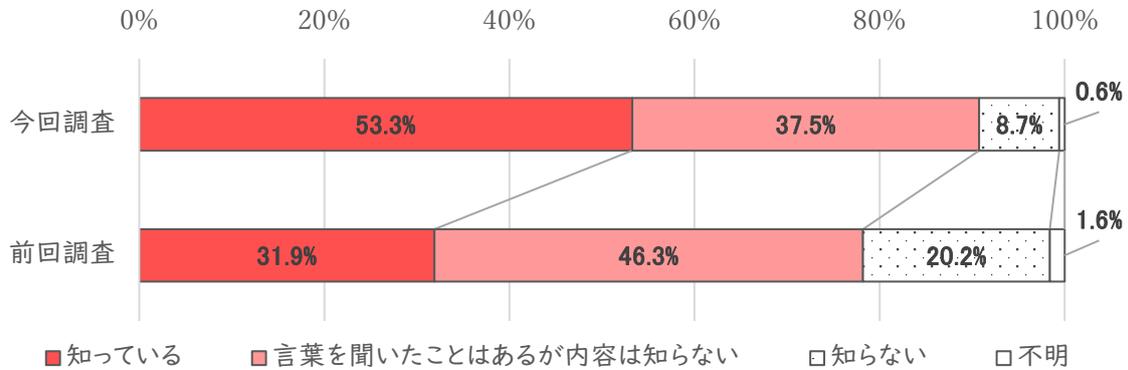
問2 健康増進・生活習慣病予防対策はあなた自身に関わる問題だと思いますか

- ・「そう思う」が最も多く72.1%、次いで「どちらかといえばそう思う」が23.5%であり、9割以上を占めています。



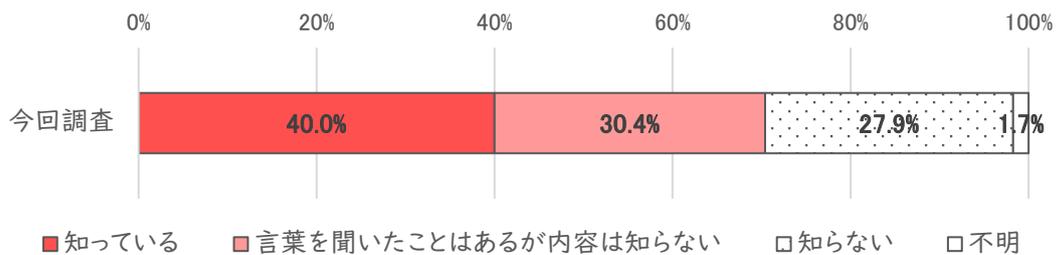
問3 あなたは、「射水市健康増進プラン」を知っていますか

・「知っている」が最も多く 53.3%となり、前回調査より増加しています。



問4 あなたは、「Let'sトライ!IMIZUSHI 健康8(エイト)」を知っていますか

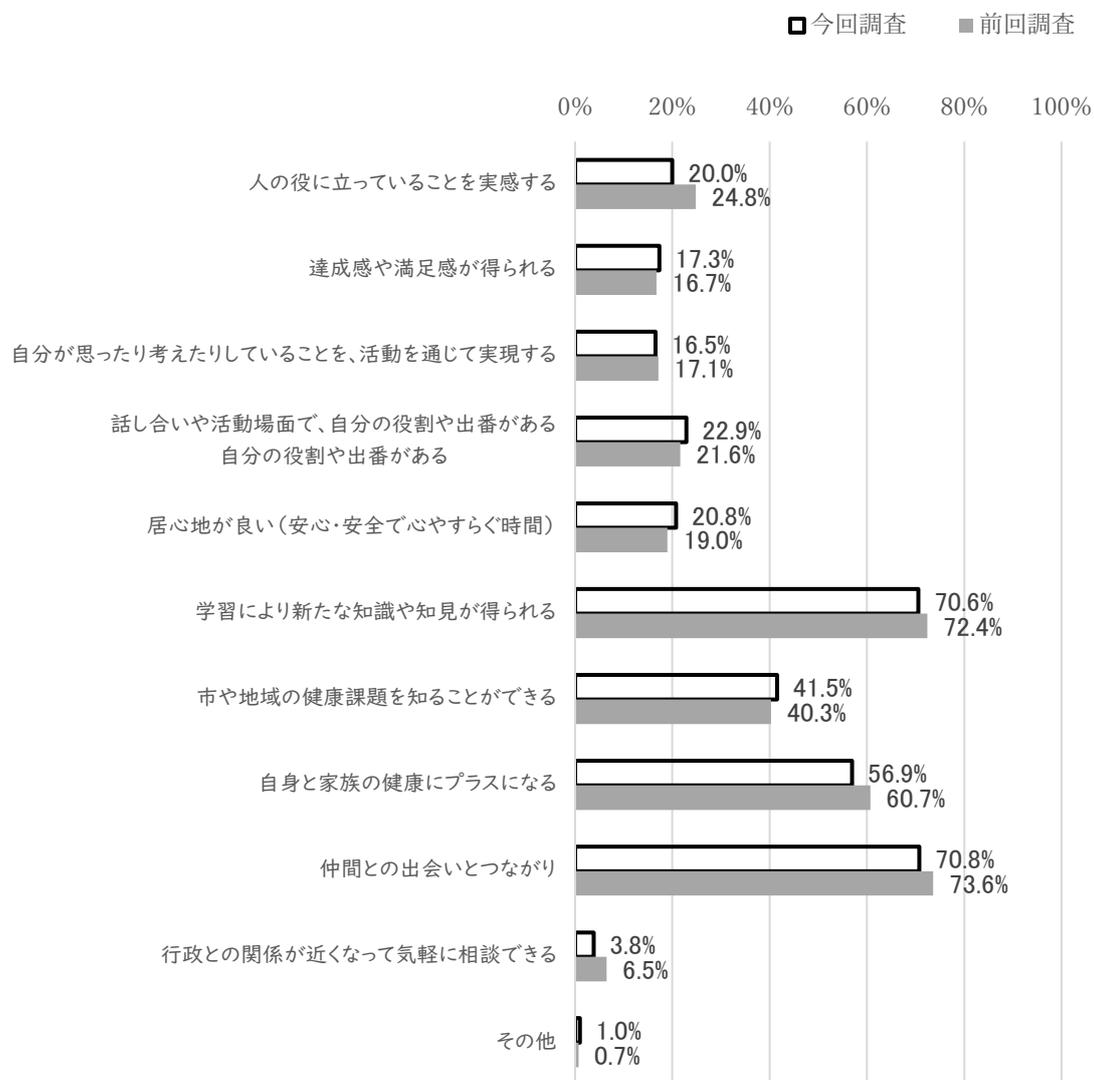
・「知っている」が最も多く 40.0%ですが、「言葉を聞いたことはあるが内容は知らない」30.4%、「知らない」27.9%となっており、一層の普及をしていく必要があります。



問5

あなたが健康づくり活動をする上で当てはまる内容をすべて選んで○をつけてください(複数回答)

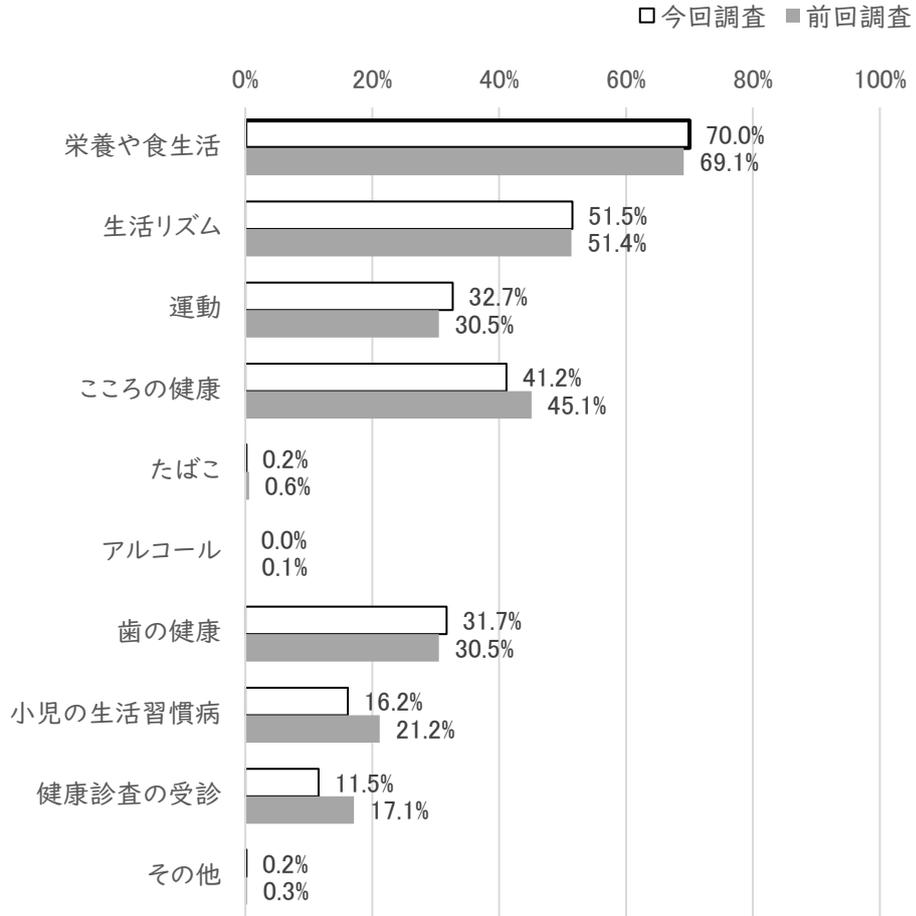
- ・ 前回調査と同様の傾向であり、「仲間との出会いとつながり」が最も多く 70.8%、次いで「学習により新たな知識や知見が得られる」が 70.6%です。



問6	あなたの地区（担当地区）の健康づくり対策として、必要なことは何だと思えますか（複数回答）
----	--

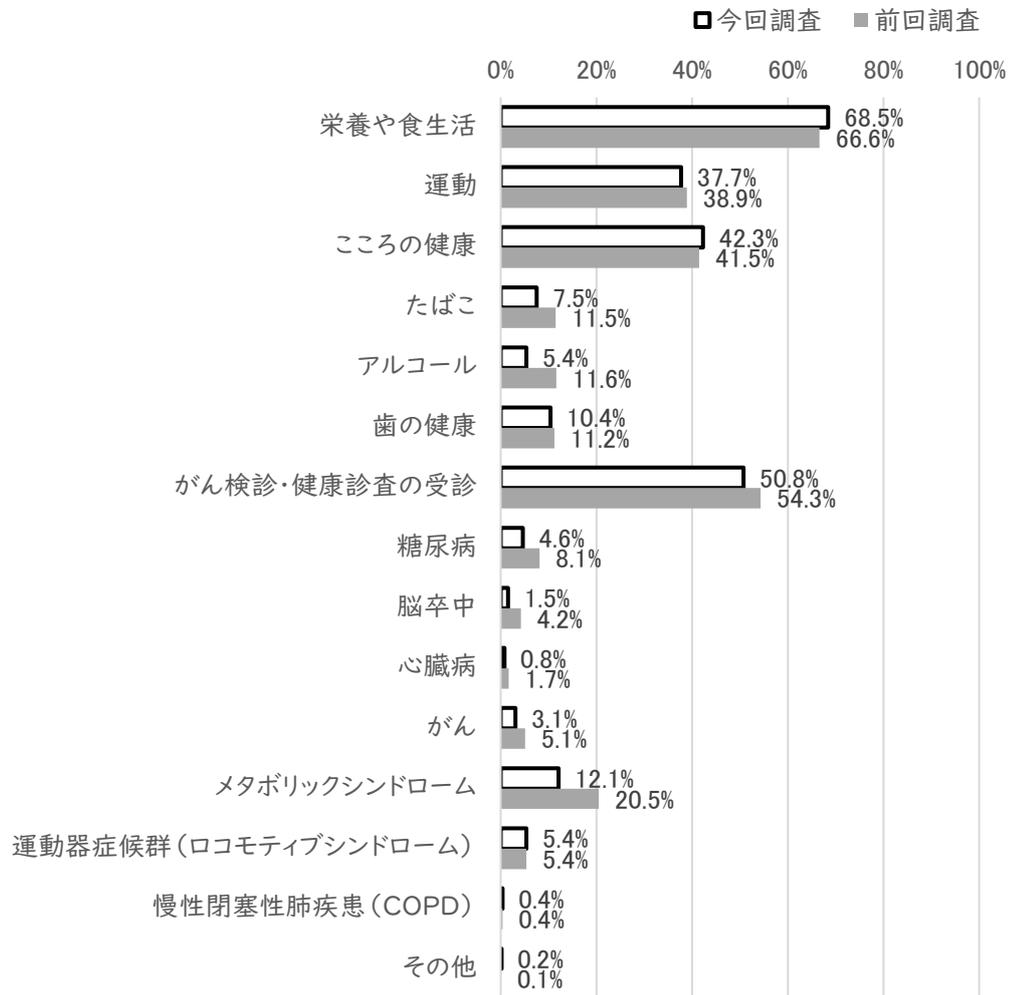
① 乳幼児・児童生徒

- ・ 前回調査と同様の傾向であり、「栄養や食生活」が最も多く 70.0%、次いで「生活リズム」が 51.5%です。



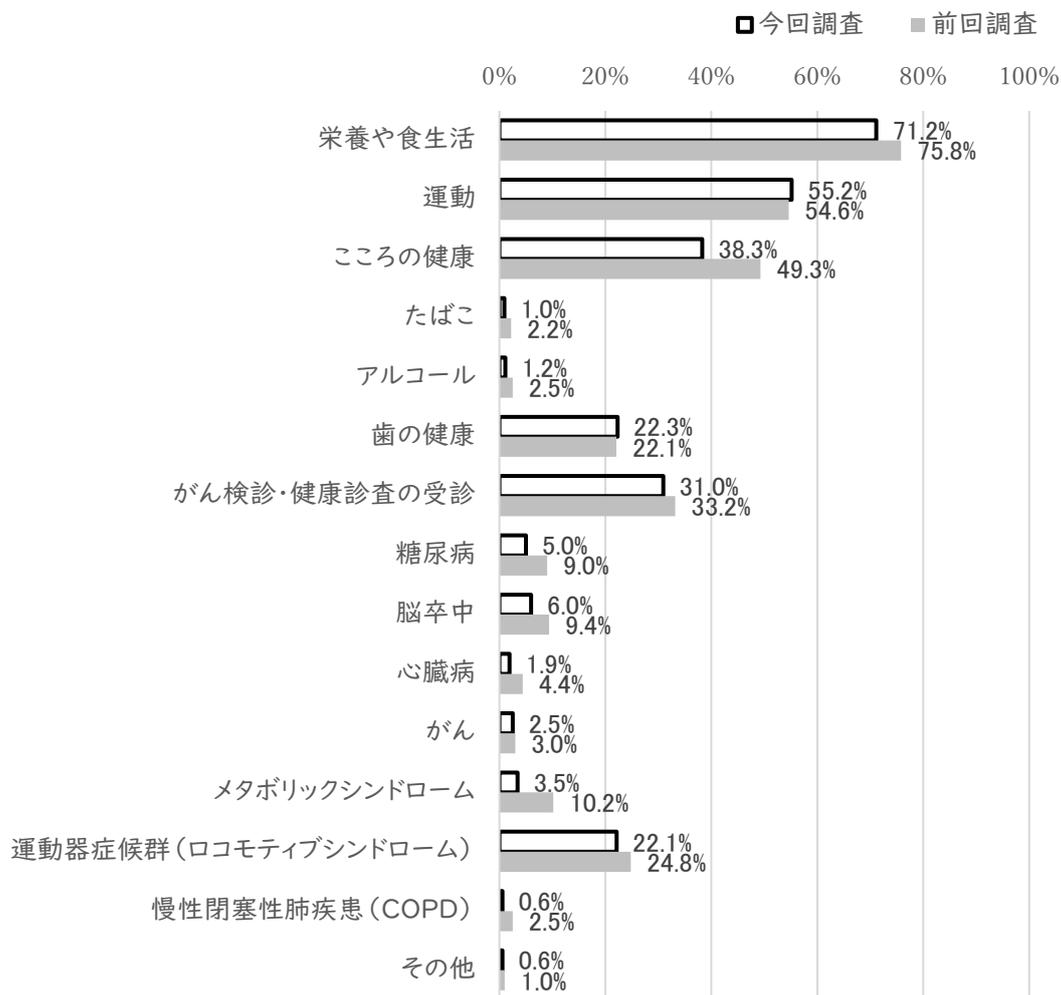
②青壮年・働きざかり

- ・ 前回調査と同様の傾向であり、「栄養や食生活」が最も多く 68.5%、次いで「がん検診・健康診査の受診」が 50.8%です。



③高齢者

- ・ 前回調査と同様の傾向であり、「栄養や食生活」が最も多く71.2%、次いで「運動」が55.2%です。



問7	健康づくりボランティアとして、地域でどのような取組をしてみたいですか（抜粋）
----	--

- ・ 年代を越えた人達が一緒に活動する行事等を企画したい。
- ・ ゲーム感覚でできる運動は楽しくてよい。子供から高齢者まで一緒に出来る遊び、運動など。
- ・ 地域の人誰でも集まって話ができたり、教え合ったり（聞き合う）できる場所づくり。地域によっては空き家を改装して集える場を提供しているところがあります。
- ・ 高齢者が増えていますので組織を作成し、地域ごとに集まる場を設けて活動を行う。
- ・ 町内を散歩しながら会った人と会話し、100才体操などの集まりの参加をすすめる。
- ・ フレイル予防と健康づくりを一体化させたような60代~70代を対象としたアクティブな活動。
- ・ 健康づくりに男性の方も多く参加できるような取組み。高齢になれば男女問わず家から出るのがいやで引きこもりになりやすい。地域で多くの人と接することができるような事があれば。
- ・ ボランティア同士が集う場、機会を増やしていく。無理しない程度で地域のサロン等に出向いて広報・啓発活動を行う。また、敬老会等の機会に活動を行う…など。
- ・ 「Let'sトライ!IMIZUSHI 健康8」の言葉は、聞くだけでは理解出来ず、各地域のサロン等でボランティア団体の方がパネル等で説明される方がよく理解出来ると思う。
- ・ 元気を継続するようなこころの健康づくりの活動や睡眠に関する講義を受けてみたい。
- ・ 子育て家庭(子育て世代)へ健康づくりについて関心をもってもらうような活動(学年毎の親子活動へ出前教室のようにとりいれてもらう)。
- ・ 年齢に対応した体操(自宅で)や季節に応じた料理実習。
- ・ 買物かごの中を見ると、高齢者は野菜中心にいろいろ入っていますが、若い人は冷凍食品がけっこう多いと思います。働きざかりの人を中心に、冷凍食品を使った片寄らないメニューを伝えられたらいいなあと思います。
- ・ 朝ごはんの大切さを広めたい。気軽にできる朝ごはんの紹介。
- ・ 園児・小学生等には、朝食の大切さ、おやつの選び方を、高齢の方にはフレイル予防の大切さなどゲーム感覚で学べると良い。
- ・ 地域住民が集って、長い手巻きずしでも作ってみたいです。
- ・ フレイル・ロコモ・サルコペニア・オーラルフレイルと最近よく耳にする言葉ですが皆さんどの程度理解しているのか。シニアの低栄養が招く状況などをテーマにした活動など。
- ・ 食生活の大切さをもっとPRしたい。
- ・ 生活習慣病(心臓病、糖尿病、脳卒中)にならないようにするにはどのようにしたら良いか。がんと食品の関係など学習の機会を作ってほしい。
- ・ 食改員です。総会資料には事業計画があるが現在の活動内容はよく知らない。新しい取組は思い浮かばないが、もっとボランティア団体の情報を発信して活動内容が身近なものになったら事業に参加する人が増えるかも。
- ・ 今、若い方がボランティアに積極的に参加することが少ないと感じています。60代でもお仕事をされている方が多く、現実、所属しているボランティア活動は70代がほとんどです。あとを引き継いでくれる方がほとんどいません。行政の方でも若い方が取り組みやすいボランティア活動を探していただきたいと思います。

第3次射水市健康増進プラン策定スケジュール

月 日	内 容
令和6年5月29日	◎射水市健康づくり推進協議会（第1回）開催 第3次射水市健康増進プランの策定について 射水市の健康にかかわる状況について アンケート調査結果について
6月～10月	○所内ワーキング会議（随時） 計画素案の作成作業開始 ○各団体・組織への取組み状況の照会 計画素案の庁内関係課への意見聴取 計画素案の修正
令和6年11月6日	◎射水市健康づくり推進協議会（第2回）開催 素案についての説明及び意見交換
12月	◎議会説明
令和7年1月	◎パブリックコメントによる意見募集 ○所内ワーキング会議 計画素案修正作業
2月	◎射水市健康づくり推進協議会（第3回）開催 計画案の説明及び意見交換 ○所内ワーキング会議 計画案の修正
3月	◎議会説明 ◎公表

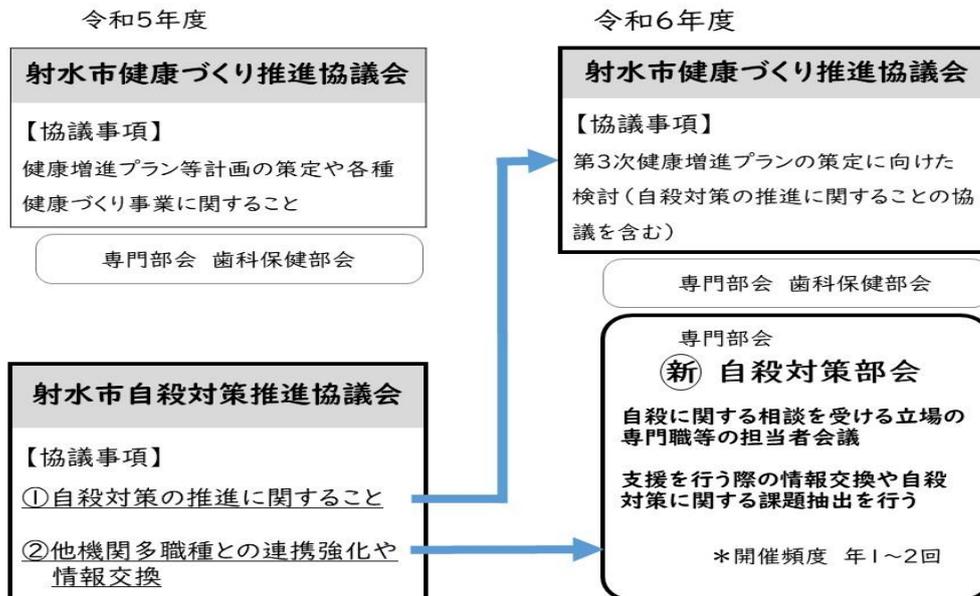
令和6年度射水市自殺対策部会実施要領（案）

1 目的

自殺対策に取り組む関係機関等が相互に連携・協力し、誰も自殺に追い込まれることのない射水市の実現のため、生きるための包括的支援として、本市における自殺対策を総合的かつ効果的に推進するための検討を行う。

2 部会の内容

令和6年度から新たに健康づくり推進協議会の専門部会として、「自殺対策部会」（自殺に関する相談を受ける立場の専門職等の担当者会議）を開催する。部会では、自殺対策のため連携強化及び情報交換に関すること、自殺対策の推進に関することについて検討する。



3 部会の構成 7名

精神科医師	1名	精神保健福祉士	1名
相談機関代表	2名	警察代表	1名
消防代表	1名	厚生センター代表	1名

4 スケジュール

- (1) 第1回自殺対策部会 令和6年8月下旬
- (2) 第2回自殺対策部会 令和6年9月下旬

令和6年度射水市健康づくり推進協議会委員名簿

委嘱期間：令和6～7年度

	委員名	団 体 名	役 職
新	筏井 朋美	射水市小学校長会	会長
	板山 浩一	射水市社会福祉協議会	常務理事
	稲田 雅一	射水市歯科医師会	副会長
新	岡田 静子	射水市ヘルスボランティア連絡協議会	会長
新	荻浦 泰也	富山県高岡厚生センター射水支所	支所長
新	表 隆夫	射水市総合型地域スポーツクラブネットワーク 会議	会長
新	春日 佑治	射水市民生委員児童委員協議会	副会長
新	片町 隆夫	射水市医師会	理事
	酢谷 睦美	射水市薬剤師会	理事
	田村 須賀子	富山大学地域看護学講座	教授
新	長井 忍	射水市地域振興会連合会	監事
	成瀬 敬雄	連合富山高岡地域協議会 射水地区協議会	副議長
	野澤 寛	射水市医師会	会長
新	深原 一晃	射水市民病院	院長
新	福田 靖子	射水市食生活改善推進協議会	会長
新	古城 克實	射水市老人クラブ連合会	副会長
新	堀 紀子	射水市保育士会	代表
新	向田 真理	射水市商工協議会	事務局長
	森田 信子	射水市母子保健推進員連絡協議会	会長

○射水市健康づくり推進協議会条例

平成26年9月19日

条例第36号

改正 平成28年3月18日条例第16号

(設置)

第1条 市民に密着した総合的な健康づくりを積極的に推進するため、射水市健康づくり推進協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について審議し、必要に応じて市長に報告する。

- (1) 射水市健康増進プランその他保健・医療に係る計画の策定及び推進に関すること。
- (2) 各種健康事業に関すること。
- (3) 関係行政機関及び関係諸団体との連絡調整に関すること。
- (4) 地区保健組織の育成及び指導に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、健康づくりに関し必要な事項

(組織)

第3条 協議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、関係行政機関の職員、関係団体の代表者及び学識経験を有する者のうちから市長が委嘱する。

(委員)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員の再任は、妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長各1人を置く。

- 2 会長は委員の互選によるものとし、副会長は会長の指名によるものとする。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、会長が招集し、その議長となる。ただし、委員の委嘱後最初の会議は、

市長が招集する。

- 2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(専門部会)

第7条 協議会が必要と認めるときは、専門部会を置くことができる。

- 2 専門部会の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が定める。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、福祉保健部保健センターにおいて処理する。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に射水市健康づくり推進協議会設置要綱(平成17年射水市告示第90号)第3条第2項の規定により委嘱されている協議会の委員(以下「旧協議会委員」という。)は、第3条第2項の規定により協議会の委員として委嘱されたものとみなす。この場合において、当該委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、旧協議会委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

附 則(平成28年3月18日条例第16号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。